

講義科目名称：大学教育入門	授業コード：44101
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	1単位	必修	講義
担当教員				
安部恵美子ほか				

授業概要	<p>長崎短期大学生としての自覚を深め、短期大学での学びの基本を養う。</p> <p>①建学の精神を理解する。</p> <p>②短期大学での学び、ルールやマナーを身につける</p> <p>③社会人基礎力・職業適性診断により自己の社会人基礎力を理解する</p> <p>④講義を通して短期大学での2年間の見通しを持つ</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	長崎短期大学の学生として建学の精神を理解することができる	振り返りレポート(第3回)	20%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	長崎短期大学での学び、ルールやマナーについて理解し、短大生としての自覚を深めることができる	振り返りレポート(第1,4,5回)	60%
主体的に学ぶ力	社会人への準備段階として自己の社会人基礎力を知り、今後の学びにつなげることができる 長崎短期大学での2年間の見通しをもつことできる。	振り返りレポート(第6回) 授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項	
<p>第1回～4回、8回はオンディマンド授業(YouTube 動画配信)、それ以外は対面授業で行う。 オンディマンド授業については課題提出を出席とみなす 本授業では、振り返りレポート 50% (10%×1回、5%×3回)、交流イベントへの参加・態度 15%最終レポート 40%、授業への参加・態度 20%で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 4月8日	短大での学びかたについて（小玉） 短大生として基本的な生活習慣と社会での ルールやマナーについて（友廣）	面接授業	予習：学生便覧の教育課程、学生 生活要綱を読んでおくこと 復習：配布プリントなどを読み 直すこと
2回目 4月15日	キャリアステップ	面接授業	
3回目 4月22日	建学の精神について（安部） UPI 調査	面接授業	予習：学生便覧の短大沿革史、 学則、3 ポリシーを読んでおく こと 復習：配布プリントなどを読み 直すこと
4回目 5月6日	アカデミックライティング その1 （小嶋）	面接授業	予習：レポートの書き方につい て調べておくこと 復習：配布プリントなどを読み 直すこと
5回目 5月13日	アカデミックライティング その2 （小嶋）	面接授業	予習： 復習：配布プリントなどを読み 直すこと
6回目 5月20日	メディアリテラシーについて （小浦）	面接授業	復習：配布プリントなどを読み 直すこと
7回目 5月27日	ライフプランニング（高橋ほか） 将来を見据えた学びの必要性	面接授業	復習：配布プリントなどを読み 直すこと
8回目 6月3日	キャリアステップの結果を受けて 社会人基礎力トレーニングを行う	面接授業	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：社会人基礎入門（地域と大学）	授業コード：44201
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	1単位	必修	講義
担当教員				
安部恵美子ほか				

授業概要	Society5.0 に向けて、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力、価値を見つけ出す感性と力、好奇心・探求力を持った人材が求められています。本講義では、多くの情報の中から有用なものを選択する手段、選択した情報を活用する手段等について学びます。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能			
コミュニケーション能力	グループワークを通じ、他人の意見を傾聴し、自分の意見を述べるができる。	レポート	20%
課題解決能力	提示された課題に対し、インターネットや図書館で資料を収集し、レポートとしてまとめることができる。	レポート	40%
主体的に学ぶ力	社会人への準備段階として必要な知識を身に付け、今後の学びにつなぐことができる	レポート	40%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 6月10日	データサイエンスとは（前原）	オンライン	予習：データサイエンスという言葉を調べる 復習：事前に調べたデータサイエンスと講義で聞いたデータサイエンスの違

			いを考察する
2回目 6月17日	データ・AIの活用領域（前原）	オンライン	予習：AIについて調べる 復習：身の回りのAIを抽出する
3回目 6月25日	データ・AI利活用のための技術（前原）	オンライン	予習：AI活用技術について調べる 復習：身の回りのAI活用技術を確認する
4回目 7月2日	データを説明する（前原）	オンライン	予習：AIとビックデータの関連を調べる 復習：興味のある分野の事象についてデータを集める
5回目 7月9日	データを扱う（前原）	オンライン	予習：ビックデータについて調べる 復習：自分で設定した事象についてデータを利用して説明する
6回目 7月16日	データを読む（佐世保の観光） 佐世保市役所観光課	面接授業	予習：佐世保の観光について調べる 復習：佐世保の観光振興に有用な施策をデータに基づいて考える
7回目 7月30日	データを読む（食生活改善） 佐世保市役所健康づくり課	面接授業	予習：理想的な食習慣を考える 復習：食と健康の関係を説明するデータを集める
8回目 8月6日	グループワーク結果発表	面接授業	予習：

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じプリントを配布します
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：茶道文化 I	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	①茶室は神聖な場所であることを理解する。 茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。(和敬清寂)
	②礼法(座礼、立礼)を覚える。和室での心得を学ぶ。(毎回反復練習をする。)
	③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。
	④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。
	⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日本の礼儀作法を学び、相手を思いやる行動ができる。	・授業への参加意欲 ・授業態度	15%
確かな専門的知識や技能	日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持っている。 薄茶点前が一人でできる。	・正確な薄茶点前が出来る ・実技試験	60%
コミュニケーション能力	茶道文化で身に付けたマナーや礼法を茶室以外の生活の中でも実践できる。	・アンケート調査 ・自己点検など。	5%
課題解決能力	正しい箸の使い方や柄杓の扱い方ができる。 掃除の仕方を知り、実践できる。 自主練習により薄茶点前ができる。	・授業の感想文 ・教科書や学習帳利用状況 ・講義内容の理解度。	10%
主体的に学ぶ力	茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できる。	・授業準備や片付け態度 ・自主練習態度	10%
合計			100%
補足事項			



<p>2回目</p>	<p>風炉薄茶点前①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道具の説明</li> <li>・お菓子の取り方、食べ方を体験する</li> </ul> <p>【禅語：看脚下】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>    箸の扱い方</p> <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①茶道具の説明（教科書 P37～P50）</li> <li>②服紗の畳み方扱い方を学ぶ（教科書 P53～55）</li> <li>③服紗の付け方、捌き方（他流の付け方との違い）</li> <li>④挨拶の仕方・礼法・歩き方（畳半畳3歩）</li> <li>⑤席入り・退席の仕方</li> <li>⑥服紗の扱い方・棗、茶杓の清め方（教科書 P56）</li> <li>⑦お菓子の取り方、食べ方を学び体験する（黒文字の使い方）</li> </ul>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>茶道文化の意義 教科書 P7～P12 を読んでくる。</p> <p>【復習】（1 時間）</p> <p>教科書 P2～P6 を 読み返し、学習帳 の1 回目の授業内 容も確認し、授業 の振り返りと一般 常識問題を解いて おく。</p>
<p>3回目</p>	<p>風炉薄茶点前②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕込み茶碗を体験する</li> </ul> <p>【禅語：洗心】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①上着の扱い方</li> <li>②掃除の方法     雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方</li> </ul> <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①風炉薄茶点前（見本・説明）</li> <li>②茶道具の準備と片付け方について学ぶ</li> <li>③仕込み茶碗の仕方を学び体験する</li> <li>④服紗の扱い・棗、茶杓の清め方の復習</li> </ul>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>茶巾の扱い方 教科書 P59～P61</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>礼法、正しい 靴の脱ぎ方</p>
<p>4回目</p>	<p>風炉薄茶点前③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柄杓の扱い方</li> </ul> <p>【禅語：大道無門】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①柄杓の扱い方</li> </ul> <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①柄杓の扱い方・茶道具の持ち方を体験する</li> <li>②服紗の付け方、捌き方の復習をする</li> <li>③茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の復習をする</li> </ul>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>箸と柄杓の 扱い方</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具の扱い 準備と片付けにつ いて 学習帳で復習</p>
<p>5回目</p>	<p>風炉薄茶点前④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶筌通し</li> </ul>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>教科書 P59 を見</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶巾の扱い方</li> <li>・茶碗の拭き方を体験する</li> </ul> <p>【禅語：喫茶去】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>①茶筥通し、茶巾の扱い方、茶碗の拭き方</p> <p>【授業内容】</p> <p>①道具の置き合わせを学び、体験する</p> <p>②棗清め、茶杓清め、柄杓の扱い方の復習</p>		<p>て、理解してくる ように</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具の名前、席 入りの仕方</p>
6 回目	<p>風炉薄茶点前⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶筥通し</li> <li>・茶碗の拭き方</li> </ul> <p>【禅語：清風匝地】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文理系：倫理学</p> <p>①敬語について（尊敬語、謙譲語、丁寧語）</p> <p>②研究室への入り方を学び体験する</p> <p>③訪問のマナー</p> <p>【授業内容】</p> <p>①茶筥通し・茶巾の扱い方・茶碗の拭き方まで復習する。</p> <p>②道具の置き合わせから茶筥通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭き、抹茶を入れ、お湯を入れて茶筥でお茶を点て、飲むまで体験する。（点て出しをする）</p> <p>③道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>教科書 P74 を見なが ら、理解してく る。</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具について・ 片付け方までを教 科書を見ながら確 認しておく。</p>
7 回目	<p>風炉薄茶点前⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶筥通し</li> <li>・茶碗拭きまで復習</li> </ul> <p>【禅語：歩々是道場】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学・民俗学</p> <p>①衣替えについて</p> <p>【授業内容】</p> <p>①初めから茶筥通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭く までを復習する。</p> <p>②道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>点前の 自主練習</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>敬語について、学 習帳で確認</p> <p>片付け方 確認</p>
8 回目	<p>風炉薄茶点前⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抹茶の入れ方</li> <li>・水指の蓋の扱い方</li> <li>・湯の入れ方</li> <li>・茶の点て方</li> </ul> <p>【禅語：日々是好日】文系：宗教学</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>教科書 P15～P18 を 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具について。</p>



	<p>【ワンポイント】理系：栄養学</p> <p>①茶の種類（緑茶・ウーロン茶・紅茶）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①お茶を点てるまでを復習する</p> <p>②道具の片付け</p>		
9回目	<p>風炉薄茶点前⑧</p> <p>・客点前</p> <p>・茶碗の取り込み方</p> <p>【禅語：且座喫茶】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】理系：薬学・栄養学</p> <p>①喫茶法（団茶法・抹茶法・煎茶法）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半点前復習</p> <p>②客点前を体験する</p> <p>③道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5時間)</p> <p>教科書 P19～P22を 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5時間)</p> <p>茶の種類 緑茶 ウーロン茶 紅茶</p>
10回目	<p>風炉薄茶点前⑨</p> <p>・薄茶点前前半点前復習</p> <p>【禅語：思無邪】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：歴史学</p> <p>①佗び茶にかかわった人 村田珠光・武野紹鷗・千利休</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半点前復習</p> <p>②道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5時間)</p> <p>教科書 P23～P25を 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5時間)</p> <p>茶の飲み方 ・団茶法 ・抹茶法 ・煎茶法</p>
11回目	<p>風炉薄茶点前⑩</p> <p>・薄茶点前前半点前（内検）</p> <p>【禅語：明珠在掌】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>①試験を受ける時の心構え 姿勢・位置・落ち着き</p> <p>【授業内容】</p> <p>①服装、身だしなみチェックシートに記入</p> <p>②風炉薄茶前半点前（内検）</p>	面接授業	<p>【予習】（1時間）</p> <p>薄茶点前前半の自 主練習を行う</p> <p>【復習】(0.5時間)</p> <p>佗び茶にかかわ った人について、 再確認</p>
12回目	<p>風炉薄茶点前⑪</p> <p>・薄茶点前後半の見本・説明</p> <p>【禅語：処々全真】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：歴史学</p> <p>①武家茶にかかわった人</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5時間)</p> <p>教科書 P26～P28を 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5時間)</p>

	古田織部・小堀遠州・片桐石州 【授業内容】 ①風炉薄茶点前後半の見本・説明 ②風炉薄茶後半点前練習 ③道具の片付け		点前の三要素、試験時に気を付ける点
13 回目	風炉薄茶点前⑫ ・薄茶点前練習 【禅語：啐啄同時】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：文化人類学 実技試験のチェックポイント 【授業内容】 ①薄茶点前練習 ②道具の片付け	面接授業	【予習】（1時間） 点前の自主練習 【復習】(0.5時間) 武家茶について学習帳で再確認
14 回目	風炉薄茶点前 確認（実技試験） 【禅語：在眼前】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：文化人類学 実技試験について全体説明 【授業内容】 ①薄茶点前前半確認（実技試験） ②実技試験を受けたら、客点前をする。 ③終わった順に速やかに退席する。	面接授業	【予習】（1時間） 不文軒で自主練習を行う。 【復習】(0.5時間) 今までの復習
15 回目	前期のまとめ（学習帳記入） ・点前確認 ・自己点検 ・アンケート（スマホ持参） 【禅語：一期一会】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：倫理学 ・利休七則 【授業内容】 ①薄茶点前の実技の確認 ②各班で成績発表 ③自己評価 ④アンケート記入 ⑤学習帳回収	面接授業	【予習】(0.5時間) 前期の自己点検を行い、感想を書いてくる。  【復習】（1時間） 教科書、学習帳のまとめと直し

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化の授業は、2年間の必修科目になっています。 卒業時には、茶道鎮信流の初歩伝の免許状がもらえます。 お点前を覚える早道は、繰り返すことが一番です。 茶道の点前だけでなく、社会人として必要な知識やマナーもしっかり身に付けて下さい。

講義科目名称：茶道文化Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①風炉薄茶点前を一人でできる。</li> <li>②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。</li> <li>③大寄せの茶会の心得を学ぶ。茶会の客の作法を学ぶ。季節と客組を学ぶ。</li> <li>④上座と下座について学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。</li> <li>⑤和室での立ち居振る舞いを身に付ける。</li> </ul>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を茶道文化の授業以外でも役立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道大会への参加意欲</li> <li>・授業準備や片付けの態度</li> </ul>	10%
確かな専門的知識や技能	薄茶点前が一人でできる。日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風炉薄茶点前が出来る</li> <li>・筆記試験</li> </ul>	60%
コミュニケーション能力	茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査</li> <li>・自己点検など。</li> </ul>	5%
課題解決能力	茶道大会に参加し、自分の役割を責任を持って果たすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習帳の利用状況</li> <li>・授業の感想文</li> </ul>	10%
主体的に学ぶ力	季節の移ろいを感じることができる。禅語の意味を理解できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・講義内容の理解度。</li> <li>・自主練習態度</li> </ul>	15%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶室は神聖な場所です。「不文軒」に来る時は白靴下を持って来ること。履いてきません。</li> <li>・学習帳は授業の内容の流れに従って作成しています。予習と復習をしっかりと行って授業に臨んでください。</li> </ul>

※新型コロナウイルスの関係で、急遽対面授業（面接授業）ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性もあります。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	風炉薄茶点前① <b>【禅語：清風万里秋】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 文系：社会学 薄茶点前のポイント確認 <b>【授業内容】</b> ①本学における茶道の考え方 ②茶道文化の意義（教科書：P7-12） ③準備当番、茶室での約束事 ④玄関での心得について ⑤礼法、服紗捌き、道具の清め方 ・仕込み茶碗などを復習する。 ⑥道具の片付け	面接授業  <b>各班：空点前</b> A班：道具使用① B班：見点前	茶室「不文軒」に来る時は白靴下を持って来る。 履いてきません。  <b>【復習】</b> （1時間） 茶道文化の意義 教科書 P7～P12 を読み直し 薄茶点前の流れの 仮の道具を見立て て練習
2回目	風炉薄茶点前② <b>【禅語：平常心是道】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 文系：社会学 茶道大会の映像を見る（DVD） <b>【授業内容】</b> ①風炉薄茶点前練習 ②道具の片付け	面接授業  <b>各班：空点前</b> B班：道具使用① A班：見点前	<b>【予習】</b> （0.5時間） 薄茶点前のイメージ トレニング  <b>【復習】</b> （0.5時間） 薄茶点前自主練習
3回目	風炉薄茶点前③ <b>【禅語：桂花露香】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 文系：民族学	面接授業 <b>今週より</b> <b>抹茶・湯使用</b>	<b>【予習】</b> （0.5時間） 薄茶点前のイメージ トレニング

	着物の種類 <b>【授業内容】</b> ①風炉薄茶点前練習	A班：道具使用② 客点前：自服 B班：見点前	<b>【復習】(0.5時間)</b> 薄茶点前自主練習
4回目	風炉薄茶点前④ <b>【禅語：行雲流水】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 文系：社会学 上座と下座1 <b>【授業内容】</b> ①風炉薄茶点前練習	面接授業 抹茶・湯使用 B班：道具使用② 客点前：自服 A班：見点前	<b>【予習】(0.5時間)</b> 薄茶点前のイメージトレーニング <b>【復習】(0.5時間)</b> 薄茶点前自主練習
5回目	風炉薄茶点前⑤ <b>【禅語：別無工夫】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 文系：社会学 上座と下座2 <b>【授業内容】</b> ①風炉薄茶点前練習	面接授業 抹茶・湯使用 A班：道具使用③ 客点前：自服 B班：見点前	<b>【予習】(0.5時間)</b> 薄茶点前のイメージトレーニング <b>【復習】(0.5時間)</b> 薄茶点前自主練習
6回目	風炉薄茶点前⑥ <b>【禅語：耕不尽】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 理系：天文学 旧暦について学ぶ(1月～12月) <b>【授業内容】</b> ①風炉薄茶点前練習	面接授業 抹茶・湯使用 B班：道具使用③ 客点前：自服 A班：見点前	<b>【予習】(0.5時間)</b> 薄茶点前のイメージトレーニング <b>【復習】(0.5時間)</b> 薄茶点前自主練習
7回目	薄茶点前確認 <b>【禅語：放下着】</b> 文系：宗教学 <b>【授業内容】</b> 文系：社会学 ①風炉薄茶点前を一人で行う。 ②亭主と客の作法を体験する。	面接授業 抹茶・湯使用 A班：道具使用④ <b>A班：亭主</b> <b>B班：客点前</b>	<b>【予習】(0.5時間)</b> 薄茶点前のイメージトレーニング <b>【復習】(0.5時間)</b> 薄茶点前自主練習
8回目	<b>【禅語：泥多仏大】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイントレッスン】</b> 理系：栄養学 煎茶の入れ方 出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方 客点前を学ぶ <b>【授業内容】</b> ①各班で煎茶の入れ方を体験する。 ②立礼点前置き合わせ確認	面接授業 班別：煎茶セット	<b>【予習】(0.5時間)</b> 学習帳の煎茶の入れ方に目を通しておく。 <b>【復習】(0.5時間)</b> 学習帳で煎茶の入れ方を確認する
9回目	茶道大会の濃茶席 客点前の練習 <b>【禅語：無功德】</b> 文系：宗教学	面接授業	<b>【予習】(0.5時間)</b> 客点前について

	<p>【ワンポイントレッスン】理系：栄養学 和食の基本</p> <p>【授業内容】 濃茶席の客点前を行う。</p>		<p>【復習】(0.5 時間) 薄茶点前と濃茶点 前の客点前の違い を確認する。</p>
10 回目	<p>茶道大会で使用する道具について学ぶ</p> <p>【授業内容】文系：宗教学 会記について学ぶ</p> <p>①茶道大会で使用する道具について</p>	面接授業	<p>【予習】(1 時間) 教科書 P36～50 を 読んでおく。</p> <p>【復習】(0.5 時間) 使用道具名の確認</p>
11 回目	<p>茶道の歴史について (合同講義)</p> <p>【茶道の歴史について】文系：歴史学 第 3 章 茶の湯に関わった人々 (教科書 P23～P28)</p> <p>第 4 章 鎮信流の茶 (教科書 P29～P33)</p>	面接授業	<p>【予習】(1 時間) 教科書 P23～33 ま で読んでおく。</p> <p>【復習】(0.5 時間) 茶道の歴史の確認</p>
12 回目	<p>茶道大会に参加する 濃茶席・立礼席に客点前で参加</p> <p><b>2年生の授業を見学</b></p> <p>【禅語：徳不弧】文系：宗教学 【禅語：知足】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイントレッスン】文系：民俗学</p> <p>①縁起物について ②正月飾りについて</p> <p>【授業内容】 2年生の授業に参加し、 濃茶席と立礼席の客点前を行う。</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 濃茶席、立礼席の 客点前確認</p> <p>【復習】(0.5 時間) 客点前の確認 薄茶点前自主練習</p>
13 回目	<p>初釜</p> <p>【軸：高砂・松竹梅鶴亀】文系：民俗学</p> <p>【授業内容】</p> <p>①薄茶点前拝見 ②初釜の道具組・床飾りについて説明を聞く ③各班で新年の抱負を述べ、 主菓子を取り方を学ぶ。</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習</p> <p>【復習】(0.5 時間) 初釜の道具につい て学習帳を見直す</p>
14 回目	<p>松芳忌</p> <p>【授業内容】文系：社会学</p> <p>①礼拝の仕方の練習 ②松芳先生の経歴紹介 ③献茶</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 教科書 P7～12 を 読んでおくこと</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p>

	④教職員、学生の順に礼拝 ⑤講話		今までの復習
15回目	学習のまとめ 【禅語：一以貫之】文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 ワンポイントレッスンの振り返り（1年間分） 【授業内容】 ①学習帳まとめ ②自己評価 ③アンケート記入 ④学習帳回収	面接授業	【予習】（1時間） 今まで出てきた禅語の意味を学習帳で見直ししておく  【復習】（1時間） 教科書、学習帳の見直し
16回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化の授業は、2年間の必修科目になっています。 卒業時には、茶道鎮信流の初歩伝の免許状がもらえます。 お点前を覚える早道は、繰り返すことが一番です。 茶道の点前だけでなく、社会人として必要な知識やマナーもしっかり身に付けて下さい。  茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。



⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。

⑥日本の礼法を学びましょう。

⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。

⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

※新型コロナの関係で、急遽対面授業ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性もあります。

講義科目名称：茶道文化Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。</p> <p>②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。</p> <p>③亭主と客の作法を学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深める。</p> <p>④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。</p> <p>⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。</p> <p style="text-align: center;">言葉遣いに気を付けるようになる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	亭主と客の心得などを習得し、先生や相手に対して心遣いができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加意欲</li> <li>・授業態度</li> <li>・講義内容の理解度。</li> </ul>	15%
確かな専門的知識や技能	濃茶席で使用する茶道具の名前を覚え、正しく使用できる。正確な濃茶点前ができる。道具を大切に扱うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な濃茶点前ができる</li> <li>・実技試験</li> </ul>	60%
コミュニケーション能力	お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を身につけている。日常生活に役立てている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査</li> <li>・自己点検など。</li> </ul>	5%
課題解決能力	繰り返し練習し、自然な点前を身に付けることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の感想文</li> <li>・教科書や学習帳の利用状況</li> </ul>	10%
主体的に学ぶ力	茶道の歴史を学び、鎮信流について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業準備や片付けの態度</li> <li>・放課後練習態度</li> </ul>	10%
合計			100%
補足事項			

- ・茶室は神聖な場所です。「不文軒」に来る時は白靴下を持って来ること。履いてきません。
- ・学習帳は授業の内容の流れに従って作成しています。予習と復習をしっかりと行って授業に臨んでください。

※新型コロナウイルスの関係で、急遽対面授業（面接授業）ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性もあります。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	風炉濃茶点前① <b>【禅語：和敬清寂】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイント】</b> 文系：社会学 「礼儀作法・伝えたい TPO」 <b>【授業内容】</b> ①風炉濃茶点前（見本・説明） ②出し服紗の畳み方確認・茶入の紐の結び ③茶入、仕覆の扱い方、茶入の清め方 ④礼法復習 （双手礼・爪甲礼・会釈・敬礼・最敬礼） ⑤席入り、退席の仕方再確認	面接授業  各班：空点前 A 班：道具使用① B 班：見点前	<b>【予習】</b> （0.5 時間） 教科書（P1～P6） を再度読んでおく  <b>【復習】</b> （0.5 時間） 濃茶点前の自主練習
2回目	風炉濃茶点前② <b>【禅語：梨花一枝春】</b> 文系：宗教学 <b>【ワンポイント】</b> 文系：社会学 「冠・婚・葬・祭」 <b>【授業内容】</b> 風炉濃茶点前前半①	面接授業  各班：空点前 B 班：道具使用① A 班：見点前	<b>【予習】</b> （0.5 時間） 教科書、学習帳で 茶道文化の意義確認  <b>【復習】</b> （0.5 時間） 濃茶点前の自主練習

3回目	<p>風炉濃茶点前③</p> <p>【禅語：花看半開】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「熨斗の知識」</p> <p>【授業内容】</p> <p>三種類の柄杓の扱い (切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓)</p> <p>風炉濃茶点前前半②</p>	<p>面接授業</p> <p>今週より 抹茶・湯使用</p> <p>A班：道具使用② 客点前：自服</p> <p>B班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>礼法 正しい靴の脱ぎ方 席入りと退席の仕方</p> <p>【復習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
4回目	<p>風炉濃茶点前④</p> <p>【禅語：薫風自南来】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「袱紗について」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前前半③</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>B班：道具使用② 客点前：自服</p> <p>A班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の流れ</p> <p>【復習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
5回目	<p>風炉濃茶点前⑤</p> <p>【禅語：悟無好悪】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>「衣替えについて」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前後半①</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>A班：道具使用③ 客点前：自服</p> <p>B班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>座礼、立礼の確認</p> <p>【復習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
6回目	<p>【禅語：千里同風】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「食事前に心がけること」</p> <p>「器の扱い方」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前後半②</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>B班：道具使用③ 客点前：自服</p> <p>A班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の柄杓の扱い方3種類の確認 茶道具とその意味</p> <p>【復習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
7回目	<p>風炉濃茶点前⑦</p> <p>【禅語：本来無一物】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「嫌い箸について」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前総復習①</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>A班：道具使用④ 客点前：自服</p> <p>B班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>茶道具とその意味</p> <p>【復習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
8回目	<p>風炉濃茶点前⑧</p> <p>【禅語：無事】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>「五節句について」</p> <p>【授業内容】</p> <p>風炉濃茶点前総復習②</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>B班：道具使用④ 客点前：自服</p> <p>A班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前後半の流れ 茶道具について</p> <p>【復習】 (0.5時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
9回目	<p>風炉濃茶点前⑨</p> <p>【禅語：無心】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p>	<p>【予習】 (0.5時間)</p> <p>点前の3要素 喫茶法</p>

	<p>「身だしなみチェックシート」</p> <p>【授業内容】</p> <p>風炉濃茶点前総復習③</p>	<p>A 班：道具使用⑤</p> <p>客点前：自服</p> <p>B 班：見点前</p>	<p>3 種類の柄杓の扱い</p> <p>嫌い箸について</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
10 回目	<p>風炉濃茶点前 (内検)</p> <p>【禅語：白珪尚可磨】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「試験を受ける心構え」</p> <p>(姿勢・位置・落ち着き)</p> <p>【授業内容】</p> <p>風炉濃茶点前 (内検)</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>B 班：道具使用⑤</p> <p>客点前：自服</p> <p>A 班：見点前</p>	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>点前の 3 要素を意識した濃茶点前の流れ</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
11 回目	<p>風炉濃茶点前⑩</p> <p>【禅語：萬法一如】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「実技試験のチェックポイント」</p> <p>【授業内容】</p> <p>風炉濃茶点前練習</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>B 班：道具使用⑤</p> <p>客点前：自服</p> <p>A 班：見点前</p>	<p>【予習】 (1 時間)</p> <p>点前の 3 要素</p> <p>柄杓の扱い</p> <p>濃茶点前の自主練習</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
12 回目	<p>濃茶点前実技試験</p> <p>【禅語：平常心是道】文系：宗教学</p> <p>実技試験のための全体説明</p> <p>【授業内容】</p> <p>① 濃茶点前確認 (実技試験)</p> <p>実技試験を受けたら、客点前をする。</p> <p>終わった順に速やかに退席する。</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】 (1 時間)</p> <p>点前の 3 要素を意識した濃茶点前練習</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
13 回目	<p>茶会の流れと花寄せ</p> <p>【禅語：王三昧】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】理系：生物学</p> <p>「禁花について」</p> <p>【授業内容】</p> <p>①花寄せ</p> <p>②ミニ茶会計画・練習</p> <p>③学習帳</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>禁花について</p> <p>茶会の流れ</p> <p>花寄せの流れ</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>禁花について</p> <p>茶会の流れ</p> <p>花寄せの流れ</p>
14 回目	<p>合同講義</p> <p>合同講義 文系：宗教学</p> <p>第 4 章 鎮信流の茶 (教科書 P29～P33)</p> <p>第 5 章 茶道における諸機能と茶道具 (教科書 P34～P50)</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>教科書 P29～P33 を読んでおく。</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>教科書 P34～P50 を読みかえす。</p>

15回目	班別ミニ茶会 点前確認 自己点検 アンケート 【禅語：一期一会】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：民俗学 「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具片付け ③自己評価 ④アンケート記入 ⑤学習帳回収	面接授業	【予習】（1時間） 学習帳 P60～62 を記入しておく 学習帳のまとめ  【復習】（0.5時間） 濃茶点前の自主練習
------	---	------	--

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化の授業は、2年間の必修科目になっています。 卒業時には、茶道鎮信流の初歩伝の免許状がもらえます。 お点前を覚える早道は、繰り返すことが一番です。 茶道の点前だけでなく、社会人として必要な知識やマナーもしっかり身に付けて下さい。  茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。</li><li>⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。</li><li>⑥日本の礼法を学びましょう。</li><li>⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。</li><li>⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。</li></ul> |
|--|--|

※新型コロナの関係で、急遽対面授業ではなく、動画配信や課題を提出してもらった場合も出てくる可能性があります。

講義科目名称：茶道文化IV	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。</p> <p>②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。</p> <p>③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。</p> <p>④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。</p> <p>⑤人や物を大切にする。おもてなしの心を学ぶ。</p> <p>茶道ウイークの週は、1年生を客に迎えミニお茶会を行い、茶会の流れを学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	茶道文化で身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できる。	・茶道大会への参加意欲 ・授業準備や片付けの態度	10%
確かな専門的知識や技能	季節に応じた茶室、茶道具のあしらいに気付くことができる。	・筆記試験。	60%
コミュニケーション能力	茶道大会の運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことができた。	・アンケート調査 ・自己点検など。	5%
課題解決能力	繰り返しの練習により、点前がスムーズに流れ、美味しいお茶を点てることができる。	・学習帳や教科書の利用状況 ・授業の感想文	10%
主体的に学ぶ力	茶道の授業を受けることにより、和室での自然な立ち居振る舞いができる。	・授業態度 ・講義内容の理解度。 ・自主練習態度	15%
合計			100%



補足事項

- ・茶室は神聖な場所です。「不文軒」に来る時は白靴下を持って来ること。履いてきません。
- ・学習帳は授業の内容の流れに従って作成しています。予習と復習をしっかりと行って授業に臨んでください。

※新型コロナウイルスの関係で、急遽対面授業（面接受業）ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性があります。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶室・路地・炭点前・炉濃茶点前確認</li> <li>【禅語：月白風清】文系：宗教学</li> <li>【ワンポイント】理系：森林科学</li> <li>「炭の力」</li> <li>【授業内容】</li> <li>①炭点前 DVD</li> <li>②炭の説明</li> <li>③炉濃茶置き合わせ確認①</li> <li>④炉濃茶点前前半確認</li> </ul>	<p>面接受業</p> <p>各班：空点前 A班：道具使用① B班：見点前</p>	<p>茶室「不文軒」に来る時は白靴下を持って来る。履いてきません。</p> <p>【予習・復習】(1時間) 教科書 P63～P69 風炉炭点前 風炉の濃茶点前の自主練習を行う</p>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉・風炉・濃茶点前①</li> <li>【禅語：水急不流月】文系：宗教学</li> <li>【ワンポイント】理系：天文学</li> <li>「中秋の名月」</li> <li>【授業内容】</li> <li>炉濃茶点前前半復習②</li> <li>道具の片付け</li> </ul>	<p>面接受業</p> <p>各班：空点前 B班：道具使用① A班：見点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 炉の濃茶点前、 風炉の点前の自主練習</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉・風炉・濃茶点前②</li> <li>【禅語：釣月耕雲】文系：宗教学</li> </ul>	<p>面接受業</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 炉の濃茶点前、</p>

	<p>【ワンポイント】理系：建築学 「和室の名称①」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前前半練習② 道具の片付け</p>	<p>今週より 抹茶・湯使用 A班：道具使用② 客点前：自服 B班：見点前</p>	<p>風炉の点前の自主練習</p>
4回目	<p>炉・風炉・濃茶点前③</p> <p>【禅語：悠然見南山】文系：宗教学 【ワンポイント】理系：建築学 「和室の名称②」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前後半練習① 道具の片付け</p>	<p>面接授業 抹茶・湯使用 B班：道具使用② 客点前：自服 A班：見点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 炉の濃茶点前、 風炉の点前の自主練習</p>
5回目	<p>炉・風炉・濃茶点前④</p> <p>【禅語：独座大雄峰】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：文化人類学 「二十四節気について」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前後半練習②</p>	<p>面接授業 抹茶・湯使用 A班：道具使用③ 客点前：自服 B班：見点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 炉の濃茶点前、 風炉の点前の自主練習</p>
6回目	<p>立礼点前披露①</p> <p>【禅語：直心是道場】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：文化人類学 「雑節について」</p> <p>【授業内容】 立礼見本点前・立礼点前確認</p>	<p>面接授業 抹茶・湯使用 B班：道具使用③ 客点前：自服 A班：見点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 風炉薄茶点前練習 炉の濃茶点前自主練習</p>
7回目	<p>炉・風炉・濃茶点前・立礼点前</p> <p>【禅語：教外別伝不立文字】 文系：宗教学 【ワンポイント】文系：社会学 「祝日・休日について」(1月～6月)</p> <p>【授業内容】 立礼、炉濃茶点前練習1</p>	<p>面接授業 今週より呈茶 抹茶・湯使用 A班：道具使用④ B班：客点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 点前の自主練習</p>
8回目	<p>炉・風炉・濃茶点前・立礼点前</p> <p>【禅語：古今無二路】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：社会学 「祝日・休日について」(7月～12月)</p> <p>【授業内容】 立礼、炉濃茶点前練習2</p>	<p>面接授業 抹茶・湯使用 B班：道具使用④ A班：客点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間) 点前の自主練習</p>

9 回目	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語：守拙全天真】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：民俗学</p> <p>「縁起物（達磨・鶴亀・松竹梅）」</p> <p>【授業内容】</p> <p>茶道大会の水屋、接待、客点前など パート別の仕事内容を学ぶ (3パートを20分ずつローテーション)</p> <p>客点前：出し服紗の使い方 ・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方</p> <p>水屋：濃茶を練る。</p> <p>接待：縁高や濃茶を客へ出す。</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>茶道大会を意識した、 パート別練習</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p> <p>半東：半東文を覚える</p>
10 回目	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語：報恩謝徳】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>「会記について(テーマ)」</p> <p>【授業内容】</p> <p>茶道大会の道具説明</p> <p>茶道大会当日の役割の練習に参加する</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p>
11 回目	<p><b>茶道ウイーク</b></p> <p>【禅語：門外有松風】文系：宗教学</p> <p>【正月飾りについて】</p> <p>【授業内容】</p> <p>濃茶席、立礼席に1年生を客として迎える。 水屋で濃茶を練り、薄茶を点てる。 接待が客に運ぶ。 亭主は点前を行い、半東は質問に答える。</p>	<p>面接授業</p> <p>濃茶班・立礼班 パート別 茶席運営 1年生客点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>各自で茶会の流れに沿って自主練習を行っておく。 一年生が客点前をし、 正客が挨拶や道具の質問をするので、それに答えられるように勉強しておく。</p>
12 回目	<p>初釜</p> <p>【軸：高砂・松竹梅鶴亀】文系：宗教学</p> <p>【授業内容】</p> <p>初釜(濃茶点前) 点前拝見・主菓子の取り方、食べ方 濃茶の飲み方 初釜の道具組について説明を聞く 各班に分かれて新年の抱負を語る</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p> <p>学習帳をまとめる。</p>
13 回目	<p>松芳忌</p> <p>【ワンポイント】文系：宗教学</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p>

	「愛別離苦」 【授業内容】 松芳忌、礼拝練習、経歴紹介（映像にて） 献茶、教職員、学生礼拝、講話		学習帳をまとめる。
14 回目	学習のまとめ 【禅語：一華開五葉】文系：宗教学 【ワンポイント】文理系：倫理学 茶道文化の意義・利休七則 【授業内容】 筆記試験について・学習帳まとめ 自己点検・アンケート・学習帳提出	面接授業	【予習・復習】（1時間） 教科書、学習帳で、 今までの復習をする。 点前は薄茶、濃茶の 自主練習を行う。
15 回目	卒業記念茶会 【禅語】「白珪尚可磨」 【授業内容】 ①茶会の流れ②客点前 ③点て出し	面接授業	【予習・復習】（1時間） お別れの茶会の冊子に 目を通して置く
16 回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。

- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

※新型コロナの関係で、急遽対面授業ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性があります。

講義科目名称：日本国憲法	授業コード：BS101
英文科目名称：The Constitution of Japan	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>幼児教育に携わる人材にはさまざまな能力が求められるが、この講義においては、日本国憲法の意義を理解し、主として2つの柱「基本的人権」「日本の国の仕組(三権分立)」について学ぶ。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 明治憲法と日本国憲法との違いを理解する。日本国憲法の三大原則について理解する。天皇制について理解する。</li> <li>② 明治憲法における人権について理解する。日本国憲法の主体について理解する。近代憲法の特徴について理解する。</li> <li>③ 平等権について理解する。自由権について理解する。社会権について理解する。</li> <li>④ 新しい人権の生まれた背景について理解する。新しい人権について具体的に知る。新しい人権について事例を通して学ぶ。</li> <li>⑤ 国会の仕組みについて理解する。内閣の仕組について理解する。裁判所の仕組について理解する。三権分立について理解する。</li> </ol>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・人権の基本的な意義を理解し、子どもたちをめぐるさまざまな人権について説明することができる。	・筆記試験	60%
確かな専門的知識や技能	・三権分立について理解し、政治を取り巻く課題について自分の考えを持つことができる。	・筆記試験	30%
コミュニケーション能力	・授業で得た知識をもとの自分の考えを授業の最後に行うコミュニケーションシートに表現することができる。	・授業後アンケート(コミュニケーションシート)	5%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	・日本国憲法が幼稚園教諭に必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる	・授業への参加・態度	5%

合計	100%
補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業では、定期試験 90%、授業後アンケート 5%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。</li> <li>・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。</li> </ul>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	ガイダンス この授業が目指すもの	①保育学科でなぜ「日本国憲法」を学ぶのか、資格要件の観点や、実際に保育者に求められる視点から学ぶ。 ②15回を通して何を学ぶのかを概観する。	・予習：保育学科で取得できる資格である「幼稚園教諭」の免許取得には何を学ぶことが求められるか調べておく。
2 回目	憲法制定の歴史的経緯を振り返る	①明治憲法から日本国憲法に移り変わる経緯について学ぶ。 ②民主主義の意味について学ぶ。 ③日本国憲法と明治憲法の違いを学ぶ	・予習：明治憲法の特徴を調べておく ・復習：保育学科で日本国憲法を学ぶ意義について振り返る。
3 回目	日本国憲法の三大原則について	①国民主権は生まれた背景を学ぶ。 ②基本的人権の尊重が生まれた背景を学ぶ。 ③平和主義の生まれた背景について学ぶ。	・予習：現代社会における平和主義の意義を考えてみる。 ・復習：明治憲法の抱える問題点について整理しておく。
4 回目	基本的人権総論	①人権の世界的な歴史について振り返る。 ②基本的人権が何故生まれてきたのかについて振り返る。	・予習：中学や高校の歴史の教科書を読み、日本国憲法が生まれてきた背景を調べておく。 ・復習：日本国憲法の三大原則について確認する。
5 回目	包括的基本権	① 人権が時間を経ていかに拡大していったのかについて学ぶ。 ② 社会権の概念の登場について学ぶ。 ③ 新しい人権について学ぶ。	・予習：新しい人権という言葉を調べる。 ・復習：基本的人権は最初は何から生まれたのかを確認する。
6 回目	平等権	①平等権が生まれてきた歴史的背景を学ぶ。	・予習：「差別」について調べておく。

		<p>②平等権にはどのようなものがあるか具体的に学ぶ。</p> <p>③どのようなときで「不平等」を感じるのか考えてみる。</p>	<p>・復習：新しい人権についてまとめておく。</p>
7回目	精神的自由権	<p>①思想・良心の自由について学ぶ。</p> <p>②信教の自由について学ぶ。</p> <p>③学問の自由について学ぶ。</p> <p>④表現の自由について学ぶ。</p>	<p>・予習：自分が考えると「表現」についてまとめておく</p> <p>・復習：平等権の具体的な内容をまとめておく。</p>
8回目	経済的自由権	<p>①居住移転の自由について学ぶ。</p> <p>②職業選択の自由について学ぶ。</p> <p>③財産権について学ぶ。</p>	<p>・予習：自分のなりたい職業についてまとめておく。</p> <p>・復習：表現の自由がなぜ重要なのかについてまとめておく。</p>
9回目	身体的自由権	<p>①この人権がないとなぜ困るのかについて学ぶ。</p> <p>②刑事手続き全般そして基本原則について学ぶ。</p> <p>③被疑者の人権、被告人の人権について学ぶ。</p> <p>④死刑制度について学ぶ。</p>	<p>・予習：黙秘権という言葉について調べておく。</p> <p>・復習：職業を選択できる意義についてまとめておく。</p>
10回目	参政権	<p>①参政権の意義について学ぶ。</p> <p>②選挙制度について学ぶ。</p> <p>③現代社会における選挙制度の抱える問題点について学ぶ。</p>	<p>・予習：最近の選挙の結果について調べておく。</p> <p>・復習：死刑制度について自分の考えをまとめておく。</p>
11回目	社会権	<p>①生存権が生まれてきた経緯について知りその意義について学ぶ。</p> <p>②教育を受ける権利について学ぶ。</p> <p>③勤労権について学ぶ。</p> <p>④労働基本権について学ぶ。</p>	<p>・予習：生活保護という言葉について調べておく。</p> <p>・復習：投票に行き、政治に参加する意義についてまとめておく。</p>
12回目	国会	<p>①三権分立について学ぶ。</p> <p>②国会の組織と権能について学ぶ。</p> <p>③国会議員の実際の活動を知る。</p>	<p>・予習：自分の住んでいる街の国会議員について調べる。</p> <p>・復習：生存権の意義についてまとめておく。</p>
13回目	内閣	<p>①内閣制度について学び、これまでの内閣の変遷を振り返る。</p> <p>②内閣の組織と権能について学ぶ。</p>	<p>・予習：首相官邸のホームページを見ておく。</p> <p>・復習：衆議院と参議院の</p>



		③現在の政権を例に、内閣の実際について学ぶ。	違いについてまとめておく。
14 回目	裁判所	①裁判所の組織について学ぶ。 ②裁判官の権能について学ぶ。 ③裁判員裁判について学ぶ。	・予習：裁判員裁判という言葉調べておく。 ・復習：内閣総理大臣の役割についてまとめておく。
15 回目	まとめ	①この授業で何を学んだのかについて振り返る。 ②学んだことがこれからの保育士や幼稚園教諭としてどのような観点から役立つのかについて確認する。 ③日本国憲法を学び、この15回を通して何を身につけたかを各人が考える。	・予習：これまでのノートをふりかえる。 ・復習：裁判所の基本的な機能についてまとめておく
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	① テキスト：「よくわかる憲法」（嵯峨野書院） ② 参考書：授業内容に合わせて別途指示する。
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 ・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	日本国憲法は、とっつきにくい印象をもたれがちですが、なるべく今の世の中で起きている事象に結び付けてわかりやすく解説をし、考えてもらおうと思います。

講義科目名称：女性学	授業コード：24251
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	1 単位	科目必選区分	授業形態
後期	1 年	2 単位		選択	講義
担当教員					
川原ゆかり					

授業概要	<p>歴史的・文化的・社会的・法的変遷の中の女性の生き方についての基本的な知識を修得する。さらにフェミニズムの理論やジェンダー問題についての理解を深め、女性のエンパワメントについて見識を高めることができる。</p> <p>各論として、女性と家族、母子世帯と社会福祉、貧困、結婚、子育て・労働・高齢者問題、DV、児童虐待などについての理解に必要な知識を養う。また、LGBTなどセクシャリティの多様性についての知識や理解を深めることで、多様な生き方を受け入れる事ができるようになる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多様な生き方・様々な考え方・価値観を知り、受容できるようになる。	・レポート	
確かな専門的知識や技能	女性を取り巻く社会情勢の中の様々な課題や問題点、福祉制度などについて理解し、自らの生き方の考察に繋げることができる。	・定期試験 ・レポート	70% 10%
コミュニケーション能力	多様な生き方・様々な考え方・価値観を知るために、グループディスカッションを通して、自己覚知することができる。	・グループディスカッション	
課題解決能力	講義で得た知識や他の生き方を通して、自己課題を発見し、問題解決する力をレポート等で言語化して再認識し、行動かできる力を身に付ける。	・定期試験 ・レポート	10%
主体的に学ぶ力	積極的に他とディスカッションし、新聞記事等の関連情報に自らリサーチできるようになる。	・予習・復習力 ・レポート	10%
合計			100%

#### 補足事項

1～4回の授業の資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するための各種の心理テスト等は予習・復習として実施して下さい。対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。定期試験後に解答を開示します。課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「女性学総論」女性を取り巻く社会構造・概論	対面授業 オンライン	予習：身近な女性の生き方のモデルに触れる（2時間） 予習：女性を軸にした社会構造をまとめる（2時間）
2回目	「結婚について」結婚に対するイメージ・希望・願望・世界の結婚・日本の結婚の定義	対面授業 オンライン	予習：学友と結婚についてディスカッションする（2時間） 予習：結婚の意味・意義について自分の考えをまとめる（2時間）
3回目	「性同一性障害①」LGBTについて理解を深める。実話「ボーイズ・ドントクライ」を視聴する。	対面授業 オンライン	予習：LGBTの文献を読む（1時間） 予習：資料を読み、LGBTの認識を深める（2時間）
4回目	「性同一性障害②」トランスジェンダーについて理解を深める。	対面授業 オンライン	予習：女性のトランスジェンダーに関する記事を読む（1時間） 復習：女性のトランスジェンダーの生きづらさをまとめる（2時間）
5回目	「出産について」世界10か国の女性の出産のドキュメンタリーを視聴する。	対面授業 オンライン	予習：出産に関する正しい知識を学ぶ（1時間） 復習：命がこの世に生まれる神秘をまとめる（1時間）
6回目	「ジェンダーについて」社会的・文化的・歴史的慣習の中の女性差別を理解する。女性差別と区別を知る。	対面授業 オンライン	予習：身近な所の中にある女性差別に気づく（1時間） 復習：女性誌研史を読む（2時間）
7回目	「DV①」配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する（DV法）法律について学ぶ。DVD「DV」を視聴する。	対面授業 オンライン	予習：DVに関する文献を読む（2時間） 復習：DV法の趣旨とDVに対する自分の考えをまとめる（1時間）
8回目	「DV②・共依存」男女間で陥りやすい共依存について認識を深める。自立と依存について学ぶ。	対面授業 オンライン	予習：依存に関する文献を読む（1時間） 復習：DV被害者の保護・その社会資源について知る（1時間）
9回目	「女性と高齢者問題」少子高齢社会の中の女性の生き方を考える。女性の一生の時間軸とエピソードについて理解する。	対面授業 オンライン	予習：人口構造について調べる（1時間） 復習：自分の女性としての10年後・30年後の人生をイメージしてまとめる。（2時間）
10回目	「女性と援助交際」児童福祉・児童養護・子育て環境・非行・と援助交際について女性の観点から考える。	対面授業 オンライン	予習：援助交際に関する資料や図書を読む（2時間） 復習：生育歴や社会環境・女性自立の観点からまとめる（2時間）
11回目	「母子家庭と養育放棄」実話「誰も知らない」を視聴。母子家庭の親子の生きざまや実態を理解する。	対面授業 オンライン	予習：子どもにとっての親とは何か、学友とディスカッションする（2時間） 復習：親の立場から子育ての困難性を

			想像する（1時間）
12回目	「母子家庭と養育問題」経済的・社会的・法的・社会構造からみた母子家庭の位置づけを考える。	対面授業 オンライン	予習：養育放棄・ネグレクト関連の図書を読む（2時間） 復習：子どもの予後を理解し、社会的養護に関する文献を読む（2時間）
13回目	「女性と子育て」女性の就業（社会参画）に伴う子育て環境の変化と保育制度について理解する。	対面授業 オンライン	予習：多様な働き方と保育ニーズについて調べる（2時間） 復習：現代社会における保育制度と保育者を目指す自己理解をするために考えをまとめる（2時間）
14回目	「総活・まとめ」女性学概論から各論にいたる一連の学びを整理し、時代と共に変化するデータ(数値)や概念をまとめる。	対面授業 オンライン	予習：1～13回の資料を読む（2時間） 復習：諸々の概念や数値を理解し、記憶する（2時間）
15回目	「模擬テスト」各種制度や概念、時代と共に変化する数値の意味と社会構造を理解し、総まとめとして正しい知識を得る。	対面授業 オンライン	予習：記憶するための「穴空きプリント」を勉強する（1時間） 復習：定期試験の準備（3時）
16回目	筆記試験（持ち込み不可）	対面授業	定期試験の勉強（10時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書（未定）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	特に定めません。質問がある場合は昼休み・放課後に行います。
備考・メッセージ	<p>原則対面授業ですが、オンライン授業を行う場合もあります。オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。オンライン授業のパワーポイント資料は事前に配布します。</p> <p>女性のリアルな生きざまと女性特有の取り巻く環境・価値感を指南しながら、実例や現状と課題を通して、自立した女性の生き方を探っていきます。一人の人間・女性としての自立の先にある保育者としての子育て支援の視点を体現できる授業を通して、理論に結びつけていきます。</p> <p>課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。</p>

講義科目名称：実践国語演習	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	講義・演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	<p>保育者としてふさわしい国語力を修得するために、「会話表現」と「文章表現」の基礎を学び、応用力を身に付ける。子ども、保護者、職場の人それぞれに対する言葉遣いと気遣いのできる人間力を養う。</p> <p>本講義では、①保育現場において正しい言葉遣いで対応することができる、②広い視野で物事を捕らえ保育の実践をすることができる、③読みやすい文字で順序立てた文章を書くことができることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・ビブリオバトルを通して自分の思いを伝えることができる。	・授業での発表	10%
確かな専門的知識や技能	・総合的な国語力を身に付けている。 ・保育士としての思いを的確に文章で表現できる。	・定期試験	50%
コミュニケーション能力	・グループ内で協力して「事例カード」による寸劇を作り上げることができる。	グループディスカッションと授業での発表	10%
課題解決能力	・保育に関する新聞記事を読み、有効な解決策を考えることができる。	・レポート	10%
主体的に学ぶ力	・毎回の講義の感想や質問を文章で表現できる。	・授業への参加・態度 ・振り返りのメモ	20%
合計			100%

補足事項	
<p>・本授業では、定期試験50%、授業の振り返りメモと授業への参加・態度20%及びビブリオバトル、グループディスカッション、レポート各10%の割合で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、保育士に求められる国語力について説明する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：自己紹介（保育園・幼稚園時代の思い出エピソード）を考えておくこと（2時間） 復習：シラバスを再度確認しておく（2時間）
2回目	「会話表現1」 聞き取りやすい話し方の基本について説明する。 ・正しい発声、アクセント、プロミネンス	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P20～P25を読んでおく（2時間） 復習：早口言葉を書き、声に出して言う（2時間）
3回目	「会話表現2」ビブリオバトル 4人グループで予選を行い、チャンプ本を決め、全体で代表者による決戦大会を行う。 ・本を持参（図書館で借りても良い）	対面授業 オンライン等の対応可	予習：紹介する本を準備し、5分間で話す練習をしておく（2時間） 復習：チャンプ本のどこに惹かれたかについてまとめる（2時間）
4回目	「会話表現3」 敬語について説明する。 ・敬語の種類 ・二重敬語に注意	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P26～P30を読んでおく（1時間） 復習：敬語の種類についてまとめる（3時間）
5回目	「会話表現4」 実習先での自己紹介について説明する。（先生方、子ども、保護者の3つのパターン） 演習シートを用いて授業の理解を深める。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P32～P36を読んでおく（1時間） 復習：発表した内容の振り返りをする（3時間）
6回目	「会話表現5」 電話の応対について説明する。 ・ロールプレイ式 ・伝言メモの取り方	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P37～P39、P55～P56を読んでおく（2時間） 復習：的確な応対に必要な知識をまとめる（2時間）
7回目	「会話表現6」 保育現場での話し方について説明する。 事例カードごとに園児役、先生役に分かれての寸劇 ・役になりきることが重要	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P40～P45を読んでおく（2時間） 復習：各グループの良かった点をまとめる（2時間）
8回目	「文章表現1」 文字を正しく書くことについて説明する。 ・ペンの正しい持ち方 ・正しい表記	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P58～P65を読んでおく（2時間） 復習：自分の文字の癖を再認識する（2時間）
9回目	「文章表現2」 文章作成上の留意点について説明する。 ・当て字、隠語、記号の使い方、重複表現、同じ言葉の多用	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P66～P71を読んでおく（2時間） 復習：自分の文章の癖を再認識する（2時間）
10回目	「文章表現3」 文章の基本的な書き方について説明する。 ・毎回書いている振り返りメモを参考	対面授業 オンライン等の対応可	予習：P72～P76を読んでおく（2時間） 復習：自分の文章の癖を文

			章化する (2 時間)
11 回目	「文章表現 4」 実習日誌の書き方を説明する。 ・ある保育士の 1 日のビデオを参照	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P78~P87 を読んでおく (2 時間) 復習:実習日誌を完成させる (2 時間)
12 回目	「文章表現 5」 指導計画、連絡帳の書き方について説明する。 ・指導計画の見本から学ぶ ・連絡帳を実際に書く	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P88~P92 及び P125~P132 を読んでおく (2 時間) 復習:グループで交換して見た連絡帳の長所をまとめる (2 時間)
13 回目	「文章表現 6」 小論文の書き方を説明する。 ・原稿用紙の使い方、作文と小論文の違い、構成 ・過去に出されたタイトルから一つを選び実際に書く	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P112~P124 を読んでおく (2 時間) 復習:時間内に提出した小論文の振り返りをする (2 時間)
14 回目	「文章表現 7」 手紙、はがき、メールの書き方を説明する。 ・年賀状を書く	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P93~P106 を読んでおく (1 時間) 復習:実際に年賀状を書いて出す (3 時間)
15 回目	「文章表現 8」「会話表現 7」 履歴書の書き方と面接の受け方を説明する。 ・履歴書を書き、それをもとにグループで面接練習をする。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:P107~P111 及び P46~P50 を読んでおく (2 時間) 復習:今日の学びの振り返りをする (2 時間)
16 回目	定期試験	対面のみ	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:『保育者になるための国語表現』2019 改訂版 2 刷 萌文書林 参考書、資料に関しては授業で提示する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問に対応します
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座席指定とする</li> <li>・ 欠席の場合は欠席願 (届) を必ず提出すること</li> <li>・ 常に保育関連の新聞記事やニュースに注目しておくこと</li> <li>・ 演習形式の授業なので、積極的に取り組み国語力を養おうとする意欲のある学生を望みます</li> </ul>

講義科目名称:英語 I	授業コード:12151、13152、14153
英文科目名称:	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
本土 源太郎				

授業概要	<p>保育現場で役立つ英語表現をテキストを使いバランスよく学ぶ。毎回、小テストを行い記憶の定着を促し、幼保英検3～2級取得を目指す。</p> <p>また、ORT(オックスフォードリーディングツリー)を使い、幼児への英語絵本読み聞かせの実践的なトレーニングも行う。</p> <p>さらに、幼児教育の社会的意義、文化的背景に関する講義を行い、幼児英語教育に対する考察を深める。</p> <p>まとめると①英語の実力養成 ②教材・教具の研究 ③短大生としての教養の涵養の3つを目標とする。授業ウエイトは①&gt;②&gt;③とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会の様々な立場の人に親和的な態度で積極的に働きかけることができる。	授業への参加・態度	
確かな専門的知識や技能	英語で保育現場に役立つ身近な表現と語彙を用いて活用することができる。	定期試験 小テスト	50% 30%
コミュニケーション能力	英語で相手や目的・場面に応じて自らの意志を的確に表現、理解することができる。	グループディスカッション・プレゼンテーション	
課題解決能力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる。	レポート	20%
主体的に学ぶ力	自己について深く理解し、興味関心に基づき保育について考えることができる。		
合計			100%
補足事項			
授業中の携帯電話の使用は禁止します。			



授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	英語の会話に最低限必要な表現	予習・復習の内容を説明
2回目	Unit 1	自己紹介に関する英語表現	PreUnit の復習と予習
3回目	Unit 2	場所に関する表現を説明する	Unit1の復習と予習
4回目	Unit 3	体調に関する英語表現を学習する	Unit2の復習と予習
5回目	Unit 4	好き嫌いに関する英語表現	Unit3の復習と予習
6回目	Unit 5	存在・状態に関する英語表現	Unit4の復習と予習
7回目	Unit 6	時間に関する英語表現	Unit5の復習と予習
8回目	Unit 7	病気・アレルギーに関する表現	Unit6の復習と予習
9回目	Unit 8	緊急事態に関する英語表現	Unit7の復習と予習
10回目	Unit 9	行事に関する英語表現	Unit8の復習と予習
11回目	Unit 10	天気に関する英語表現	Unit9の復習と予習
12回目	Unit 11	禁止・助言に関する英語表現	Unit10の復習と予習
13回目	Unit 12	病気に関する英語表現	Unit11の復習と予習
14回目	Unit 13	電話での応対に関する英語表現	Unit12の復習と予習
15回目	Unit 14	感謝の気持ちを表す英語表現	Unit13の復習と予習
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	Happy English for Childcare 保育のための基礎英語
履修条件	
履修上の注意	教科書を忘れないこと。
オフィスアワー	(前期)月曜日の2～4限目
備考・メッセージ	授業中の携帯電話の使用は禁止 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと。

講義科目名称： 国際コミュニケーション I	授業コード： 5 3 1 5 2
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
キャロライン キム (Caroline Kim)				

授業概要	<p>This course is designed to provide students with basic English conversation skills and targeted English needed for working in a childcare environment. Students will learn every day, practical vocabulary, and phrases. Students will lead and participate in activities, role play, learn games and songs that will help them develop situation-specific language and skills that can use in the working environment. At the end of course, not only students will strengthen and improve vocabularies and expressions but also gain overall confidence to use English on the job.</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
主体的に学ぶ力	英語が保育士又は保育関係者に必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	① Learn basic communication with non-Japanese children and study childcare contents in English. ② Improve English communication skill required for nursery schools.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験</li> <li>・ プレゼンテーション</li> </ul>	60% 10%
課題解決能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習ができる。	課題の提出	10%
心豊かな人間力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	グループワーク 授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
・本授業では、参加度 10%、定期試験 70%、プレゼンテーション 10%、課題の提出 10%、グループワーク 10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	Intro about the course, self-introduction	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from Unit 1 復習 : N/A
2 回目	First Step to Childcare English	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
3 回目	Welcome to Minato Nursery School!	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
4 回目	Time and Numbers	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
5 回目	Directions	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
6 回目	Dream Nursery School Project 1	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
7 回目	Dream Nursery School Project 2	対面授業	予習 : Prepare for the presentation 復習 : Draw nursery school
8 回目	Presentation Day Review Unit 1 - 4	対面授業	予習 : Prepare for the presentation 復習 : Assignment
9 回目	Davy Meets His classmate Takashi	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
10 回目	Dropping Davy Off and Picking him up	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
11 回目	Jobs at Nursery School	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
12 回目	Lunchtime	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
13 回目	Toilet Dialog	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.

			復習 : Assignment
14 回目	Fighting	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
15 回目	Unit 5 - 10	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書 : 「保育の英会話 Childcare English」 赤松直子・久富陽子 萌文書林 ISBN コード : 9784893470775
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に関する質問は直接のほか Melly でも受け付け、web 上あるいは以降の授業回で答える。</li> <li>・ 対面授業が出来ない状況にはリモートで授業の対応可能</li> <li>・ 必ず予習・復習して授業に参加する。</li> <li>・ 課題提出は締切厳守</li> <li>・ 授業計画 (シラバス) に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。</li> </ul> <p>This class will be conducted primarily in English. Students should have a strong desire and willingness to learn and use English.</p> <p>Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p>

講義科目名称： 国際コミュニケーションII	授業コード： 53253
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
キャロライン キム (Caroline Kim)				

授業概要	<p>This course is designed to provide students with basic English conversation skills and targeted English needed for working in a childcare environment. Students will learn every day, practical vocabulary, and phrases. Students will lead and participate in activities, role play, learn games and songs that will help them develop situation-specific language and skills that can use in the working environment. At the end of course, not only students will strengthen and improve vocabularies and expressions but also gain overall confidence to use English on the job.</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
主体的に学ぶ力	英語が保育士又は保育関係者に必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる。遅刻の有無なども評価に加味する。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	① Learn basic communication with non-Japanese children and study childcare contents in English. ② Improve English communication skill required for nursery schools.	定期試験 プレゼンテーション	60% 10%
課題解決能力	実際の受験を念頭に授業を進めるので文法と語彙の復習ができる。	課題の提出	10%
心豊かな人間力	異文化知識・対応能力 相手の意思を理解・自らの意思を表現ができる。	グループワーク 授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>・本授業では、参加度 10%、定期試験 60%、プレゼンテーション 10%、課題の提出 10%、グループワーク 10%の割合で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	Introduction about the course and goals Explain upcoming project	対面授業	Not Applicable (N/A)
2 回目	Injuries and Illness	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
3 回目	Telephone Calls	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
4 回目	Conversation practice Unit 11 - 12	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
5 回目	Field Trip	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
6 回目	Write a letter to parents about field trip	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
7 回目	Baby Care	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
8 回目	Graduation Day	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
9 回目	Write a diploma and a note to students	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
10 回目	Unit 11 - 15	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
11 回目	National Holidays and celebrations	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
12 回目	Introduce Japanese holiday in English	対面授業	予習 : Prepare presentation 復習 : Assignment
13 回目	Presentation Day	対面授業	予習 : Prepare presentation 復習 : Assignment
14 回目	Watch a movie related to kindergarten	対面授業	予習 : Check vocabulary and

			grammar from the next unit. 復習 : Assignment
15 回目	Movie worksheet	対面授業	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「保育の英会話 Childcare English」 赤松直子・久富陽子 萌文書林 ISBN コード : 9784893470775
履修条件	
履修上の注意	授業の際は必ず教科書、ハンドアウト、辞書を持参すること。
オフィスアワー	授業の前後・メールで質問や聞き合わせ。学生の希望によって相談可能。 (carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に関する質問は直接のほか Melly でも受け付け、web 上あるいは以降の授業回で答える。</li> <li>・ 対面授業が出来ない状況にはリモートで授業の対応可能</li> <li>・ 必ず予習・復習して授業に参加する。</li> <li>・ 課題提出は締切厳守</li> <li>・ 授業計画 (シラバス)に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。</li> </ul> <p>This class will be conducted primarily in English. Students should have a strong desire and willingness to learn and use English.</p> <p>Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p>

講義科目名称：スポーツ科学	授業コード：21153
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1	必修	演習
担当教員				
中尾健一郎				

授業概要	<p>①スポーツと人との関わりについて、自からのスポーツとの関わりについて振り返る</p> <p>②健康と運動との関わり、効果的な体力維持向上の方法、食生活と運動とのかかわりについて理解する</p> <p>③日本のスポーツの現状、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について理解する</p> <p>④トップアスリートのパフォーマンスについて、スポーツ科学的視点から理解する</p> <p>⑤熱中症対策や自らの生活とスポーツとの関わりについて説明し、生涯スポーツの観点について理解する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・する・みる・支える・創るなど人とスポーツの関わりについて生涯スポーツの観点から説明できる</li> <li>・スポーツ基本法、スポーツ基本計画について説明できる</li> <li>・スポーツの科学的視点からトップアスリートのパフォーマンスを理解できる</li> <li>・熱中症対策について説明できる</li> </ul>	<p>課題レポート</p> <p>期末レポート</p>	<p>30%</p> <p>30%</p>
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者を目指すものとして、自らの生活と運動やスポーツとの関わりについて説明できる</li> </ul>	<p>期末レポート</p> <p>リフレクションカード</p> <p>授業への参加・態度</p>	<p>30%</p> <p>5%</p> <p>5%</p>
合計			100%
補足事項			



- ・オンライン授業については、課題提出で出席とみなす
- ・毎回、Melly を使って、授業のポイント、意見・質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出
- ・課題レポートは授業内で回収し、意見・質問なども含めコメントは Melly や授業内にて行う。
- ・期末レポート 60%、課題レポート 30%、リフレクションカード 5%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション・スポーツと人の関わりと生涯スポーツの考え方について」 これまでの自分の運動やスポーツへの関わりについて考える	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：これまでの自分の運動やスポーツへの関わりについて振り返る(1.5 時間) 復習：配布資料を参考に運動やスポーツとの関わりについてまとめる(1.5 時間)
2 回目	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について①」 運動やスポーツに関する実態調査(新体力テスト等)を実施し、自分の健康づくりに向けて運動やスポーツへの関わりについて考えるきっかけとする。	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：現在の体力・運動能力について振り返る(1.5 時間) 復習：体力測定の結果を振り返り、運動やスポーツとの関りについて考える(1.5 時間)
3 回目	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について②」 健康づくりの観点から休養・栄養・運動について理解し、有酸素運動の効果、筋力トレーニングの効果について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：健康・体力づくりと食生活との関りについて調べる(1.5 時間) 復習：配布資料を参考に健康体力づくりに果たす運動・スポーツの役割についてまとめる(1.5 時間)
4 回目	「日本のスポーツの現状と課題、日本のスポーツ推進策について」 統計データから日本のスポーツの現状と課題、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：日本のスポーツ振興の現状について調べる(1.5 時間) 復習：配布資料を参考にスポーツ振興の現状と課題についてまとめる(1.5 時間)
5 回目	「熱中症対策について」 熱中症について学び、その対策及び対応について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：熱中症対策について調べる(1.5 時間) 復習：配布資料を参考に子どもの熱中症対策について

			振り返る(1.5時間)
6回目	「トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点①」 トップアスリートを支える仕組みについて学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：オリンピックなどのトップアスリートの活躍について調べる(1.5時間) 復習：配布資料を参考にトップアスリートを支える仕組みについてまとめる(1.5時間)
7回目	「トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点②」 事例からアスリートを科学的にサポートする方法について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：アスリートを科学的にサポートする方法について調べる(1.5時間) 復習：配布資料を参考にアスリートを科学的にサポートする方法について振り返る(1.5時間)
8回目	「まとめ・運動の効果と実践基準について」 生涯にわたるスポーツライフの実現に向けた日々の実践について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：自分のこれからのスポーツライフについて考える(1.5時間) 復習：配布資料を参考に現実的な計画を考え実践に結び付ける(1.5時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：教養としてのスポーツ科学 大修館書店
履修条件	
履修上の注意	オンライン等の授業についてはPC、タブレット(パソコン)等を準備し、対応できるようにすること
オフィスアワー	授業の前後に教室にて質問を受け付ける
備考・メッセージ	自分の健康に関心を持ち、運動やスポーツとの関わりを振り返りながら取り組むこと。

講義科目名称：スポーツ実習	授業コード：22252、23254
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	1	必修	実習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本実習は、スポーツの楽しさと大切さを学び、スポーツを取り入れた豊かなライフスタイルについて考えることをねらいとしている。</p> <p>本実習では、①体力テストなどから自分の現状が分かる、②さまざまなスポーツのルールが分かる、③自分にあうトレーニングのやり方が分かる、④スポーツを通じたコミュニケーションができる、⑤運動の大切さが分かることを目標にする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の健康に興味を持ち、スポーツに積極的に取りくむことができる</li> <li>・自身にふさわしいスポーツ活動を選び、豊かなスポーツライフを考えることができる。</li> </ul>	授業への参加・態度	50%
確かな専門的知識や技能	・スポーツのルールを理解して、試合に生かすことができる。	確認テスト	10%
コミュニケーション能力	・だれとでも、スポーツを通じて、交流することができる。	試合などのチーム活動	10%
課題解決能力	・実践を通して、自分の課題を見つけ、改善する方法を考えることができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	・自分の体力やスポーツ技術を高めようと努力することができる。	スポーツテスト（2回）	20%
合計			100%

補足事項
<p>ゲーム形式のチーム活動、スポーツテスト、ルール確認テスト、レポート、授業への参加・態度を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Melly で個別に対応もおこなう。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	体力テストの実施	面接授業	予習：ストレッチなどを行い、けがの予防について調べる（0.5h） 復習：体力テストの結果から自分の生活を見直す（0.5h）
2回目	ルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5h） 復習：ルール・用具について復習する（0.5h）
3回目	サーブを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	面接授業	予習：サーブについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦する（0.5h）
4回目	スマッシュ・カットを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	面接授業	予習：スマッシュ・カットについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦する（0.5h）
5回目	ルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5h） 復習：ルール・用具について復習する（0.5h）
6回目	パスを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：パスについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦する（0.5h）
7回目	アタック、レシーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：アタック、レシーブについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5h）
8回目	ルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5h） 復習：ルール・用具について復習する（0.5h）
9回目	サーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：サーブについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5h）
10回目	スマッシュ、カットを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：スマッシュ、カットについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦した感想を書く（0.5h）
11回目	ルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5h） 復習：ルール・用具について復習する（0.5h）
12回目	パス、ドリブルを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：パス、ドリブルについて調べる（0.5h） 復習：試合を観戦して感想を書く

			(0.5h)
13 回目	シュートを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：シュートについて調べる (0.5h) 復習：試合を観戦して感想を書く (0.5h)
14 回目	トレーニングについて 各スポーツの基礎技術の確認	面接授業	予習：トレーニングについて調べる (0.5h) 復習：トレーニングの実践を各自で行う。 (0.5h)
15 回目	各競技のルールについて確認 自分のライフスタイルとスポーツ について考える	面接授業	予習：各競技のルールを調べる (0.5h) 復習：自分にあったスポーツを実践する (0.5h)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布 参考書： 松野修二（監）『スポーツステップアップ DVD シリーズ バドミントンパーフェクトマスター』、新星出版社、2008 大林素子（監）『DVD で分かる！バレーボール基本・練習・実践テクニック』、西東社、2015 宮崎善仁（監）『絶対うまくなる！卓球』、主婦の友社、2012 長谷川健志（監）『DVD 上達レッスン バasketボール』、成美堂出版、2007
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	積極的に運動に取り組む姿勢で参加すること 運動できる服装、体育館シューズが必要

講義科目名称：コンピュータ演習	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	2	卒：選択 幼：必修	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	<p>① パソコンの基本操作や各種設定方法を身につけ、タッチタイピングを習得する。</p> <p>② インターネットを使用する上で必要な社会ルールやマナー、著作権について理解する。ホームページ閲覧や検索方法などを身につける。</p> <p>③ Word を使い、正確かつスピーディな文書作成が行えるよう、基本操作を学習する。保育現場で必要となる園だよりやポスターなどを作成する。</p> <p>④ Excel を使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成を学習する。行事カレンダーや出席簿などを作成する。</p> <p>⑤ PowerPoint を使い、プレゼンテーションの仕方および注意点等を学習する。電子絵本を作成し発表する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	保育士として必要な Word、Excel、PowerPoint の基本的な使い方を学ぶ。	・課題提出	50%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	Office 系アプリケーションを活用して、相手に伝わる資料やプレゼンテーションを構築する。	・課題提出 ・成果発表	40%
主体的に学ぶ力	授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける。	・課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

本授業では毎回 10 分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	コンピュータの基礎知識	パソコンの基本操作、各種設定、ファイル保存、タイピングの基本	パソコンがどのような仕組みで構成されているか、また、操作方法と大学内でのファイルの保存場所などを確認する
2 回目	文書作成（1）	Word の基本操作、画面構成、タイピング、文字入力（ひらがな、カタカナ、漢字変換）	ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する
3 回目	文書作成（2）	ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定）	中央揃えやインデントなど文字の配置や飾りつけの練習課題を行う
4 回目	文書作成（3）	表枠作成（表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾）	表挿入のボタンの位置および完成例をもとにした表枠作成の練習課題を行う
5 回目	文書作成（4）	図形の操作（図形の基本操作、クリップアート、オートシェイプ、写真）	図形の拡大縮小・移動などの基本操作の確認と、図形を含む練習課題を行う
6 回目	Word のまとめ	総復習・課題作成（園だより）	レイアウトを整え、イラストや表枠を入れた見やすく楽しい園だよりを完成させる
7 回目	Excel の基礎（1）	表計算の基本用語と概念、画面構成、データ入力の基礎、オートフィル、セルの書式設定	効率の良い範囲選択や曜日などの自動入力など、テキストを見なおして例題を解く
8 回目	Excel の基礎（2）	計算式（加減乗除）、関数（合計、平均、カウント、最大、最小）	計算式の作成と関数の使用（オート SUM）の練習課題を行う
9 回目	Excel の基礎（3）	関数（IF、RANK、COUNTIF）、データの並べ替え	目的に応じた関数の使用、住所録などの並べ替えの練習課題を行う
10 回目	Excel のまとめ	総復習・課題作成（行事カレンダー・出	適切な関数を活用し、レイ

		席簿)	アウトを整えた見やすい行事カレンダーや出席簿の作成を行う
11 回目	情報モラルおよびインターネットの活用	インターネット社会のルール・マナー、著作権の保護、情報検索方法	インターネットを活用する際の危険な行為を再度認識し、ネット活用を行う
12 回目	PowerPoint の基礎 (1)	スライドの作成、テキスト・図の挿入、アニメーションの設定	文字や図を活用したスライド作成の練習課題を行う 電子絵本の構成を考える
13 回目	PowerPoint の基礎 (2)	スライドショー操作および発表の注意点、印刷・配布資料の作成、電子絵本作りの課題内容説明	電子絵本の構成を考える
14 回目	PowerPoint のまとめ	課題作成 (電子絵本)	電子絵本作りに必要な素材集めや、資料作成を行う
15 回目	PowerPoint のまとめ・発表	電子絵本のプレゼンテーション発表	効果的な手法でのプレゼンテーション発表を振り返り、改善点を考える
16 回目			

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習 (保育) (テキスト代：1,000 円)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の提出課題が評価に繋がるため休んだ場合も提出すること。



講義科目名称：保育原理	授業コード：51151、54152
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
紺谷遼太郎・安部恵美子・川原ゆかり・戸田恵理子・前田聖悟				

授業概要	<p>本科目の目的は、保育の本質にかかわる専門的知識や考え方を習得し、保育者として自己探求できる力の基礎を養うことである。前半では、保育とは何かを考え、保育の意義や制度を学び、保育指針や教育要領に抛りながら保育の内容や方法について理解する。</p> <p>後半では、保育の思想や歴史的変遷について取り上げ、現代の保育や子どもをめぐる状況を保護者支援など多角的に捉える視点を養い、現在とこれからの保育を考えていく力の基盤を養うことを目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	保育者の基盤となる人間性について理解し、考えを述べることができる。	テスト	5%
確かな専門的知識や技能	保育の意義及び目的について理解している。 保育に関する法令及び制度を理解している。 保育指針・教育要領における保育の基本について理解している。 保育の思想と歴史的変遷について理解している。	課題② テスト	10% 60%
コミュニケーション能力	子どもや保育に関して、他者と意見を交わしたり、話し合ったりすることができる。	課題①の発表 討議	5%
課題解決能力	保育における課題について、自身の関心に基づき探究することができる。	課題①	10%
主体的に学ぶ力	自らがめざす保育や保育者について考え、論じることができる。	課題③	10%
合計			100%

#### 補足事項

資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するための各氏両党は予習・復習として実施して下さい。対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。

オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育の理念と目的」保育総論～保育とは何か、理念や目的、その概念を考え	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン1を読み、保育とは何かを

	る。 (川原・紺谷)		考えておく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
2回目	「保育の社会的意義」現代社会における保育の意義を考える中で、保育の社会的役割りと責任を知る。社会的隔離と子どもの発達を知る。 (川原・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン2を読んでおく。 復習：授業を振り返り、保育の社会的意義に対する考えを深める。
3回目	「保育の法令と制度」法令と制度から幼稚園・保育所・認定こども園について学ぶ。 (紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン8を読み、基礎的事項を理解しておく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
4回目	「子ども理解」保育における子どもの理解について学ぶ。かかわりを通じた子どもの理解について学ぶ。 (戸田・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン4を読んでおく。 復習：自身の子ども観について考えをまとめておく。
5回目	「子どもの発達に応じた保育」子どもの姿をとらえる視点について学ぶ。子どもの発達の特徴や保育の内容について理解する。 (戸田・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン5を読んでおく 復習：3歳未満児及び3歳以上児の保育内容について整理する。
6回目	保育指針・教育要領における保育の基本(1) 「環境と通して行う保育」について学ぶ。 (前田・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン6・10を読んでおく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
7回目	保育指針・教育要領における保育の基本(2) 「遊びによる学習」について学ぶ。 (前田・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン6・10を読んでおく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
8回目	「保育者の役割と専門性」子どもの権利擁護（赤ちゃんポスト）について学び、保護者の理解と子ども理解と援助について考える。 (川原・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン4を読んでおく。 復習：授業を振り返り、子ども理解について考えをまとめる。
9回目	「保育の目標・内容及びカリキュラム・マネジメント」保育指針・教育要領から保育の目的・内容、カリキュラム・マネジメントの考え方を理解する。 (紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン11を読んでおく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
10回目	「これまでの学習のまとめ」1・2・3・6・7・8・9回の授業内容を整理し、学習成果をノートにまとめる。(課題②) (紺谷)	対面授業 オンライン	予習：これまでの学習を振り返り、まとめる準備をしてくる。 復習：課題を仕上げる。
11回目	「海外の保育思想・海外の保育」ルソー、フレーベル、オーエンの保育思想を学ぶ。レッジ	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン13を読んでおく。

	ヨ・エミリアの保育を学ぶ。 (安部・紺谷)		復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
12 回目	「日本における保育の歴史」明治期以降の幼稚園・保育所の歴史を学ぶ。 (安部・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン14・15を読んでおく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
13 回目	「日本の保育思想」倉橋惣三と城戸幡太郎の保育思想について学ぶ。 (安部・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：テキストのレッスン15の後半を読んでおく。復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
14 回目	「現代の保育の現状と保育者の役割」特別支援教育や保護者支援の知識や考え方を学ぶ。 (川原・紺谷)	対面授業 オンライン	予習：新聞・TV。ネットニュースなど現代の保育事情をしっておく。 復習：授業を振り返り、重要事項を確認する。
15 回目	「全体のまとめにかえて」本授業での学習を踏まえ（模擬試験）、これからの保育と保育者について考えたことを小論文にまとめる。 (紺谷・川原)	対面授業 オンライン	予習：これまでの学習を振り返っておく。 復習：子ども観・保育観をもつことができる。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
教科書・参考書	教科書 MINERVA はじめて学ぶ保育 1『保育原理』那須川智子・大方美香(監修) 戸江茂博(編著) ミネルヴァ書房 2019年 参考書 『幼稚園教育要領』文部科学省 2017年 『保育所保育指針』厚生労働省 2017年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017年
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日を基本とするが、研究室在室中はいつでも対応する。
備考・メッセージ	テキストを用いる他に、適宜プリントを配布する。 子ども・保育・子育て等に関する社会の動向に関心を持ち、報道等にも目を向けてほしい。

講義科目名称：教育原理	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	必修	講義（単独）
担当教員				
末吉 敬				

授業概要	<p>①人間について考察し、人はなぜ教育を必要とするのか等教育の意味・意義についての理解を深める。</p> <p>②現在の日本、欧米、アジアにおける幼稚園、保育所、学校に関する教育の歴史・思想について知り将来の在り方を探る。</p> <p>③学校（幼児教育・保育を含む）における教育（保育）計画、評価、カリキュラムの歴史について具体的に理解する。</p> <p>④ケアリングとしての教育や発達障害と特別支援教育等幼稚園、保育所、学校における今日的課題について考える。</p> <p>⑤教師の仕事、子どもや家庭が望む教師像、教師と権威について考え、自己の教師像を確認する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・教育原理のねらいを十分に理解し、教育者として必要な資質・能力について自分の考えを述べることができる。	・受講者の発表	5%
確かな専門的知識や技能	・学校における教育について、学習内容を基に自分の考えを発表することができる。	・受講者の発表	5%
コミュニケーション能力	・指名や指示に対して、あいさつや返事が出来たり、自分の考えを発表することができる。	・発問に対する応答	5%
課題解決能力	・授業で課題提示された内容について、その解決に向けて、ディスカッションを通して共に考え、自らの考えを述べるることができる。	・受講者の発表	5%
主体的に学ぶ力	<p>・人はなぜ教育を必要とするのか等教育の意味や意義についての理解を深め、幼児教育について自分の考えを持ち積極的に学習ができる。</p> <p>・多様な教育方法の知識を身に付け、実践的に遂行できる。</p>	<p>・授業ごとの小論文</p> <p>・講義全体のまとめのレポート</p>	<p>50%</p> <p>30%</p>
合 計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、授業ごとの小論文50%、講義全体のまとめのレポート30%、各授業への参加態度・発表20%の割合で評価する。</p> <p>・レポートは紙媒体とする。</p>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	・オリエンテーション ・人間と教育（1）	授業の進め方と授業内容の概要を説明する。 「原理としての教育」について学習し、教育の必要性について考察する。	シラバス及び教科書 P2～20 をよく読み（1時間）、人間と教育に関する学習内容を確認する（1時間）。
2回目	・人間と教育（2）	「育ち・学びと教育」について学習し、人間と教育に関する関連性を考察する。	教科書 P22～40 をよく読み（1時間）、学修課題「虐待について」を仕上げ授業に備える（1時間）。
3回目	・教育、その具体的な営み（1）	「学校の歴史」について学習し、学校の歴史とこれからについて考察する。	教科書 P42～66 をよく読み（1時間）、学修課題「学校の歴史とこれから」を仕上げ授業に備える（1時間）。
4回目	・教育、その具体的な営み（2）	「学校のしくみ」について学習し、学校を取り巻く様々な環境について考察する。	教科書 P68～88 をよく読み（1時間）、学修課題「学校を取り巻く様々な環境について」を仕上げ授業に備える（1時間）。
5回目	・教育、その具体的な営み（3）	「学習・教育課程」について学習し、学ぶことの意義を考察する。	教科書 P90～111 をよく読み（1時間）、学修課題「学ぶということ」を仕上げ授業に備える（1時間）。
6回目	・教育、その具体的な営み（4）	「学習指導要領・教科書・評価・学力」について学習し、指導と学力の関連について考察する。	教科書 P114～134 をよく読み（1時間）、学修課題「学力について」を仕上げ授業に備える（1時間）。
7回目	・教育、その具体的な営み（5）	「教えるという仕事」について学習し、教師としての在り方を考察する。	教科書 P136～160 をよく読み（1時間）、学修課題「学級担任とは」を仕上げ授業に備える（1時間）。
8回目	・教育、その具体的な営み（6）	「教えるという仕事と学校文化」について学習し、生徒指導や学級の在り方を考察する。	教科書 P162～188 をよく読み（1時間）、学修課題「学級集団について」を仕上げ授業に備える（1時間）。
9回目	・教育、その具体的な営み（7）	「教師としての成長」について学習し、子どもたちと共に成長する教師の在り方を考察する。	教科書 P190～210 をよく読み（1時間）、学修課題「どんな教師に」を仕上げ授業に備える（1時間）。
10回目	・教育と学校の社会的基盤の広がり（1）	「子どもへの支援と学校」について学習し、学校と臨床教育学、発達障害と特別支援教育について考察する。	教科書 P214～228 をよく読み（1時間）、学修課題「特別支援教育について」を仕上げ授業に備える（1時間）。
11回目	・教育と学校の社会的基盤の広がり（2）	「子どもへの支援と学校」について学習し、不登校、いじめ、学級崩壊、非行問題などについて考察する。	教科書 P230～246 をよく読み（1時間）、学修課題「いじめについて」を仕上げ授業に備える（1時間）。
12回目	・教育と学校の社会的基盤の広がり（3）	「地域・社会と学校」について学習し、地域の役割について考察する。	教科書 P248～268 をよく読み（1時間）、学修課題「地域の役割について」を仕上げ授業に備える（1時間）。

13回目	・教育と学校の社会的 基盤の広がり（４）	「地域・社会と学校」について学習し、学校の安全とリスクマネジメントについて考察する。	教科書 P270～288 をよく読み（１時間）、学修課題「学校の安全」を仕上げ授業に備える（１時間）。
14回目	・集団討論会 研究発表（１）	教育に関するテーマについて個人研究を行い研究レポートにまとめる。 6人程度の小グループで発表し合い、互いに考えを深め合う。	教科書での既習事項だけでなく、自分が気になっている教育課題などを取り上げ（0.5時間）、研究し、レポートにまとめる（2.5時間）。
15回目	・集団討論会 研究発表（２）	小グループでの研究協議の内容について、主なものをグループの代表が全体に発表する。 集団討論を行い、研究内容を共有する。	これまでの学習を振り返り（１時間）、目指す教師像についてまとめる（２時間）。

科目（教職課程用）	教職の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
教科書・参考書	教科書：やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ 『よくわかる教育原理』 汐見稔幸・伊東毅・高田文子・東宏行・増田修治編著 参考書：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	講義終了後は、教育原理に関する知識の定着や自分の考えをまとめるなど、復習を十分行い次の講義に備えること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	幼稚園等での実習経験をふまえ、日常生活の中で自ら教育に対する考えをもち授業に臨む。

講義科目名称：子ども家庭福祉	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
高橋 幸市				

授業概要	<p>現代社会における子どもと家庭の現状や課題について、基本的な理解を学習する。家族や子育てに対する意識が変化中、子どもの豊かな成長発達を支援していくための様々な子ども家庭福祉に必要とされる法制度や支援の仕組み、その利用について理解することができる。</p> <p>さらに、一人親家庭の困難、児童虐待や少年非行など子ども家庭福祉の抱える課題や今後の展望についても提示し、今後のあり方について関心を深めることができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	現代の子どもと家庭がおかれた状況と課題について理解できる。	定期試験	30%
確かな専門的知識や技能	子どもと家庭の健やかな生活を保障するための子ども家庭福祉の制度や施策、サービスについて理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	自身の保育実践の延長線上に子どもと家庭の福祉を想定することができ、それを実現するための方法（制度、施策、サービス等）を考えることができる。	定期試験	10%
主体的に学ぶ力	保育実践を支える基盤としての子ども家庭福祉を理解し、積極的に学習に参加できる。	積極的な授業参加、授業態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>面接授業を基本とし、感染状況に応じて Zoom を活用したオンライン授業を実施する。</p> <p>リモート授業に関する質問は、Melly で受け付け、回答する。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習
1回目	「オリエンテーション」 講義の展開と評価方法等のガイダンス、子ども家庭福祉の位置づけ	面接授業	
2回目	「現代社会における子ども家庭福祉問題」 少子高齢化をキーワードに現代の家族と子どもの育ちを取り巻く状況について学習する。	面接授業	自分の育ちや家族について関心を持ち振り返ってみておく(0.5時間)
3回目	「子ども家庭福祉の理念」 子ども家庭福祉の理念について理解する。	面接授業	講義内容を振り返って理解を深めておく(0.5時間)
4回目	「子どもと権利保障」 子どもの権利条約を学び、子ども家庭法制にどう生かされているのかを学ぶ。	面接授業	〃
5回目	「子ども家庭福祉法制の歴史と展開」 我が国の子ども家庭福祉の歴史について理解する。	面接授業	〃
6回目	「現代の子ども家庭福祉の法制度」 我が国の子ども家庭福祉に関する施策や仕組みについて理解する。	面接授業	〃
7回目	「子ども家庭福祉の行政と財政」 子ども家庭福祉の制度を支える行財政の仕組みを学ぶ。	面接授業	〃
8回目	「子ども家庭福祉の実施機関1」 児相、福祉事務所、家庭児童相談室、児童家庭支援センターについて学ぶ。	面接授業	〃
9回目	「子ども家庭福祉の実施機関2」 保健所、市町村、要保護児童対策連絡協議会について学ぶ。	面接授業	〃
10回目	「子ども家庭福祉の施設の種類」 子ども家庭福祉に関する多くの施設の類型や仕組みについて学ぶ。	面接授業	〃
11回目	「保育所、幼保連携型認定こども園、児童厚生施設」 保育所等の就学前の子どもや家族支援の機関について学ぶ。	面接授業	〃
12回目	「社会的養護に関する施設」 社会的養護の仕組みや機関について学ぶ。	面接授業	〃
13回目	「家庭的養護に関する機関と制度」 里親等の仕組みとについて学ぶ。	面接授業	〃
14回目	「母子保健と子ども子育て支援制度」 母子保健の制度について学習する。	面接授業	〃
15回目	「子どもの貧困と虐待、非行」 虐待と非行について学ぶ。	面接授業	これまでの復習をして試験に準備する
16回目	定期試験		



科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	なし。毎回講師が資料を準備する。
履修条件	
履修上の注意	毎回資料を配布するので、授業中の説明等で重要なポイントや必要な事項を書き加えて自分なりの教材としてほしい。
オフィスアワー	面接授業の場合は、授業時間前後に教室で質問を受け付けるが、Mellyでも対応する。
備考・メッセージ	子どもの育ちにとって家庭や社会の持つ意味を考え、その支援の一端を担う保育士の役割の重要性を深く考える機会として欲しい。

講義科目名称：社会福祉	授業コード：21151、22152
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2	必修	講義
担当教員				
藤島法仁				

授業概要	<p>社会福祉とは何か。社会福祉を学ぶ視点、意味・内容を学び、社会福祉の分野（子どもと家族、障害者、高齢者、地域）について理解を深める。本講義では、①社会福祉を学ぶ視点について説明できる、②社会福祉の法体系（福祉六法）を理解できる、③社会保障の要素（社会保険や生活保護制度など）を理解できる、④社会福祉（子どもの家族の福祉、障害のある人の福祉など）について説明できる、⑤子どもと家族の福祉における保育士の役割を説明できることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉を学ぶ視点について説明できる。</li> <li>・社会福祉の法体系を理解できる。</li> <li>・社会保障の要素を理解できる。</li> <li>・社会福祉について説明できる。</li> </ul>	定期試験	70%
コミュニケーション能力	グループ内で議論し、社会福祉について理解できる。	グループディスカッション	10%
課題解決能力	社会福祉の課題についてレポートをまとめることができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	社会福祉における保育士の役割について考えることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>本授業では、定期試験 70%、グループディスカッション 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	社会福祉としての保育サービスについて説明する。	面接授業	予習：社会福祉を学ぶ視点を読んでおくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（1時間）。
2回目	社会福祉を学ぶ視点を説明する。	面接授業	予習：保育のたどった道すじを読んでおくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
3回目	保育のたどった道すじを理解する。	面接授業	予習：社会福祉の法体系を調べておくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
4回目	社会福祉の法体系を説明する。	面接授業	予習：社会福祉の動向を読んでおくこと（1時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
5回目	社会福祉の動向を説明する。	面接授業	予習：社会保障の財源について調べておくこと（1時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
6回目	公的機関と財源について説明する。	面接授業	予習：社会保険の種類を調べておくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
7回目	社会保険の種類と内容を説明する。	オンライン可	予習：生活保護制度について調べておくこと（1時間）。 復習：講義の内容を振り返

			り理解を深めておくこと (0.5時間)。
8回目	生活保護制度について説明する。	オンライン可	予習：子どもと家族の福祉を学ぶ視点を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
9回目	子どもと家族の福祉を学ぶ視点を理解する。	面接授業	予習：子ども・子育て家庭への支援を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(0.5時間)。
10回目	子ども・子育て家庭への支援について説明する。	面接授業	予習：ノーマライゼーションについて調べておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
11回目	障害のとらえ方とその定義について理解する。	面接授業	予習：障害のある人に対する福祉サービスについて調べておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
12回目	障害のある人に対する福祉サービスについて説明する。	オンライン可	予習：保育士に求められる役割を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
13回目	保育士に求められる役割を理解する。	面接授業	予習：ソーシャルワーカーとしての保育士の機能を読んでおくこと(1時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。

14 回目	ソーシャルワーカーとしての保育士の機能を理解する。	面接授業	予習：配布したプリントを整理しておくこと（1 時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（1 時間）。
15 回目	振り返りを行う。	面接授業	
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書『保育士をめざす人の社会福祉』（みらい）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水・木の 5 限目。
備考・メッセージ	

講義科目名称：社会的養護 I	授業コード：31231 32232
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	卒業：必修、保育士：必修	講義
担当教員				
花城 暢一				

授業概要	<p>現代社会における社会的養護の現状と課題および基本的な考え方を理解し、保育士に必要な知識を養う。本講義では以下の事項を目標とする。</p> <p>①現代社会における社会的養護の意義と歴史的な変遷について理解する</p> <p>②社会的養護の基本的な考え方について理解する</p> <p>③社会的養護の制度や実施体系等について理解する</p> <p>④社会的養護の対象、関係機関および専門職等について理解する</p> <p>⑤社会的養護の現状と課題、保育士の役割について理解する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会的養護における保育士の役割や必要な資質について理解することができる。	・レポート課題 ・学習に取り組む姿勢	10% 10%
確かな専門的知識や技能	社会的養護における保育士に求められる専門的な知識や技能について理解することができる。	・レポート課題 ・定期試験	5% 25%
コミュニケーション能力	社会的養護における対象を理解し、関係者と協働する必要性について理解を深めることができる。	・レポート課題	10%
課題解決能力	現代社会の社会的養護の現状と課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・レポート課題 ・事例検討	5% 10%
主体的に学ぶ力	社会的養護の歴史的変遷を踏まえ、今日の社会的養護の課題を理解することができる。	・定期試験	25%
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

○授業内で実施するレポート課題（30%）

○定期試験・事例検討（60%）

○事例検討など、授業全体を通じた学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義のねらいと進め方について	予習:シラバスを読んで授業内容を確認する(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
2回目	社会的養護と保育士	社会的養護の意味、目標、視点を学習する	予習:社会的養護の意義を考える(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
3回目	社会的養護の成り立ちと最近の動向	社会的養護の歴史を学ぶ	予習:児童福祉の歴史を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
4回目	社会的養護の基本的な考え方	子どもの権利、自立支援等について学ぶ	予習:子どもの権利について振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
5回目	社会的養護の形態1	社会的養護の形態を学ぶ	予習:児童福祉の体系を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
6回目	社会的養護の形態2	施設養護の内容を学ぶ ～養護系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
7回目	社会的養護の形態3	施設養護の内容を学ぶ ～養護系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
8回目	社会的養護の形態4	施設養護の内容を学ぶ ～障がい系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
9回目	社会的養護の形態5	施設養護の内容を学ぶ ～障がい系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
10回目	社会的養護の形態6	施設養護の内容を学ぶ ～治療・育成系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
11回目	社会的養護の形態7	家庭的養護の種類と内容を学ぶ	予習:グループホーム等の役割を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)

12 回目	社会的養護の形態 8	家庭養護の種類と内容を学ぶ	予習：里親制度を振り返る（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
13 回目	施設と関係機関	施設と児童相談所等の関係機関の関わりを学ぶ	予習：児童相談所の機能を振り返る（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
14 回目	地域における家庭への支援	家庭の養育機能、地域子育て支援における保育士の役割を学習する	予習：家庭の機能について考える（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
15 回目	保育士の役割と専門性	社会的養護における保育士の役割と専門性について学ぶ	予習：これまでの授業内容を振り返る（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：参考資料をその都度配布します。 参 考 書：『保育と社会的養護原理』大竹智 他 編集 みらい 『保育福祉小六法』みらい
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること。（席の移動を希望する場合はご相談下さい）
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	授業の出欠確認は出席カード（感想記入シート等）を活用して実施します。



講義科目名称：保育者論	授業コード：22153、41155
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前・後期	2年	2単位	選択・幼稚園免許必修	講義
担当教員				
安部恵美子・川原ゆかり				

授業概要	<p>保育職が携わるフィールドや保育・教育者の社会的意義を理解する素養を育て、子どもとの関係構築の基本や公教育の目的とその担い手である保育・教育者の存在意識の理解力を向上させる。保育資格の位置づけ、関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」を理解することができる。さらに、子育て支援の場に求められる保育者の資質向上を目指し、保育職の社会的使命を会得するために仲間と共に学びあい、考察に繋げることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	グループで子育て支援の事例等をディスカッションし、「保育職の保育職による保育支援」について意見交換し、異なる意見を聴いて、感じる取る感受性を豊かにする。	レポート	
確かな専門的知識や技能	保育資格の位置づけ、関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」を理解する。さらに、子育て支援の場に求められ保護者支援の基本を学び、考察する。	定期試験	80%
コミュニケーション能力	子育て支援や保護者支援に不可欠なコミュニケーション能力を醸成するために、グループ討議や意見交換・意見発表を行い、自己見聞を広げる。	レポート	
課題解決能力	対人援助職に必要な能力の考察と洞察を行い、自分の考えを言語化する力を養う。決められた時間・期限内に課題レポートをまとめる事ができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	保育職の専門性を認識し、ワークやグループディスカッションに積極的に取り組むことができる。	レポート	10%
合計			100%

#### 補足事項

資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するための各種の心理テスト等は予習・復習として実施して下さい。対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。定期試験後に解答を開示します。定期試験後に解答を開示します。

課題やレポートはWordやExcelを必要に応じて活用して下さい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育者像を描く」保育者に必要な10か条を自己採点する。1年後の自分に手紙を書き、将来の保育者像をイメージする。	対面授業 オンライン	予習：保育者に必要な要素をまとめる（1H） 復習：採点結果を確認し、努力すべき項目に関連する図書を読む（2H）
2回目	「具体的な保育者像の目標を掲げる」目指す保育者像の主な具体的項目を掲げ、自分の課題を考え、深めていく。	対面授業 オンライン	予習：テキストのP13～19を読み込む（1H） 復習：課題に対する取り組みをまとめる（2H）
3回目	「保育者の仕事と役割」幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・児童養護施設の仕事と役割を理解する。	対面授業 オンライン	予習：テキストのP19～45を読み、児童福祉施設における保育者の業務を理解する（2H） 復習：保育施設の実習に必要な要素を理解する（1H）
4回目	「保育士・幼稚園教諭になるために」DVD「保育所・幼稚園の1日」等を視聴し、子どもと保育者の1日をイメージし、保育観を作っていく。	対面授業 オンライン	予習：保育者としての保育所・幼稚園の1日の動きと流れをまとめる（2H） 復習：自己課題を発見後、修正する（1H）
5回目	「現役保育者の現状（本音）を知る」現役の3人の保育者のインタビュー内容から保育職の意義や役割、やり甲斐や課題を理解する。	対面授業 オンライン	予習：保育者に求められる資質（P71～82）を読む（1H） 復習：3人の保育者のインタビュー内容を熟読し、自己課題をまとめる（2H）
6回目	「保育者を取り巻く現状を知る」全国保育士・幼稚園教諭3万人調査を読み、現状を分析すると共に保育者像を作りあげる。	対面授業 オンライン	予習：発達年齢毎の保育者の役割の違いを知る（1H） 復習：現場の実態をイメージして、自分の課題と対策をまとめる（1H）
7回目	「幼稚園教育要領」幼稚園教育要領を読み、保育・教育の理念や役割の理解を深める。	対面授業 オンライン	予習：幼稚園教育要領を読む（2H） 復習：幼稚園教育要領開設を熟読し、仕事をイメージする（1H）
8回目	「保育制度の変遷と保育者の先達(1)」公的な教育・保育制度の派生要因と、西欧の保育の先達たち（コメニウス・ルソー・オーエン・ペスタロッチ）の業績とその後の社会に与えた影響を理解する。	対面授業 オンライン	予習：テキスト第9章（151p～）を下読みする（1H） 復習：授業時配布資料を確認し、まとめプリント①を完成させる（1H）
9回目	「保育制度の変遷と保育者の先達(2)」幼児教育に影響を与えたフレーベル・モンテッソーリ・エレンケイの思想を、現代の保育理論に当てはめながら理解を深める。	対面授業 オンライン	予習：テキスト第9章（151P～）を8回目授業の内容と関連させて読む（1H） 復習：授業時配布資料を確認し、まとめプリント②を完成させる（1H）
10回目	「保育制度の変遷と保育者の先達(3)」近代以降のわが国の保育思想や実践の先達の業績を理解し、現代の保育制度や保育内容方法への影響についての知見を深める。	対面授業 オンライン	予習：テキスト第9章（151P～）を9回目授業の内容と関連させて読む（1H） 復習：授業時配布資料を確認し、まとめプリント③を

	「現代の保育者の役割と機能」現代が求める保育者の役割や機能について考え、意見をまとめる。		完成させる（1H）
11 回目	「現代社会の変化と保育者の仕事や役割」現代社会に求められる保育者の資質と子育て支援の専門性を高める。	対面授業 オンライン	予習：今時の保育ニーズに関する文献を読む（1H） 復習：配布資料をもとに自分の課題をまとめる（1H）
12 回目	「子どもの育ちの危機と子育て支援①」気になる子どもと育ちの変化について理解を深める。	対面授業 オンライン	予習：テキスト P116～129 を読み、子育て環境の変化をまとめる（2H） 予習：配布プリントをまとめる（1H）
13 回目	「子どもの育ちの危機と子育て支援②」気になる子どもと特別支援教育及び子育て支援と保育者の役割りについて理解を深める。	対面授業 オンライン	予習：特別支援教育について知る(1H) 復習：子育て支援の観点をまとめる（2H）
14 回目	「保育者の職務と生活」子育て・子育て支援と保護者支援の理解を深める。	対面授業 オンライン	予習：テキスト P 129～136 を読む（1H） 復習：保護者支援の困難性の文献を読む（2H）
15 回目	「卒業生と業界研究誌による保育の仕事」卒業生によるメッセージと業界研究による保育士に求められる7つの力を理解する。	対面授業 オンライン	予習：卒業のメッセージを読む（1H） 復習：業界研究誌からママたちが求める保育士の要件をまとめる（2H）
16 回目	筆記試験（持ち込み可）		定期試験前の勉強（3H）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「新時代の保育双書 今に生きる～保育者論・第4版～」、幼稚園教育要領他配布資料を読み理解を深める（17H）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	特に定めませんが、質問がある場合は授業前後・昼休みに行います。
備考・メッセージ	原則対面授業ですが、オンライン授業を行う場合もあります。オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。オンライン授業のパワーポイント資料は事前に配布します。 課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。 オンライン授業は課題提出を義務化し、出席とみなし、レポートの内容から教育効果の検証を行います。 保育教育現場のリアルな実際と実践例、保護者支援現状と課題を通して、子育て・子育て支援の視点から体現できる授業を通して、理論に結びつけていきます。

講義科目名称：教育方法論	授業コード：41254、42254
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	講義
担当教員				
岩崎 勢智子				

授業概要	人格形成の基礎を培う乳幼児期にふさわしい保育方法への理解を深め、この学びが保育現場での実践に生かされることを目標とする
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のあいさつ、返事が笑顔ででき、コミュニケーション能力を培う。</li> <li>・肯定的なものの見方・考え方ができ、豊かな人間性を培う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・授業への参加・態度</li> </ul>	25%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習等で学んだことを授業の中にフィードバックし、正しく検証することができる</li> <li>・専門的なことを、日々の保育に生かす工夫ができ、発達年齢に応じた保育の方法を創意することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中でのグループワーク</li> <li>・レポート</li> </ul>	25%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対指導者ときちんとあいさつ、返事、応答等ができる</li> <li>・グループワーク（ディスカッション）で、相手の意見を傾聴し、受容でき、自分の意見を明確に伝えることができる</li> <li>・常に相手の思いに寄り添いながら聴くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループディスカッション</li> <li>・呼名でのあいさつ、返事</li> </ul>	20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、自分なりの考えを明確に述べるができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・定期試験</li> </ul>	15%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸エピソードについて、自分なりの解決方法を考えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加、態度</li> <li>・レポート</li> </ul>	15%
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業では、定期試験 50% グループディスカッション 30% 授業への参加態度 20%の割合で評価する</li> <li>・レポートは紙媒体のみとする</li> </ul>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	「保育方法とは何か？」について理解する (岩崎)	対面授業	テキストのエピソードについて復習する
2回目	保育の方法は子ども理解が出发点であることを知る (岩崎)	対面授業	子ども理解の方法について予習する
3回目	環境を通しての保育とは何かを理解する (岩崎)	対面授業	実習でどんな環境構成があったか予習する
4回目	遊び=学びであることを理解し、そのための援助の仕方を考えさせる (岩崎)	対面授業	“遊び”をどう捉えるか予習する
5回目	乳幼児期の集団の育ちについて理解させる (岩崎)	対面授業	個と集団の育ちについて復習する
6回目	子どもにとってふさわしい園生活について考えさせる (岩崎)	対面授業	実習で学んだことを予習しておく
7回目	3.4.5才児の発達と保育方法を考えさせる (岩崎)	対面授業	保育の原理と方法を振り返る
8回目	0.1.2才児の発達と保育方法を考えさせる (岩崎)	対面授業	保育の原理と方法を振り返る
9回目	PDCAのサイクルを説明し、実践への理解を図る (岩崎)	対面授業	保育の方法のステップアップを考えておく
10回目	実際に部分保育の計画をパソコンで作らせる (小浦)	対面授業	保育計画のテーマを決めておく
11回目	保育におけるメディアの活用とメディアとの向き合い方を理解させる (小浦)	対面授業	前回作成した計画案を準備しておく
12回目	わこう村 和光保育園の場合を考察する (岩崎)	対面授業	実習での経験例を考えておく
13回目	社会や家庭との連携の必要性とその方法を理解させる (岩崎)	対面授業	なぜ連携なのか考えておく
14回目	幼・保・小連携のあり方について理解させる (岩崎)	対面授業	小学校学習指導要領にふれておく
15回目	“ちょっと気になる子”への保育の実際を理解する (岩崎)	対面授業	「ちょっと気になる子」の意味を考えておく
16回目	レポートにより確かな保育観が確立できたか		レポート

科目 (教職課程用)	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育の方法及び技術
教科書・参考書	教科書：保育方法・指導法 ミネルヴァ書房
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業前後で対応可能
備考・メッセージ	各自が確かな保育観・子ども観を確立できるよう、まじめに授業に臨むこと

講義科目名称：教育経営論	授業コード：23153、24154
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	幼稚園教諭必修	講義
担当教員				
久保田 美千代				

授業概要	<p>①社会状況の変化を踏まえ学級経営や教育経営の概要・理念について理解する。</p> <p>②子どもの生活の変化や幼児の発達について理解し教育運営の具体的な展開について計画立案する。</p> <p>③5領域の保育内容に関する基本原理や活動を理解し学級づくりの進め方が分かる。</p> <p>④幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型子ども園教育・保育要領等の関係法規・教育行政の理念について理解し保育記録の書き方や要録の記入方法が分かる。</p> <p>⑤個に応じた指導、地域社会や家庭との連携など保育の背景と広がりについて理解する。</p> <p>⑥保育施設を取り巻く安全管理について具体的な取り組みを理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義内容を理論的に考察できる。</li> <li>学級経営及び保育について理解し成果として制作及び表現ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験</li> <li>レポート</li> <li>課題制作の成果</li> </ul>	・60%
確かな専門的知識や技能			・15%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で協議し内容をまとめ表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッション及び発表</li> </ul>	・5%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を考察しレポートを作成できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> </ul>	・10%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育経営論が保育教諭にとって必要な専門知識であることを理解し積極的な学習ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加・態度</li> </ul>	・5%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は、対面授業を主とし一部 Melly を使用したオンライン形式で行う。</li> <li>オンライン授業は、課題をレポートあるいは創作物として提出したことにより出席とみなす。</li> </ul>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 学級経営の概要・教育政策 理想の保育士像について考察する	面接授業	本時の復習、次時予習：朝の会の内容を構想する (毎回4時間)
2回目	学級経営の理念 学級経営の理念と信頼される保育者の在り方 朝の会の内容を決定する	面接授業	復習、次時予習：学級経営計画準備の確認
3回目	学級経営計画準備 5領域の保育内容に関する基本原理や教育・保育課程 指導計画の立案	面接授業	復習、次時予習：メダルの構想を練り計画書を書く
4回目	学級経営計画運営1 【心を育てる場としてのクラス】 園児に贈るメダルを作成する	オンライン リアルタイム 授業	復習、予習：学級経営計画と運営の確認、教科書を読みノートにまとめる
5回目	学級経営計画運営2 3～5歳児の発達とクラス運営 【仲間関係と共同的活動】	面接授業	復習、予習：保育内容と領域別活動、教科書を読みノートにまとめる
6回目	保育内容と領域別活動 5領域の保育内容と実践事例の理解 保育者の関わりについてまとめる	面接授業	復習、予習：人との関わり・言葉の獲得につき教科書を読みノートにまとめる
7回目	集団形成の過程と学級づくり 人とのかかわり・言葉の獲得に関する育ちと活動についての理解と事例対応	面接授業	復習、予習：環境の構成と再構成について教科書を読みまとめる
8回目	学級づくりの進め方 環境の構成と再構成、感性と表現に関する育ちと活動についての理解、保育者の関わりについてまとめる	面接授業	復習、予習：発達に課題のある子についてネットで調べノートにまとめる
9回目	個に応じた指導 個の特性及び発達に課題のある子どもの指導について理解する	面接授業	予習：安全教育の確認 危険個所や行為についてネットで調べまとめる
10回目	安全教育 危機管理や事例を基にした事故対応を含む学校安全についてまとめる	面接授業	予習：保育指針、こども園教育・保育要領を読みアンダーラインを引く
11回目	幼稚園と保育所、認定こども園 幼稚園教育要領、保育所指針、認定こども園教育・保育要領を踏まえた関係法規・教育理念等の理解	面接授業	復習、予習：保護者向けのお便りの構想を練る
12回目	保育の記録と評価 指導要領をもとにした評価資料の記録の	オンライン リアルタイム	復習、予習：保育の背景と広がりについて教科書を

	在り方と保育要録の記入方法の理解 保護者連携 保護者向けの学年だよりを作成する	授業	読みノートにまとめる
13回目	保育の背景と広がり 先駆者たちの教育思想と保育施設の関わり、地域社会や家庭との連携について	面接授業	復習、予習：連携教育について教科書を読みノートにまとめる
14回目	連携教育について 保幼小連携の在り方、家庭との連携及び保護者との関りについての理解	面接授業	復習、予習：保育者の研修の確認とスピーチの構想をねり練習する
15回目	保育者の研修と評価 保育者の自己研鑽と研修体制及び自己評価 スピーチ実習	面接授業	総復習 定期試験に備えて教科書や資料、レポートを見直す
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	教育の基礎理論に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
教科書・参考書	教科書：保育の実践・原理・内容 ミネルヴァ書房 参考書：保育内容総論、〇歳児のクラス運営、学級経営の基礎・基本 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	授業・課題には真摯に取り組む、社会的な保育・教育の動向にも注視してください



講義科目名称：保育の心理学	授業コード：53251、54252
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、現代の発達を捉える視点について理解する。</p> <p>2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。</p> <p>3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	・子どもの発達を捉える歴史的文脈を踏まえ今日の発達観について述べることができる。	学習態度・感想シート	10%
	・子どもの発達に影響を与える要因、子どもの学びに関わる理論(学習理論、模倣)を述べることができる。	筆記試験	20%
コミュニケーション能力	・子どもの情動や認知発達を理解し保育者が関わる意義について述べるができる。	筆記試験	30%
課題解決能力	・子どもの学びを支える保育の意義について文字への関心を例に述べるができる。	レポート課題	40%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	I. 発達を捉える視点(1) 子どもの発達を理解することの意義	面接授業	復習:「子どもに関するイメージシート」の整理 予習:自分の現在の特徴(身体の発達・食べ物の好み・性格など)は何によって規定されたかを考える
2回目	I. 発達を捉える視点(2) 子どもの発達と環境	面接授業	復習:発達を規定する要因 予習:私達が「子ども」と聞いて連想する内容を記す。その後、70歳代の方に「子どもの頃よくしていたことは何か」と聞いて比較する。そして50年後の子どもは何をしているかを想像する。
3回目	I. 発達を捉える視点(3) 発達理論と子ども観・保育観	面接授業	復習:子どもは小さな大人か?保育の誕生に関わる保育観の歴史生態学的システム理論(ecological systems theory) 予習:歩行ができるまでの運動発達の順番について実際に姿勢を取りながら整理する
4回目	II. 子どもの発達過程(1) 赤ちゃんの能力、身体的機能と運動機能の発達	面接授業	復習:乳児の発達プロフィールの作成、幼児期の運動機能 予習:自分の6つの情動(感情)を表す顔を写真に撮っておく
5回目	II. 子どもの発達過程(2) 社会情動的発達①情動表出	面接授業	復習:情動表出の特性理解、社会的機能 予習:ペアになり、相手の不快情動を快情動に、快情動を落ち着けるよう誘導する方法を模索する
6回目	II. 子どもの発達過程(3) 社会的情動発達②情動調節の発達	面接授業	復習:情動調整における母子の相互作用、情動制御の発達 予習:自分の身体の部位を問われて触る時期、名前を呼ばれると返事ができるのはなぜか等、子どもの自己理解に関する資料を読む
7回目	II. 子どもの発達過程(4) 自己の発達に関する心理学実験	面接授業	復習:子どもの自己理解に関する発達過程 予習:これまで見たこともない物体について理解するとき、私達はどのように対象を理解していくのかについて整理する
8回目	II. 子どもの発達過程(5) 認知の発達	面接授業	復習:ピアジェの認知発達理論 予習:あなたは人を叩いてはいけないといつ頃学習したか。それはどのように理解していったかを考え記述する
9回目	II. 子どもの発達過程(6)	面接授業	復習:心の理論、道徳性の発達

	心の発達		予習：家族や周囲の人から初めて話した言葉について調査する
10 回目	II. 子どもの発達過程（7） 言葉の発達とコミュニケーション	面接授業	復習：一語文、二語文、多語文、言葉の発達過程で生じる問題 予習：子どもが大人の真似をする写真資料を探す
11 回目	III. 子どもの学びと保育（1） 乳幼児期の学びに関わる理論	面接授業	復習：模倣、学習理論 予習：幼少期に好きだった遊びについて、家族や周囲に聞き、記述する
12 回目	III. 子どもの学びと保育（2） 乳幼児期の学びの過程と特性	面接授業	復習：子どもの遊びと保育者とのかかわり 予習：子どもの好きな遊びを5つ挙げ、発達段階で整理する
13 回目	III. 子どもの学びと保育（3） 乳幼児期の学びを支える保育	面接授業	復習：遊びと仲間づくりを支える社会性 予習：子どもが文字に感心を示す時期、子どもの書く文字の特徴について整理する
14 回目	III. 子どもの学びと保育（4） 乳幼児期の学びを支える保育	面接授業	復習：遊びと学習、文字への関心 予習：第1回で記述した「子どもに関するイメージシート」を振り返る
15 回目	本講義のまとめ	面接授業	復習：保育の心理学の視点を得ることで子ども理解がどのように変化したかを対応表にまとめる
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	講義で使用する資料を配布する
履修条件	
履修上の注意	発達に関する用語を具体的事象との関連から理解していくため、学生の経験を踏まえた発表を積極的に取り入れる。
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。
備考・メッセージ	「名前を呼ばれて返事ができるのはどうして？」など、人に関心を持ち、人の持つ能力や個性がどのような過程で発達（変化）するのか、身近なことを意識しておきましょう。

講義科目名称：子どもの家庭支援の心理学	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	必修	講義
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>本科目は、さまざまな場面の子どもと家庭・保育士・社会の様子について知識を得る。その中で今日の子どもと家庭をめぐる状況、保育士養成教育において子育て家庭支援で強化する内容につながる課題を読み取る力を養うことを目的としている。</p> <p>講義では、①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題等について理解する。②家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係等について発達的に理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。③子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を理解する。④子どもの精神保健とその課題について理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達心理学の視点から初期経験の重要性、発達課題を説明できる。</li> <li>子どもの家庭について、社会状況、親子関係、家族関係の視点から包括的に述べることができる。</li> </ul>	定期試験	50%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容を通してもった意見を他者に伝えることができる。</li> </ul>	授業への参加態度	10%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別なニーズをもつ家庭の理解と援助、保育者の役割について、具体例を挙げて述べることができる。</li> </ul>	課題提出	30%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと家庭をテーマとした現代の社会状況と課題を述べるができる。</li> </ul>	課題提出	10%
合計			100%

補足事項

- ・ 奇数回（1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15）に当たる授業は対面授業、偶数回（2, 4, 6, 8, 10, 12, 14）にあたる授業はオンデマンド配信授業とする。（変更する場合がある）
- ・ 授業に関する質問は直接または Melly で受け付け、以降の授業回または Melly で回答する。
- ・ Melly にて配信されたオンデマンド授業内容は履修者が必要な際に復習できる。
- ・ 定期試験 50%、授業後の課題提出 40%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の目的、進め方、評価について説明する	対面授業	予習：教科書の目次を読み、知らない用語を調べる（2時間） 復習：オリエンテーション資料、教科書 pp. 3-7 内容をまとめる（2時間）
2 回目	生涯発達 人生周期の階層的構造	オンデマンド配信	予習：生涯発達に関する用語を調べる（2時間） 復習：教科書 pp. 9-16 の内容をまとめる（2時間）
3 回目	初期経験の重要性 人間の発達過程・発達課題	対面授業	予習：発達課題に関する用語を調べる（2時間） 復習：pp. 17-20 の内容をまとめる（2時間）☑
4 回目	家族・家庭の理解 家族・家庭の意義と機能 親子関係・家族関係の多様性	オンデマンド配信	予習：ルソーの考え方に関する資料を読み返す（2時間） 復習：pp. 21-28 の内容をまとめる（2時間）
5 回目	子育て家庭に関する現状と課題 子育てを取り巻く社会的状況①	対面授業	予習：子どもとメディアに関する用語を調べる（2時間） 復習：pp. 29-36 の内容をまとめる（2時間）
6 回目	子育て家庭に関する現状と課題 子育てを取り巻く社会的状況② ライフコースと仕事・子育て	オンデマンド配信	予習：3歳児神話に関する用語を調べる（2時間） 復習：pp. 36-45 の内容を

			まとめる
7回目	子育て家庭に関する現状と課題 子育てを取り巻く社会的状況③ 多様な家庭とその理解	対面授業	予習:育児不安に関する用語を調べる 復習:pp. 46-56の内容をまとめる(2時間)
8回目	特別なニーズを持つ家庭と援助 特別なニーズへの支援の考え方・子どもへの対応	オンデマンド配信	予習:教科書事例 4-1~6を読む(2時間) 復習:pp. 57-68の内容をまとめる
9回目	特別なニーズを持つ家庭と援助 ひとり親家庭	対面授業	予習:教科書事例 4-8~11を読む(2時間) 復習:pp. 68-84の内容をまとめる
10回目	子どもの精神保健とその課題 子どもの心の理解ー子どもの行動の意味を読み取る・乳時期の精神保健	オンデマンド配信	予習:心身症に関する用語を調べる(2時間) 復習:pp. 85-93の内容をまとめる
11回目	子どもの精神保健とその課題1 幼児期の精神保健	対面授業	予習:事例 5-2、3を読む(2時間) 復習:pp. 93-100の内容をまとめる(2時間)
12回目	子どもの精神保健とその課題2 児童期・青年期の精神保健	オンデマンド配信	予習:ゲーム依存に関する用語を調べる(2時間) 復習:pp. 101-107の内容をまとめる
13回目	子どもの精神保健とその課題3 喪失体験による問題と対応	対面授業	予習:災害による喪失体験に関する用語を調べる(2時間) 復習:pp. 107-111の内容をまとめる(2時間)
14回目	子どもの精神保健とその課題4 喪失体験による問題と対応②	オンデマンド配信	予習:喪失体験が表すサインについて調べる(2時間) 復習:pp. 111-117の内容をまとめる(2時間)
15回目	授業のまとめ 重要な用語と理解の確認	対面授業	予習:これまでの資料を読み返す(2時間) 復習:教科書の振り返り

			(2時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	保育の対象の理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：『子ども家庭支援の心理学』ななみ書房、2019 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	メリーにて課題提出を求めます。授業についてのあなたの意見、疑問、子どもや家庭についての新たな理解、授業への要望などを書いてください。次回の授業で扱います。

講義科目名称：子どもの理解と援助	授業コード：11253 12252
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、現代の発達を捉える視点について理解する。</p> <p>2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。</p> <p>3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	・保育実践を通して子どもの実態に応じた発達や学びを把握することの意義を述べることができる。	学習態度・感想シート	10%
	・子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解している。	レポート課題	30%
コミュニケーション能力	・子どもを理解するための具体的な方法を他者に分かるよう伝えることができる。	口頭発表	30%
課題解決能力	・子ども理解に基づく保育士の援助や態度の基本について例を挙げて概説することができる。	レポート課題	30%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------



1回目	I. 発達を捉える視点 (1) 子どもの発達を理解することの意義	面接授業	復習:「子どもに関するイメージシート」の整理 予習:自分の現在の特徴(身体の発達・食べ物の好み・性格など)は何によって規定されたかを考える
2回目	I. 発達を捉える視点 (2) 子どもの発達と環境	面接授業	復習:発達を規定する要因 予習:私達が「子ども」と聞いて連想する内容を記す。その後、70歳代の方に「子どもの頃よくしていたことは何か」と聞いて比較する。そして50年後の子どもは何をしているかを想像する。
3回目	I. 発達を捉える視点 (3) 発達理論と子ども観・保育観	面接授業	復習:子どもは小さな大人か?保育の誕生に関わる保育観の歴史、生態学的システム理論(ecological systems theory) 予習:歩行ができるまでの運動発達の順番について実際に姿勢を取りながら整理する
4回目	II. 子どもの発達過程 (1) 赤ちゃんの能力、身体的機能と運動機能の発達	面接授業	復習:乳児の発達プロフィールの作成、幼児期の運動機能 予習:自分の6つの情動(感情)を表す顔を写真に撮っておく
5回目	II. 子どもの発達過程 (2) 社会情動的発達 ①情動表出	面接授業	復習:情動表出の特性理解、社会的機能 予習:ペアになり、相手の不快情動を快情動に、快情動を落ち着けるよう誘導する方法を模索する
6回目	II. 子どもの発達過程 (3) 社会的情動発達 ②情動調節の発達	面接授業	復習:情動調整における母子の相互作用、情動制御の発達 予習:自分の身体の部位を問われて触る時期、名前を呼ばれると返事ができるのはなぜか等、子どもの自己理解に関する資料を読む
7回目	II. 子どもの発達過程 (4) 自己の発達に関する心理学実験	面接授業	復習:子どもの自己理解に関する発達過程 予習:これまで見たこともない物体について理解するとき、私達はどのように対象を理解していくのかについて整理する
8回目	II. 子どもの発達過程 (5) 認知の発達	面接授業	復習:ピアジェの認知発達理論 予習:あなたは人を叩いてはいけないといつ頃学習したか。それはどのように理解していったかを考え記述する
9回目	II. 子どもの発達過程 (6) 心の発達	面接授業	復習:心の理論、道徳性の発達 予習:家族や周囲の人から初めて話した言葉に

			ついて調査する
10 回目	II. 子どもの発達過程 (7) 言葉の発達とコミュニケーション	面接授業	復習：一語文、二語文、多語文、言葉の発達過程で生じる問題 予習：子どもが大人の真似をする写真資料を探す
11 回目	III. 子どもの学びと保育 (1) 乳幼児期の学びに関わる理論	面接授業	復習：模倣、学習理論 予習：幼少期に好きだった遊びについて、家族や周囲に聞き、記述する
12 回目	III. 子どもの学びと保育 (2) 乳幼児期の学びの過程と特性	面接授業	復習：子どもの遊びと保育者とのかかわり 予習：子どもの好きな遊びを5つ挙げ、発達段階で整理する
13 回目	III. 子どもの学びと保育 (3) 乳幼児期の学びを支える保育	面接授業	復習：遊びと仲間づくりを支える社会性 予習：子どもが文字に感心を示す時期、子どもの書く文字の特徴について整理する
14 回目	III. 子どもの学びと保育 (4) 乳幼児期の学びを支える保育	面接授業	復習：遊びと学習、文字への関心 予習：第1回で記述した「子どもに関するイメージシート」を振り返る
15 回目	本講義のまとめ	面接授業	復習：保育の心理学の視点を得ることで子ども理解がどのように変化したかを対応表にまとめる
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。
備考・メッセージ	「名前を呼ばれて返事ができるのはどうして？」など、人に関心を持ち、人の持つ能力や個性がどのような過程で発達（変化）するのか、身近なことを意識しておきましょう。

講義科目名称：こどもの保健	授業コード：212105
英文科目名称：Child Health	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
滝川 由香里				

授業概要	子どもの心身の健康と保健の意義・子どもの身体発育について理解する。さらに子どもの疾病とその予防についての知識を習得し、適切な対応について学びを深める。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	子どもの発達・発育、健康や保健活動の意義について理解し、述べることができる。	定期試験 小テスト	75% 10%
コミュニケーション能力	子どもの健康増進に関する課題について、グループで協力して議論することができる。	グループディスカッションおよび発表	5%
課題解決能力	子どもの疾病と予防、健康増進に関する適切な対応について述べるができる。	レポート	5%
主体的に学ぶ力	授業を受講する際に、質問や発言をするなど、積極的に授業に参加することができる。	授業参加の意欲・態度	5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業では、定期試験 75%、小テスト 10%、レポート 5%、グループディスカッションおよび発表 5%、授業参加の意欲・態度 5%で評価する。</li> <li>・状況に応じて、授業をオンライン等で行う場合があるが、授業中の質問は、チャット内で受けつける。</li> </ul>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	保健活動の意義と目的、健康の概念、健康指標、母子保健の現状	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 9～18 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめ、p18 の「やってみよう」を解く。(2時間)
2回目	生物としての成り立ち、身体測定、発育曲線、運動機能の発達	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 19～29、p 66～69 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
3回目	子どもの貧困、医療的ケア児、インクルーシブ保育、児童虐待について	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 13～18 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：子どもの貧困、医療的ケアのいずれかについて、レポートを作成する。(2時間)
4回目	呼吸機能、循環機能、免疫機能、消化機能、	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 30～33 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
5回目	排泄機能、水分代謝、体温調節	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 33～35 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)

6回目	内分泌の発達、睡眠・覚醒リズム、 感覚・神経機能	オンライン等 で行う場合 がある	予習：教科書 p 35～40 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、 ノートに要点をまとめる。 (2時間)
7回目	健康観察と対応について、 体調不良時によくみられる症状、 健康診断、身体発育についての評価、 保護者との健康情報の共有	オンライン等 で行う場合 がある	予習：教科書 p 59～71 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容をノートに 要点をまとめる。(2時間)
8回目	子どもの疾病の特徴、感染症、予防接種 ウイルス性感染症①	オンライン等 で行う場合 がある	予習：教科書 p 73～81 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：感染経路とその予防 法、それぞれのウイルス感 染症の特徴をまとめ整理す る。(2時間)
9回目	ウイルス性感染症②、細菌性感染症	オンライン等 で行う場合 がある	予習：教科書 p 82～84 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、 それぞれの感染症の特徴に ついてまとめ、整理する。 (2時間)
10回目	先天異常、アレルギー	オンライン等 で行う場合 がある	予習：教科書 p 84～89 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、 特にそれぞれのアレルギー の特徴と予防法、対処法に ついてまとめる (2時間)
11回目	消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、血	オンライン等	予習：教科書 p 89～92 を読

	液疾患	で行う場合がある	み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容の復習を復習し、各疾患について整理する。
12回目	悪性腫瘍、神経疾患、腎・泌尿器疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p92～95 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、各疾患の特徴について整理する。P100の「やってみよう」③を解く。(2時間)
13回目	感覚器の疾患,整形外科疾患、内分泌・代謝疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p96～100 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
14回目	発達に即応した基本的な生活リズムの形成 生活リズム形成における睡眠の意義、 食習慣、排泄の習慣	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p41～50 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
15回目	清潔習慣、歯磨きについて	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p50～58 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめ、p57の演習問題を解く。(2時間)
16回目	定期試験		

--	--	--	--

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：子どもの保健（ななみ書房）
履修条件	特になし
履修上の注意	必ず予習を行い、専門用語等不明なところは積極的に質問する事。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受けつける。
備考・メッセージ	保育士には子どもの命を守る責任があります。覚えることが沢山ありますが、真摯な態度で学びを深めて下さい。

講義科目名称：子どもの健康と安全	授業コード：13155、14154
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	1	必修	演習
担当教員				
井田 裕子				

授業概要	<p>①乳幼児の日常生活の養護の実際を学び実習する。</p> <p>②バイタルサインの測定・記録および評価の実施、体調不良や障害が発生した場合の対応とケアについて学ぶ。</p> <p>③感染予防の3原則を理解する。排泄物の処理方法を理解する。効果的な手洗い・うがいを体験する。</p> <p>④子どもの事故と発生要因を理解する。気道内異物時の模擬演習、心肺蘇生法の模擬演習、包帯法などを実習する。</p> <p>⑤集団保育における年間保健安全計画、施設設備の消毒、保育者自身の生活習慣の整え方と健康管理にふれる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<p>①保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。</p> <p>②保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。</p> <p>③子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解できる。</p> <p>④保育における感染症対策について、具体的に理解する。</p> <p>⑤保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。</p> <p>⑥子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。</p>	<p>筆記試験</p> <p>実習・提出物</p>	<p>50%</p> <p>40%</p>



コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力		学習への取り組み・態度	10%
合計			100%
補足事項			
筆記試験（50%）、実習・提出物（40%）、学習への取り組み・態度（10%）を総合して評価を行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	子どもの健康と保育の環境、保健的環境を作る保健活動と実際	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
2回目	子どもの成長発達(形態・運動・精神・生理的機能の発達)、発育評価	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
3回目	衛生管理(屋内・屋外施設)、日常の清潔保持と消毒	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
4回目	事故の特徴と発生要因、事故防止および安全対策、危機管理、災害への備え	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
5回目	体調不良や障害が発生した場合の対応とケア、ガイドライン	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
6回目	子どもに起きやすい事故の応急処置	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
7回目	救急処置および救急蘇生法	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
8回目	感染症の集団発生の予防、感染症発生時と罹患後の対応、ガイドライン	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめること
9回目	保健的対応の基本的な考え方、3歳未満児の特徴と保健的対	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教

	応		科書・資料などをまとめておくこと
10 回目	3 歳未満児の養護の実際（日常生活の養護）	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめておくこと
11 回目	個別的な配慮を要する子どもへの対応（慢性疾患、アレルギー性疾患等）	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめておくこと
12 回目	障害のある子どもへの対応、ガイドライン	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめておくこと
13 回目	職員間の連携・協働と組織的取組、保育における保健活動の計画・評価	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめておくこと
14 回目	母子保健・地域保健における自治体、家庭・専門機関・地域の関係機関との連携	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめておくこと
15 回目	健康管理（年間保健安全計画・健康観察など）、生活習慣の整え方と健康管理	面接授業	予習：学習する範囲の教科書を読んでおくこと 復習：学んだことを振り返りながら教科書・資料などをまとめておくこと
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：「子どもの健康と安全」佐藤直子 編著 ななみ書房 参考書：「子どもの健康と安全 演習ノート」小林美由紀 編著 診断と治療社 「子どもの健康と安全」大西文子 執筆・編集 中山書店
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	前期：月曜日 3・4 限目
備考・メッセージ	実技の実習を自分で実践したり、教科書をよく読んでおくこと。

講義科目名称：子どもの食と栄養	授業コード：11231、11233
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
小玉智章・石橋由香里				

授業概要	<p>保育士が接する乳幼児期は人生の始まりの時期であり、適切な発育のために栄養は必要不可欠である。本科目では、保育士が子どもの発育を栄養面からも支援できるように、栄養学の基礎を理解し、実践できることを目指す。また、近年は栄養面で特別な配慮を必要とする子どもが増えており、特にアレルギー対応は一步間違うと命に関わる。本科目ではアレルギーについて、その成り立ちから対応を理解し、保育所で他の業種と関わりながら実践できることも目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養学の基礎知識を理解し、説明できる</li> <li>・ 子どもの成長に合った栄養を理解し、実践できる</li> <li>・ アレルギーの基礎と保育所における対応を理解し、説明できる</li> <li>・ 特別な配慮が必要な子どもにおける栄養を理解し、説明できる</li> </ul>	定期試験（筆記）  定期試験（実技）	80%  10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者と協働し、適切に調理実習ができる</li> </ul>	提出物 授業態度	5% 5%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

- ・ 本授業は面接授業を基本とするが、状況に応じて Zoom によるオンライン授業を行うことがある。
- ・ 授業外の質問は Melly で受け答えすることができる。
- ・ 授業は収録し、YouTube で限定公開するので復習等に利用すること。
- ・ 本授業では、定期試験 80%、小テスト 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。
- ・ 提出物は Google フォームで実施し、以降の授業回で解説を行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 本授業の進め方、評価の観点等の説明	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：シラバスを読んでおく 復習：YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
2 回目	栄養の基礎知識① 栄養とは？ 五大栄養素のはたらき	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P26～29 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
3 回目	栄養の基礎知識② 糖質、脂質、たんぱく質の種類とはたらき	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P30～35 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
4 回目	栄養の基礎知識③ ビタミン、ミネラルの種類とはたらき	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P36～41 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
5 回目	乳児期の栄養 乳児期の体の特徴と必要な栄養	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P50～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
6 回目	調理実習① 調乳	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P62～68 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
7 回目	幼児期の栄養	面接授業（状	予習：教科書 P50～73 を読

	幼児期の体の特徴と必要な栄養	況によって Zoomで行う)	んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
8回目	調理実習② 離乳初期・中期の離乳食の調理	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P69～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
9回目	学童期の栄養 学童期の体の特徴と必要な栄養	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P80～87を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
10回目	アレルギーの成り立ち 免疫のしくみ アレルギー発症のしくみ	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P136～138を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
11回目	保育所におけるアレルギー対応 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを用いた説明	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P136～138を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
12回目	調理実習③ 離乳後期・完了期の離乳食の調理	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P69～73を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
13回目	特別に配慮が必要な子どもの栄養 子どもが落ち入りやすい栄養障害と対応	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P139～150を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTubeの配信を見返す(合わせて120分)
14回目	食育 食育の計画と実施について	面接授業(状況によって Zoomで行う)	予習：教科書P88～103を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる

15 回目	調理実習④ 幼児食の調理	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P74～79 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる（合わせて 120 分）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「子どもの食と栄養 改訂第 2 版」児玉浩子編（中山書店）
履修条件	
履修上の注意	調理実習の際は、エプロン、三角巾、上履きを持参すること
オフィスアワー	火曜日
備考・メッセージ	

講義科目名称：子ども家庭支援論	授業コード：11254、21253
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2	選択	講義
担当教員				
藤島法仁				

授業概要	子ども家庭支援について、その目標、保育士の役割、支援の内容と対象について理解を深める。本講義では、①子ども家庭支援の目標と機能を理解できる、②子ども家庭支援における保育士の役割を説明できる、③子ども家庭支援における保育士の基本的態度を説明できる、④子育て家庭に対する支援の体制を説明できる、⑤子ども家庭支援の内容と対象を理解できることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭支援の目標と機能を理解できる。</li> <li>・子ども家庭支援における保育士の役割を説明できる。</li> <li>・子ども家庭支援における保育士の基本的態度を説明できる。</li> <li>・子育て家庭に対する支援の体制を説明できる。</li> <li>・子ども家庭支援の内容と対象を理解できる。</li> </ul>	定期試験	70%
コミュニケーション能力	グループ内で議論し、子ども家庭支援における保育士の基本的態度について理解できる。	グループディスカッション	10%
課題解決能力	子ども家庭支援における保育士の役割についてレポートをまとめることができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	子ども家庭支援の課題を理解し積極的な学習ができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

本授業では、定期試験 70%、グループディスカッション 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	子ども家庭支援の意義と必要性について説明する。	面接授業	予習：子ども家庭支援の目標と機能を読んでおくこと (1 時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと (0.5 時間)。
2 回目	子ども家庭支援の目標と機能について説明する。	面接授業	予習：保育所保育指針を調べておくこと (0.5 時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと (0.5 時間)。
3 回目	子ども家庭支援における保育士の役割について理解する。	オンライン可	予習：バイステックの 7 原則を調べておくこと (1 時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと (0.5 時間)。
4 回目	保育士に求められる基本的態度について説明する。	面接授業	予習：保育士の専門性を生かした子ども家庭支援を読んでおくこと (1 時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと (0.5 時間)。
5 回目	保育士の専門性を生かした子ども家庭支援を理解する。	面接授業	予習：信頼関係について調べておくこと (0.5 時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと (0.5 時間)。
6 回目	保護者との信頼関係の形成について理解する。	面接授業	予習：子どもの発達段階について調べておくこと (1



			時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(0.5時間)。
7回目	家庭の状況に応じた支援について説明する。	面接授業	予習：子育て家庭の福祉を図るための社会資源を読むしておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(0.5時間)。
8回目	子育て家庭の福祉を図るための社会資源について説明する。	オンライン可	予習：子ども子育て新制度について調べておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
9回目	子育て支援の施策と次世代育成の支援策について説明する。	オンライン可	予習：子ども家庭支援の内容と対象を読むしておくこと(1時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(0.5時間)。
10回目	子ども家庭支援の内容と対象について説明する。	面接授業	予習：保育所を利用する子ども家庭への支援を読むしておくこと(1時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(0.5時間)。
11回目	保育所を利用する子ども家庭への支援について理解する。	面接授業	予習：地域子育て支援センターの役割について調べておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
12回目	地域の子育て家庭への支援について説明する。	面接授業	予習：要保護児童およびその家庭に対する支援を読むしておくこと(1時間)。 復習：講義の内容を振り返

			り理解を深めておくこと (0.5時間)。
13回目	要保護児童およびその家庭に対する支援について説明する。	面接授業	予習：保育の現場での子育て支援の現状と課題を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
14回目	保育の現場での子育て支援の現状と課題について理解する。	面接授業	予習：配布したプリントを整理しておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
15回目	振り返りを行う。	面接授業	
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書『子ども家庭支援論』(建帛社)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水・木の5限目。
備考・メッセージ	

講義科目名称：カリキュラム論	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
紺谷 遼太郎				

授業概要	<p>幼児教育・保育におけるカリキュラムに関する基本的な考え方を確認しつつ、保育の展開を具体的に進めるために、子どもの発達と生活に即した保育計画のあり方、考え方を学び、計画を作成・実践・改善できる力を身につける。これらを通して、保育者としての専門性を身に付けるとともに、学び続けることのできる保育者になるための基盤となる力を養うことを目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもを理解しようとし、健やかな発達を願う気持ちをもって、学びに向かうことができる。	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	保育における計画と評価について、基本的理論を理解し、実践的に取り組むことができる。	課題（指導案作成） 模擬保育 定期試験	5% 5% 60%
コミュニケーション能力	他者と意見を交わし、互いに高め合うことができる。	グループワーク	5%
課題解決能力	質の高い保育を目指して、試行錯誤を重ねながら指導計画の作成や評価に取り組むことができる。	課題（指導案作成）	5%
主体的に学ぶ力	保育の計画の立案やカリキュラム・マネジメントが、保育者にとって重要な職務であることを理解し、積極的に学ぶことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は面接授業を基本とするが、状況によってオンライン等で行う場合がある。</li> <li>授業に関する質問は、直接またはMellyでも受け付け、Web上または授業の際に回答する。</li> </ul>

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育における計画と意義」 ・ 授業の進め方について確認する。 ・ 保育における計画の意義と重要性を理解する。	面接授業	復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(1時間)
2回目	「保育に関する様々なカリキュラム」 ・ 保育実践をめぐるカリキュラムが存在することを理解する。	面接授業	復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
3回目	「日本における幼児教育・保育カリキュラムの歴史の変遷」 ・ 幼児教育・保育カリキュラムの歴史の変遷を学び、今後のカリキュラムのあり方について考える。	面接授業	復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
4回目	「教育課程及び全体的な計画と指導計画の関係」 ・ 目標・教育課程と全体的な計画・指導計画のつながりを理解し、長期計画と短期計画の役割について考える。	面接授業	予習：教科書第2章を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
5回目	「幼稚園のカリキュラムの基本原則と方法」 ・ 幼稚園教育の基本について理解を深め、具体的な教育課程や指導計画の編成・作成について考える。	面接授業	予習：教科書第3章を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
6回目	「保育所・幼保連携型認定こども園のカリキュラムの基本原則と方法」 ・ 保育所保育、幼保連携型認定こども園の教育・保育の基本について理解を深め、具体的な全体的な計画や指導計画の作成について考える。	面接授業	予習：教科書第4章を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
7回目	「指導計画作成の基本的な考え方」 ・ 指導計画の種類を知り、作成の基本的な考え方、内容、留意点等を理解する。	面接授業	予習：教科書第5章を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
8回目	「0・1・2歳児の特徴と指導計画」 ・ 乳児・1歳児・2歳児の子どもの育ちについて理解し、部分指導計画案を作成する。	面接授業	予習：教科書第6章を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)

9回目	<p>「3・4・5歳児の特徴と指導計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3歳児・4歳児・5歳児の子どもたちの育ちについて理解し、部分指導計画案を作成する。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：教科書第7章を読んでおく。(1時間)</p> <p>復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)</p>
10回目	<p>「保育の記録・評価」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育の記録・評価が保育の質の向上に資することを理解する。</li> <li>カリキュラム・マネジメントの重要性を理解する。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：教科書第8章を読んでおく。(1時間)</p> <p>復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)</p>
11回目	<p>「部分指導計画の作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部分指導計画を作成する。</li> <li>自身で見直し、指導計画作成の留意点を明確にする。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：これまでの学習について振り返る。(1時間)</p> <p>復習：指導計画を完成させる。(5時間)</p>
12回目	<p>「部分指導計画の実践と評価」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部分指導計画をもとにグループごとに模擬保育を行う。</li> <li>部分指導計画と模擬保育を振り返り、より良いものへと改善する。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：模擬授業の準備・練習を行う。(3時間)</p> <p>復習：指導計画と保育の質を高められるよう、改善点を明確にする。(2時間)</p>
13回目	<p>「全日指導計画の作成①」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全日指導計画について理解し、留意事項等を踏まえながら立案する。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：全日指導計画について調べておく。(2時間)</p> <p>復習：指導計画を作成する。(5時間)</p>
14回目	<p>「全日指導案の作成②」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全日指導計画を完成させる。</li> <li>自身で見直し、指導計画作成の留意点を明確にする。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：指導計画を作成する。(3時間)</p> <p>復習：指導計画を完成させる。(5時間)</p>
15回目	<p>「全日指導案の発表と評価」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ間で全日指導計画をもとに発表し、相互評価を行う。</li> <li>発表や相互評価をもとに、指導計画作成に重要となる視点について整理する。</li> </ul>	面接授業	<p>予習：発表の準備・練習を行う。(3時間)</p> <p>復習：定期試験に向けて復習する。(5時間)</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	保育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書</li> <li>・ 岩崎淳子・及川留美・粕谷巨正著(2018)『教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画』萌林書林</li> <li>●参考書</li> <li>・ 文部科学省(2017)『幼稚園教育要領』</li> <li>・ 厚生労働省(2017)『保育所保育指針』</li> <li>・ 内閣府・文部科学省・厚生労働省(2017)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』</li> </ul>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	研究室在室中はいつでも対応する。
備考・メッセージ	積極的な授業参加を期待しています。

講義科目名称：保育内容総論	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	演習
担当教員				
紺谷 遼太郎				

授業概要	<p>幼児教育・保育における「5領域」は、相互に関連性を持ち、保育の展開において総合的な指導が必要とされている。保育内容総論では、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における幼児教育・保育の基本を理解し、保育内容を総合的・多角的に捉え実践していくための基盤を培う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもにかかわる際の基本的な態度を身につけている。	授業内レポート	10%
確かな専門的知識や技能	保育において重要な専門用語や基本的な考え方を理解し、説明することができる。	定期試験	60%
コミュニケーション能力	他者と意見を交わし、互いに高め合うことができる。	グループワーク	5%
課題解決能力	保育内容に関する諸課題の解決を目指して取り組むことができる。	授業内レポート	10%
主体的に学ぶ力	子どもの発達を支える保育について、学習成果をもとに考えを述べることができる。 保育者に必要な専門性を理解し、意欲的に学習できる。	課題レポート	10%
		授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は面接授業を基本とするが、状況によってオンライン等で行う場合がある。</li> <li>授業に関する質問は、直接またはMellyでも受け付け、Web上または授業の際に回答する。</li> </ul>

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育の全体構造」 ・ 授業の進め方について確認する。 ・ 保育内容とは何かを理解する。	面接授業	予習：教科書pp.2-7を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
2回目	「保育内容の理解① 養護の観点」 ・ 指針・要領等に記述されている養護の観点を理解し、保育者の援助やかかわりについて考える。	面接授業	予習：教科書pp.14-17を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
3回目	「保育内容の理解② 教育の観点」 ・ 指針・要領等に記述されている教育(保育内容)の観点を理解する。	面接授業	予習：教科書pp.26-31を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
4回目	「保育内容の歴史的変遷と社会的背景」 ・ 指針・要領等の歴史的変遷とその社会的背景から、現場で求められる保育内容の基準について理解する。	面接授業	予習：教科書pp.38-43を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
5回目	「子どもの発達や生活に即した保育」 ・ 指針・要領等を基に、乳幼児期の発達過程や、それに応じたふさわしい保育や環境について理解する。	面接授業	予習：教科書pp.52-59を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
6回目	「養護と教育が一体的に展開される保育」 ・ 幼児教育・保育における養護と教育の関係性を理解し、遊びや生活にある養護や教育の観点を考える。	面接授業	予習：教科書pp.66-71を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
7回目	「子どもの主体性を尊重する保育」 ・ 主体性を尊重した保育を実践するための留意事項について理解する。	面接授業	予習：教科書pp.80-85を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
8回目	「環境を通して行う保育」 ・ 「環境を通して行う保育」の考え方を理解し、具体的な保育展開について考える。	面接授業	予習：教科書pp.94-97を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
9回目	「生活や遊びによる総合的な保育」 ・ 子どもの生活や遊びと、それによる学習や発達の特徴を理解する。	面接授業	予習：教科書pp.106-109を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間) 課題レポートを作成する。(7時間)



10回目	「個と集団の発達を踏まえた保育」 ・ 子どもの個の育ちと集団の育ちの発達を理解し、それを踏まえた保育展開について考える。	面接授業	予習：教科書pp.118-121を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
11回目	「家庭や地域との連携を踏まえた保育」 ・ 家庭や地域との連携の考え方を理解し、子育て支援の展開について考える。	面接授業	予習：教科書pp.130-135を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
12回目	「小学校との連携・接続を踏まえた保育」 ・ 小学校との連携・接続を踏まえた保育に関する法的規定や課題等を理解し、連携・接続の具体的事例を検討する。	面接授業	予習：教科書pp.144-149を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
13回目	「長時間の保育」 ・ 長時間の保育の実施にあたっての配慮事項等を理解する。	面接授業	予習：教科書pp.156-161を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
14回目	「特別な配慮を要する子どもの保育」 ・ 障害のある子どもに対する保育のポイントを理解し、そうした子どもへの働きかけについて考える。	面接授業	予習：教科書pp.168-173を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間)
15回目	「多文化共生の保育」 ・ 多様性を増す日本社会の現状と、子どもの最善の利益を保障するために必要な多文化共生の保育について理解し、言語的マイノリティの子どもへの指導や子育て支援のあり方について考える。	面接授業	予習：教科書pp.180-183を読んでおく。(1時間) 復習：授業を振り返り、重要事項と内容をまとめる。(2時間) 定期試験に向けて復習する。(8時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書</li> <li>・ 石川昭義・松川恵子編(2019)『保育内容総論 新・基本保育シリーズ14』中央法規出版</li> <li>・ 文部科学省(2017)『幼稚園教育要領』</li> <li>・ 厚生労働省(2017)『保育所保育指針』</li> <li>・ 内閣府・文部科学省・厚生労働省(2017)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』</li> </ul>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	研究室在室中はいつでも対応する。
備考・メッセージ	15回の授業全体を通して、学生に意見を求めたりグループ内での意見交換を行ったりしていく予定です。積極的な参加を期待しています。

講義科目名称：保育内容演習 I (健康)	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1	選択	演習
担当教員				
中尾健一郎				

授業概要	<p>「領域『健康』に関する専門的事項」として「子どもと健康」で学んだ内容をベースに「保育内容『健康』の指導法」について、環境構成や教材等の実践例を参考に専門的事項や理論を踏まえた根拠に基づく指導ができるよう以下を目標にして知識や技術を学ぶ。</p> <p>①領域「健康」の指導における保育者の役割について理解する          ②生活習慣及び食育に関わる指導法について理解する          ③安全教育・救急対応について理解する          ④運動遊びの指導及び日常生活における身体活動について理解する          ⑤領域「健康」に関する指導場面を想定した保育を構想する方法を理解する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣指導のポイントについて説明できる。</li> <li>・食育指導のポイントについて説明できる</li> <li>・安全教育・救急対応のポイントについて説明できる</li> <li>・運動遊び指導のポイントについて説明できる</li> </ul>	期末レポート 課題レポート	60% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者を目指す者として、健康を意識し積極的な学習ができる</li> </ul>	リフレクションカード 授業への参加・態度	10% 10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業については、課題提出で出席とみなす</li> <li>・毎回、Melly を使って、授業のポイント、意見質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出すること</li> <li>・期末レポート 60%、課題レポート 20%、リフレクションカード 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する</li> </ul>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「領域「健康」の指導における保育者の役割について」 本科目の位置づけ、到達目標や授業内容、評価方法について学ぶ 領域「健康」の指導における保育者の役割について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバスに目を通しておく(0.25時間) 復習：配布資料を参考に領域「健康」の指導における保育者の役割について復習する(0.5時間)
2回目	「生活習慣に関わる指導について」 乳幼児の基本的な生活習慣の指導について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：基本的な生活習慣について調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に生活習慣に関わる指導について復習する(0.5時間)
3回目	「食育に関わる指導について」 乳幼児の食育の指導について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：食育について調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に食育に関わる指導について復習する(0.5時間)
4回目	「安全教育・救急対応について」 乳幼児の安全教育と救急対応について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：安全教育について調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に安全教育・救急対応について復習する(0.5時間)
5回目	「運動遊びに関わる指導について①」 遊びとしての運動の重要性について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：運動遊びについて調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に遊びとしての運動の重要性について復習する(0.5時間)
6回目	「運動遊びに関わる指導について②」 乳幼児にふさわしい運動指導の在り方について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：運動指導について調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に運動指導の在り方について復習する(0.5時間)
7回目	「運動遊びに関わる指導について③」 幼児期運動能力検査による運動能力の測定評価方法の実践を通して、子どもの運動能力の特徴について学ぶ	面接授業：体育館での実技	予習：子どもの運動能力の現状について調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に運動能力検査の方法について

			復習する(0.5時間)
8回目	「運動遊びに関わる指導について④」 ネイチャーゲームの体験を通して自然環境を利用した遊びについて学ぶ	面接授業：体育館及び屋外での実技	予習：自然環境でどのような遊びを体験してきたか振り返る(0.25時間) 復習：ネイチャーゲームのポイントについてまとめる(0.5時間)
9回目	「運動遊びに関わる指導について⑤」 移動系の運動遊びの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館の実技	予習：体験したことがある鬼ごっこ遊びを振り返る(0.25時間) 復習：移動系の運動遊びのポイントについてまとめる(0.5時間)
10回目	「運動遊びに関わる指導について⑥」 操作系の運動遊びの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館の実技	予習：体験したことがある用具を使った遊びについて振り返る(0.25時間) 復習：操作系の運動遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる(0.5時間)
11回目	「運動遊びに関わる指導について⑦」 平衡系の運動遊びの体験を通して環境構成と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体育館の実技	予習：体験したことがある鉄棒、平均台、跳び箱等を使った遊びを振り返る(0.25時間) 復習：平衡系の運動遊びの環境構成と指導のポイントについてまとめる(0.5時間)
12回目	「日常生活における身体活動について」 日常生活の中の動きや環境について学ぶ	面接授業：教室での講義(オンライン等の対応可能)	予習：日常生活における身体活動について調べる(0.25時間) 復習：配布資料を参考に日常生活における身体活動について復習する(0.5時間)
13回目	運動遊びの計画と発表① サーキット遊びと運動会種目をグループで計画する	面接授業：教室での講義(オンライン等の対応可	予習：サーキット遊びと運動会種目について調べておく(0.25時間) 復習：サーキット遊び、運

		能)	動会企画の留意点についてまとめる(0.5時間)
14回目	運動遊びの計画と発表② 企画したサーキット遊びを発表し、評価する	面接授業：体育館の実技	予習：企画した内容を確認しておく(0.25時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つける(0.5時間)
15回目	運動遊びの計画と発表③ 企画した運動会種目の内容を発表し、評価する		予習：企画した内容を確認しておく(0.25時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つけておく(0.5時間)

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：乳幼児教育・保育シリーズ 保育内容 健康 吉田伊津美 砂川史子 松崎洋子編著 光生館 ：幼児期における運動発達と運動遊びの指導 杉原 隆／河邊貴子編著 ミネルヴァ書房 ：0～5歳児の発達にあった楽しい運動遊び 柳澤秋孝著 ナツメ社 ：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼児期運動指針
履修条件	
履修上の注意	実技の際は、保育専攻指定ジャージと体育館シューズを着用の上、運動ができるように準備すること オンライン等の授業についてはPC、タブレット（パソコン）等を準備し、対応できるようにすること
オフィスアワー	授業の前後に教室等にて質問を受け付ける
備考・メッセージ	保育者を目指す者として自分の健康にも関心も持ち、身体を動かす習慣を身につけ、健康維持に努めること

講義科目名称：保育内容演習 I（表現音楽活動）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
友廣 憲子				

授業概要	<p>①わらべうたの実践、手や身体を使ったあそびの実践や食べ物が出てくるあそびの実践を学習し技術を修得する。</p> <p>②リトミックの意義と年齢に応じた実践を学び理解していく。</p> <p>③受講者同士グループでの発表を行う。</p> <p>④保育現場に即した表現力を養うことを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	リトミック活動を通し感性を育成することができる。	授業内	10%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの年齢に応じた活動を考案し実践に向けた知識と技術を身に付けることができる。</li> <li>あそびの実践を学習し理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技発表</li> <li>授業参加・意欲</li> </ul>	50% 10% 10%
		<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人の意見を傾聴し協力して制作することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参加・意欲</li> </ul>
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題に積極的に取り組む姿勢を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参加・意欲</li> </ul>	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。</li> <li>対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合がある。</li> </ul>	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の概要説明とねらいを説明する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。(0.5時間)
2回目	音楽教育の変遷	ダルクローズのリトミックについて	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。(0.5時間)
3回目	音楽教育の変遷	オルフ・コダーイの教育について	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:歌のメロディーを練習しておくこと。(0.5時間)
4回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から手や身体を使ったあそびの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:歌のメロディーを練習しておくこと。(0.5時間)
5回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から身体を使ったあそびの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:歌のメロディーを練習しておくこと。(0.5時間)
6回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中からわらべうたの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習: :流れをつかんでおくこと。(0.5時間)
7回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から動物がでてくる実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:発表の準備をする。(0.5時間)
8回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から手を使ったあそびの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。(0.5時間)
9回目	リトミック	たのしい子どものうたあそびの中から食べ物を使った手遊び リトミックの実践	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:ドラムジカの内容を各イメージしておくこと。



			(0.5時間)
10回目	リトミック グループ活動	年齢に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
11回目	リトミック グループ活動	たのしい子どものうたあそびの中から年齢 に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
12回目	リトミック グループ活動	年齢に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
13回目	リトミック グループ活動	年齢に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
14回目	リトミック グループ活動	自分たちの発表を見比べる	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
15回目	グループ活動	実技試験に向けた準備と練習	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
16回目	実技試験		

科目(教職課程用)	保育内容の指導法に関する科目(情報機器及び教材の活用を含む)
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: たのしい子どものうたあそび(同文書院) 幼児のための音楽教育(教育芸術者) 参考書:
履修条件	
履修上の注意	グループ活動に積極的に参加しましょう。
オフィスアワー	授業の開始前・開始後に対応する。

備考・メッセージ	
----------	--

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	授業コード：31133 32135 33136
英文科目名称：	ナンバリング CM303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択 幼稚園教 論：必修	演習 単独
担当教員				
陣内 敦				

授業概要	<p>①保育現場における造形活動のねらいと内容を理解する 造形活動による幼児の発達について理解する 造形活動における人間関係の構築について考察する</p> <p>②幼児の造形の目的を理解する 幼児の造形の喜びを理解する 望ましい幼児の造形活動を計画する</p> <p>③造形活動を活性化させる保育者の役割を考察する 年齢に応じた事前準備を理解する 対象児と場に応じた環境構成を理解する</p> <p>④幼児の思考の展開を促す支援内容を理解する 幼児の安全な活動を支える支援方法を理解する 子ども達の状況や発達に望ましい造形活動のあり方を考察する</p> <p>⑤保育教材の役割を理解する 保育教材の考案法を理解する 保育教材を用いた保育実践をおこなう</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の造形活動を計画する方法を習得する</li> <li>・ 幼児の造形活動を支える事前準備と環境構成について理解する</li> <li>・ 幼児の造形活動に対する保育者の支援内容（指導法）を修得する</li> <li>・ 幼児の造形活動についての重要性を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の成果</li> <li>作品の成果</li> <li>作品の成果</li> <li>作品の成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20%</li> <li>20%</li> <li>20%</li> <li>20%</li> </ul>
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の様々な活動を支える造形の役割を体験する</li> </ul>	学修の取り組み	20%
課題解決能力			

主体的に学ぶ力			
			合計 100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	はじめに 手づくりおもちゃ① 子どもとの造形活動のねらいと内容についてのイントロダクション 身近な材料(紙コップ)で手づくりおもちゃを制作する「紙コップのおもちゃ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：造形のねらいと内容について、自分なりの考えを持つ（2時間） 復習：造形の意義について確認する（2時間）
2回目	小さな自然観察 近所を散策し、子どもの視点で自然を観察する。草花や虫などを写真に撮り、感想をまとめる「小さな自然観察レポート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもの自然に触れる様子についてイメージしておく（2時間） 復習：自然の豊かさに関心を持つ（2時間）
3回目	手づくりおもちゃ② 丸いうちわの材料を用いて手づくりおもちゃを制作する「いないいないばあ！or へんし〜ん！」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
4回目	手づくりおもちゃ③ 「紙コップのおもちゃ」の発表 紙皿を用いて手づくりおもちゃを制作する「皿コプター」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
5回目	手づくりおもちゃ④ 「小さな自然観察レポート」の掲示発表 ジャバラに折った画用紙を用いて手づくりおもちゃを制作する「パクパクおもちゃ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
6回目	フィールドマップ① 自分の思い出の場所や現在の生活地域の地図を制作する「フィールドマップ」	面接授業または Melly 課題 配信	予習：周辺の風景を概観しておく（2時間） 復習：学生それぞれの感性

			を認め合う（2時間）
7回目	フィールドマップ② 自分の思い出の場所や現在の生活地域の地図を制作する「フィールドマップ」	面接授業または Melly 課題 配信	予習：場の中にある思い出や想いを記録する（2時間） 復習：子どもの場に対する感性を想像する（2時間）
8回目	想像あそび 切り紙とらくがきを組み合わせたあそび「これなんだ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもの発想についてイメージしてみる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
9回目	粘土あそび 「フィールドマップ」の発表 粘土あそびをして、子どもの心の動きを知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもの頃の粘土遊びの様子を思い出す（2時間） 復習：創造性や癒しの大切さについて考える（2時間）
10回目	手づくりおもちゃ⑤-1 ダンボールとプラネジを用い手作りおもちゃを制作する「くねくねペープサート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：これからおこなう保育の場面を想定する（2時間） 復習：子どもとの語らいの中での遊びの展開を考える（2時間）
11回目	手づくりおもちゃ⑤-2 ダンボールとプラネジを用い手作りおもちゃを制作する「くねくねペープサート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：これからおこなう保育の場面を想定する（2時間） 復習：子どもとの語らいの中での遊びの展開を考える（2時間）
12回目	造形材料探索 小石と木っ端の収集	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもが様々な物を収集する好奇心についてイメージしておく（2時間） 復習：自然物の形や手触りや形のおもしろさに関心を持つ（2時間）
13回目	石ころアート 収集した小石にペイント「石ころアート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：収集した物をしっかりと見つめ、想像性を働かせる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）

14回目	木の工作① 収集した木っ端を用いて工作する「木の工作」	面接授業または Melly 課題 配信	予習：収集した物をしっかりと見つめ、想像性を働かせる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
15回目	木の工作② 「木の工作」 まとめ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：保育に携わる心の準備をおこなう（2時間） 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう（2時間）

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：保育内容演習 I（人間関係）	授業コード：21254 23253
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2 学年	1 単位	選択	演習
担当教員				
藤野 正和				

授業概要	<p>この授業では、人間関係の基盤を築いていく乳幼児期において、子どもたちがいかにして人や環境とかかわりながら、人間関係を形成していき、その中でどのような体験を経験することが必要なのかということについて考えてもらいます。また子どもは、乳幼児期からの他者とかかわりやつながりを通して、さまざまな知識や技能、態度を身につけていきます。このような子どもの育ちを支える保育者としての専門的な知識や関わり、環境構成の視点を養うことを目指します。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。</p> <p>①乳幼児期の教育及び保育に関する基本的な知識を説明できる。</p> <p>②乳幼児期の「人間関係」に関連する子どもの発達について説明できる。</p> <p>③乳幼児期の子どもと他者（子ども・保育者）との関係性を「人間関係」の視点で考察することができる。</p> <p>④乳幼児期の「人間関係」の視点を含めた環境構成を計画・作成することができる</p> <p>⑤乳幼児期の人間関係の形成を援助する保育者としての自己理解と向上心を持って課題に取り組むことができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	・ 子どもの人間関係を中心とした発達についての基本的な知識を説明できる	定期試験	70
コミュニケーション能力	・ 事例を通して他者と意見を交換することができる。	ディスカッション	10
課題解決能力	・ 子どもの遊びから子どもの他者とのやりとりにおける心情・意欲・態度について整理・考察する	課題・レポート	20

	ことができる。		
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<p>授業に関する質問は直接のほか Melly でも受けつけ、Web 上または授業回で答える          本授業は、定期試験 70%、ディスカッション 10%、課題・レポート 20%の割合で評価する。          事例作成は、Microsoft の Word を使用して作成し、提出すること。          各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション	面接授業	予習：指定の教科書を通読する。(1 時間) 復習：配布された課題に取り組む。(1 時間)
2 回目	幼児教育及び保育の基本と乳幼児期の特性について説明する。	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書 P2~13 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
3 回目	領域「人間関係」の「ねらい及び内容」の取り扱いについて説明する。	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書 P30~45 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
4 回目	子どもの発達と人間関係－0・1・2 歳児における人とのかかわりの発達と保育者の援助－について説明する。	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書 P46~63 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
5 回目	子どもの発達と人間関係－0・1・2 歳児における人とのかかわりの発達と保育者の援助－について説明する。	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書 P64~77 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
6 回目	愛着形成の理論と実際について説明する。	面接授業 オンライン授業対応可	予習：教科書 P78~106 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)



7回目	子どもの自立心について説明する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P93~106 を通 読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
8回目	子どもの自己主張と自己発揮について説明 する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P107~122 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
9回目	いざこざ・けんかなどのトラブルについて 説明する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P123~139 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
10回目	共感・思いやりについて説明する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P140~148 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
11回目	道徳性・規範意識について説明する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P149~165 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
12回目	コミュニケーション能力について説明す る。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P166~181 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
13回目	子どもの遊びと人間関係について考える。	面接授業	予習:指定された課題に取り 組む。(1時間) 復習:課題の振り返りを行 う。(1時間)
14回目	個と集団の育ちについて説明する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P182~199 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
15回目	子どもと人間関係について説明する。	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:教科書 P200~212 を 通読する。(1時間) 復習:授業内で配布された 資料で復習する。(1時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	教科書：対話的・深い学びの保育内容 人間関係，塚本美知子編，萌文書林. 参考資料：幼稚園教育要領，保育所保育指針，幼保連携型認定こども園教育・保育要領とその解説
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合は厳しく対応を行います。

講義科目名称：保育内容演習 I（環境）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	卒業：選択 幼稚園教諭：必修	演習
担当教員				
黒崎 朗				

授業概要	<p>① 幼児にとっての環境のとらえ方、環境の変化と幼児の生活、変化した環境と保育問題について加地意識を持つことができる。</p> <p>② 環境との関わり方や保育者に必要な資質と配慮について理解し、授業設定の知識や能力の素地を育てる。</p> <p>③ 自然のものを使った遊びや作品づくり、動物の飼育や植物の栽培を通して自然現象への興味関心を深める。</p> <p>④ 幼児期の環境活動の重要性を理解し、将来の保育者として主体的に学び続ける意欲を養う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・将来の保育者として誠意を持って幼児に関わる心構えを育てる。		
確かな専門的知識 や技能	・幼児の置かれている環境について理解し、教育的観点から望ましい園環境を理解することができる。 ・身近な環境に親しませ、自然の様々な事象に興味を持たせる技能を身につける。	・定期試験 ・課題の提出物	70% 20%
コミュニケーション能力	・様々な意見・アイデアを取り入れながらグループ活動に積極的に取り組むことができる。		
課題解決能力	・幼児の置かれている現状をつかみ解決に向けた取り組みを話し合う。	・レポート	10%
主体的に学ぶ力	・主体的に実習や演習に関わろうとする意欲を養う。		
合計			100%

補足事項

- ・オンライン授業実施の時は、Melly を使用し、授業外の質問も Melly で受け付ける
- ・野草の名前、科学遊びの素材の利用など PC を活用し検索する。
- ・春の草花遊びの作品、野菜の栽培、科学遊びの作成物の写真は、Melly 上でデータを提出する

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 授業の進め方についての説明 夏野菜を栽培について	面接授業	予習：シラバスを見て、講義の流れを把握しておく（1 時間） 復習：プランターで栽培する作物を決め、準備する（1 時間）
2 回目	（第 1 章） 領域「環境」の意義 幼児が「環境とかかわる」ことの意味と意義について学ぶ	面接授業	予習：幼児の発達と環境の関係について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
3 回目	（第 2 章） 幼児の発達と環境 幼児期の発達特性を踏まえての環境がもつ意味について	面接授業	予習：保育内容の 5 分野について確認しておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
4 回目	実習 自然に学ぶ 春の草花で遊ぼう 春の野原の散策・昆虫等の観察と採集	面接授業 オンライン授業対応可	予習：春の野草や昆虫についてネットで調べておく（1 時間） 復習：春の草花で遊ぶ（2 時間）
5 回目	（第 3 章） 幼児の発達と自然環境① 保育における動植物の役割	面接授業	予習：飼育栽培活動における保育者の役割について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
6 回目	（第 3 章） 幼児の発達と自然環境② 保育における動植物の役割・動植物の生き方、育ち方を知ろう	面接授業	予習：飼育栽培活動における保育者の役割について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
7 回目	（第 4 章） 幼児の発達と園の環境① 園内環境が発達に及ぼす影響について考える	面接授業	予習：園内環境保育者の役割と専門性について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
8 回目	（第 4 章）	面接授業	予習：七夕について調べておく

	幼児の発達と園の環境② 環境による教育の実践について 七夕について	オンライン授 業対応可	(1時間) 復習:配布資料に目を通し、理解でき なかったところを調べる (1時間)
9回目	(第5章) 人的環境としての友だち・保育者 の役割 保育者の役割と専門性について考 える	面接授業	予習:保育者の役割と専門性について 調べておく(1時間) 復習:配布資料に目を通し、理解でき なかったところを調べる (1時間)
10回目 11回目 12回目	演習 「科学遊び」をしよう 紙、ゴム、ストロー、プラスチ ック容器(ペットボトル)を使っ た遊びを考え遊具を作成する	面接授業 オンライン授 業対応可	予習:「科学遊び」の内容を考えてお く(1時間) 復習:「科学遊び」の作品を完成させ る(2時間)
13回目	(第7章) 好奇心・興味・関心を育てる環境 園児に好奇心や関心を持たせ る方について作成した作品をも とに話し合う	面接授業	予習:作成した遊具の提示法につい て考えておく(1時間) 復習:配布資料に目を通し、理解でき なかったところを調べる (1時間)
14回目	(第6章) 幼児の発達と物的環境の役割 園内の物的環境とその働きにつ いて理解する	面接授業	予習:遊びが幼児の発達に与える影 響を調べておく(1時間) 復習:配布資料に目を通し、理解でき なかったところを調べる (1時間)
15回目	(第8章) これからの幼児教育と課題 幼児を取り巻く問題から保育活 動の見直し	面接授業	予習:幼稚園教育実習への抱負につい てまとめておく(1時間) 復習:教科書や配布資料に目を通し、 定期試験に備える(1時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	『保育内容・環境 第三版』横山 文樹編著 同文書院
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育内容演習 I（言葉）	授業コード：33232 34231
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択 保育士・幼稚園教諭：必修	演習
担当教員				
新井悦子				

授業概要	<p>①言葉の機能・言葉の獲得・発達の基礎を作るものを踏まえ、幼児教育において育みたい資質・能力を理解する。</p> <p>②幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「言葉」のねらいや内容について理解を深める。</p> <p>③幼児の発達に即した初語の頃までの発達の特徴、乳幼児期の発達の特徴および乳幼児期の言葉の発達過程について概観し、主体的・対話的な保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>④幼児期の発達や学びの過程を理解し、遊びの中での関わり方・活動の中での関わり方を学ぶ。</p> <p>⑤絵と言葉の豊かな世界（絵本、紙芝居）、劇や物語（パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート等）、想像や言葉のリズム（素話・言葉遊び）を学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	①言葉の役割、領域「言葉」について理解ができる。 ②子どもの言葉の発達と保育者の関わりについて理解ができる。 ③言葉を育む児童文化財について知識を持ち、素話などの大切さを理解し、発表できる。	定期試験 小レポート  個人での発表	60% 10%  10%
コミュニケーション能力	④グループ内で協力をし手遊び、シアター系、劇遊び等の児童文化財の発表ができる。	グループディスカッション グループでの発表	5% 10%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	⑤子どもの言葉を育てる環境、児童文化財の大切さを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業では、定期試験 60%、レポート 10%、グループディスカッション 5%、発表 20%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。</li> <li>・提出物は次回以降の授業にて返却するものもある。</li> </ul>			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	領域「言葉」とは何か	領域「言葉」のねらいと内容	復習 領域「言葉」のねらいと内容に関する学習内容の確認 予習 新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動の確認
2 回目	言葉の発達 ①初語のころまで	新生児の持つ力を知り、話しことば出現以前の行動を知る	復習 新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動に関して振り返る 予習 幼児期前期の言葉の発達

			の特徴についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるか考える
3回目	言葉の発達 ②幼児期前期	幼児期前期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う	復習 幼児期前期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認 予習 幼児期後期の言葉の特徴について知る。
4回目	言葉の発達 ③幼児期後期	幼児期後期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う	復習 幼児期後期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認 予習 言葉の発達を支える環境について調べる。
5回目	言葉の発達 ④言葉の背景にあるもの	言葉の発達を支える環境について考える	復習 言葉の発達を支える環境について振り返る。 予習 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える。
6回目	子どものことばと保育者	子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える	復習 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について振り返る。 予習 特別な配慮の必要な子どもについて調べる。
7回目	特別な配慮の必要な子ども 情報機器等の有効的な活用法	援助の仕方や対応の仕方について考える	復習 援助の仕方や対応の仕方について振り返る。 予習 わらべうたや手遊びなどについて調べる。
8回目	歌や触れ合いを楽しむ遊び	わらべうたや手遊びなどが育てるものについて理解する	復習 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて振り返る。 予習 絵本や紙芝居にはどのようなものがあるか調べる
9回目	児童文化と内容 ① 絵と言葉の世界	絵本や紙芝居は何を育てるか考える	復習 絵本や紙芝居が育てるものについて振り返る。 予習 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人



			形劇とは何か調べる。
10 回目	児童文化と内容②劇 や物語	パネルシアター、エプロンシアター、ペー プサート、人形劇の実演技術を身につける	復習 パネルシアター、エプロ ンシアター、ペープサート、人 形劇の実演について振り返る。 予習 素話・言葉遊びについて 調べる。
11 回目	児童文化と内容③想 像や言葉のリズム	素話・言葉遊びの教育的効果について整理す る	復習 素話・言葉遊びの教育的 効果について振り返る。 予習 劇遊びについて調べる。
12 回目	児童文化と内容④ご っこの世界から劇遊 びへ	ごっこ遊びから劇遊びへ発展する過程につい て学ぶ	復習 ごっこ遊びから劇遊びへ 発展する過程を振り返る。 予習 グループでの劇遊びの内 容について考える。
13 回目	児童文化と内容⑤劇 遊び発表会の準備	グループでの劇遊び発表会の練習と準備 学習課題	復習 劇遊びの練習について振 り返る。 予習 劇遊びの練習
14 回目	児童文化と内容⑥劇 遊び発表会の実施	グループでの劇遊び発表会の実施	復習 全グループの劇遊びの発 表を振り返る。 予習 これまでの学習をおおま かに振り返る。
15 回目	復習・総まとめ	これまで学習してきた内容の確認 学習課題	復習 これまで学習してきた内 容を振り返る。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	領域および保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に 定める科目区分または事項 等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	テキスト：購入『保育内容・言葉』 太田光洋 編著 同文書院（前期の「子どもと 言語」と同じ教科書） 参 考 書：必要に応じて資料を配布 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型 認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。

備考・メッセージ	個人での発表、グループでの討議・発表において、積極的な参加を期待します。

講義科目名称：乳児保育 I	授業コード：31252 32251
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年次	2	保育士：必修 卒業：必修	講義
担当教員				
戸田 恵理子				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。</li> <li>2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。</li> <li>3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。</li> <li>4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する</li> </ol>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	乳児の心や体の育ちを丁寧に理解しようと努めることができる。	・レポート	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所や乳児院における乳児保育の現状を理解し、3歳未満時における乳児保育の役割と機能を理解できる。</li> <li>・3歳未満児の発育・発達の個人差を理解し、それに応じた知識・技術に基づく援助や関わりができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> <li>・定期試験</li> </ul>	20% 50%
コミュニケーション能力	グループ活動に積極的に取り組むことができる。	・グループディスカッション	10%
課題解決能力	<p>乳児保育の計画と記録・評価について模擬保育や保育実践の振り返りから課題を明確にできる。</p> <p>乳児保育の環境づくりについて理解できる。</p>	・レポート	5%
主体的に学ぶ力	子どもの発達や学びの過程、子育て支援等に関する様々な事柄に常に問題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる。	・レポート	10%
合計			100%

補足事項

定期試験 50% 確認テスト 20% レポート 20% グループディスカッション 10%  
を総合して評価する。

※レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション ・乳児保育の目的と役割、実施体制などについて理解する。 ・乳児保育における養護と教育の一体性について説明する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p10～17 に目を通しておく（2時間） 復習：乳児保育に携わる保育士の役割についてまとめる（2時間）
2 回目	乳児保育の基本 ・乳児保育の背景や歴史的変遷について説明する。 ・乳幼児の教育・保育を行う施設の種類と機能について理解する。 ・乳児保育及び子育て家庭に対する支援の具体的な内容を通して理解する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p18～27 を読み、わからない用語等を調べておく（2時間） 復習：地域型保育事業の概要についてまとめる（2時間）
3 回目	0, 1, 2 歳児の発達 ・0, 1, 2 歳児の子どもの主な発達について説明する。 ・アタッチメントの形成の重要性を理解する。 ・社会性の発達にかかわる人的環境の必要性を説明する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p28～35 に目を通しておく（2時間） 復習：保育者とのアタッチメントの形成についてまとめる（2時間）
4 回目	乳児（0 歳児）の保育内容 ・乳児（0 歳児）の発達の特徴などを「発達のみちすじ」の表にまとめながら理解する。 ・乳児（0 歳児）の保育内容について保育指針および教育・保育要領から事例などを通して理解する。	オンライン等の対応可	予習：グループディスカッションを行うために、提示された内容について事前に調べておくこと（2時間） 復習：0 歳児の保育内容について指針などをを用い復習する（2時間）
5 回目	1 歳以上 3 歳未満児の保育内容 ・1 歳以上 3 歳未満児の発達の特徴などを「発達のみちすじ」の表にまとめながら理解する。 ・1 歳以上 3 歳未満児の保育内容について保育指針および教育・保育要領から事例などを通して理解する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p48～63 を読み 1 歳以上 3 歳未満児の発達と保育内容について読んでおくこと（2時間） 復習：5 領域の互いの関連性についてまとめておく（2時間）
6 回目	乳児の生活と遊びの基本的事項 ・乳児の生活と遊びをデイリープログラムなどを通して確認する。 ・乳児保育の健康や安全、事故予防・防災対策などについて理解する	オンライン等の対応可	予習：テキスト p64～81 を読み 1 歳以上 3 歳未満児の発達と保育内容について読んでおくこと（2時間） 復習：5 領域の互いの関連性についてまとめておく（2時間）
7 回目	乳児の生活の基本 I ・乳児の生活の基本（食事・睡眠と休息・排泄・着脱衣・清潔）について説明する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p82～89 を読み乳児の基本的な生活習慣の自立を目指す保育者の援助についてまとめておく（2時間） 復習：「基本的な生活習慣の自立に向けた保育者の援助」について整理する（2時間）

8回目	乳児の生活の基本Ⅱ ・乳児の生活の基本（食事・睡眠と休息・排泄・着脱衣・清潔）について説明する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p90～101 を読み乳児の基本的な生活習慣の自立を目指す保育者の援助についてまとめておく（2時間） 復習：「基本的な生活習慣の自立に向けた保育者の援助」について整理する（2時間）
9回目	乳児の遊び ・乳児の遊びについて年齢毎に理解する。 ・各年齢にふさわしいおもちゃについて説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p102～115 を読み、運動発達の特徴についてまとめておく（2時間） 復習：「子どもの発達の特徴とみちすじ」の一覧表に加筆し完成を目指す（2時間）
10回目	乳児の遊び ・乳児の遊びについて、年齢毎に適した保育教材等について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p102～115 を読み、運動発達の特徴についてまとめておく（2時間） 復習：「子どもの発達の特徴とみちすじ」の一覧表に加筆し完成を目指す（2時間）
11回目	乳児保育の環境構成 ・0, 1, 2歳児の保育に必要な環境構成について理解する	オンライン等の対応可	予習：テキスト p116～を読み、各年齢毎の生活の場の特徴についてまとめておく（2時間） 復習：環境構成の具体的な配慮や工夫について指導案を立案する（2時間）
12回目	乳児保育における全体的な計画 ・乳児保育での全体的な計画と指導計画について立案を通して理解する。 ・計画に基づく保育実践についても確認する。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p124～133 を読み、なぜ乳児保育における計画が柔軟に対応する必要があるのかを考えておく（2時間） 復習：保育におけるPDCAサイクルを再度確認する（2時間）
13回目	乳児保育における子育て支援 ・乳児保育での子育て支援について事例を通して説明できる。 ・保護者への対応や子育て支援の実際について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p134～143 と既習の「保育士の役割」について読み返しておく（2時間） 復習：自身の実習先のホームページから、子育て支援の内容について調べまとめておくこと（2時間）
14回目	乳児保育における連携 ・職員間の連携の方法について説明できる。 ・保護者との連携の重要性を説明できる。 ・自治体や地域の関係機関等との連携・協働がもたらす効果について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p144～147 を読み、乳児保育における保育者の専門性について自分の考えをまとめておくこと（2時間） 復習：様々な連携・協働のあり方をふまえ、子ども・保護者・家族のニーズを把握する方法を調べておく（2時間）
15回目	一人一人を健やかに育てていくために ・乳児保育を行う上で、子ども理解の重要性について説明できる。 ・乳児保育に携わる保育者の専門性について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p148～153 を読み、乳児保育における保育者の専門性について自分の考えをまとめておくこと（2時間） 復習：子どもの心身共の成長にかかわる保育者に必要とされるスキルについてまとめる（2時間）
16回目	定期試験 あり		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「講義で学ぶ乳児保育」 わかば社 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	乳幼児の保育に携わるため、日ごろの生活及び受講態度や身だしなみにも十分配慮すること
オフィスアワー	（前期）火曜日の1限目（研究室） （後期）月曜日の1限目（研究室） 授業時間・会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の授業内容を予習し、内容に応じた準備（服装・身なり・資料等）し受講する</li> <li>・ 学習内容の定着化を図るため、必ず予習・復習する</li> <li>・ 専門用語等の意味等を調べておく</li> </ul>

講義科目名称：乳児保育Ⅱ	授業コード：41154 42155
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	1	保育士：必修 卒業：選択	演習
担当教員				
戸田 恵理子				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。</li> <li>2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。</li> <li>3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。</li> <li>4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。</li> </ol>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・豊かな愛情と感性にあふれ、情緒の安定を保ちながら、乳幼児への関わりを持つことができる。	・レポート	10%
確かな専門的知識や技能	・3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの援助について具体的な理解ができる。 ・子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮等について理解できる。	・確認テスト ・レポート	30% 20%
コミュニケーション能力	・乳児保育における複数担当制を理解し、グループ活動においてメンバーと協力しながら積極的に取り組むことができる。	・グループワーク	20%
課題解決能力	・演習を通して、反省・課題点を抽出しながら、改善できる方法・手段を考えることができる。	・レポート	10%
主体的に学ぶ力	・学習内容ごとに課題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる。	・レポート	10%
合計			100%

補足事項	
<p>確認テスト (30 %) グループワーク (20%) 課題レポート (50%) を総合して評価する。            ※レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと</p>	

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	乳児の心や体の育ちを丁寧に理解しようと努めることができる。	・レポート	5%
確かな専門的知識や技能	・保育所や乳児院における乳児保育の現状を理解し、3歳未満時における乳児保育の役割と機能を理解できる。 ・3歳未満児の発育・発達の個人差を理解し、それに応じた知識・技術に基づく援助や関わりができる。	・確認テスト ・定期試験	20% 50%
コミュニケーション能力	グループ活動に積極的に取り組むことができる。	・グループディスカッション	5%
課題解決能力	乳児保育の計画と記録・評価について模擬保育や保育実践の振り返りから課題を明確にできる。 乳児保育の環境づくりについて理解できる。	・レポート ・指導案立案	10% 5%
主体的に学ぶ力	子どもの発達や学びの過程、子育て支援等に関する様々な事柄に常に問題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる。	・レポート	5%
合計			100%

補足事項	
<p>・定期試験 50% 確認テスト 20% 指導案立案 10% グループディスカッション 5% レポート 15% を総合して評価する。            ・レポート提出の際は、Melly 上でデータを提出することも可能</p>	



授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 乳児保育の意義 ・養護と教育が一体となって行われる乳児保育の意義について、事例などを通して説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p14～19 を読み、乳児保育における応答的ななかかわりの重要性についてまとめる（2時間） 復習：事例をもとに説明した内容を整理する（2時間）
2回目	0～3歳までの発育・発達 I ・0～3歳児の各年齢の発達について、具体的な場面（写真・画像）を用いて説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p20～49 を読み、発達一覧表の項目を確認する（2時間） 復習：発達一覧表パワーポイント作成のため必要な資料等を収集する（2時間）
3回目	0～3歳までの発育・発達 II ・0～3歳児の各年齢の発達について、具体的な場面（写真・画像）を用いて説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p20～49 を読み、発達一覧表の項目を確認する（2時間） 復習：発達一覧表パワーポイントを完成しておく（2時間）
4回目	食事の援助と環境 調乳や冷凍母乳の解凍、授乳、離乳食などの保育者の具体的な援助のあり方を説明できる。	面接授業	予習：テキスト p36～49 を読み、調乳の仕方・冷凍母乳についてまとめる（2時間） 復習：調乳の準備・手順についてレポートを作成する（2時間）
5回目	排泄の援助と環境 おむつからパンツへの移行、排泄への自立に向けた保育者の具体的な援助のあり方を説明できる。	面接授業	予習：テキスト p50～59 に目を通しておく（2時間） 復習：おむつ交換の手順についてレポートを作成する（2時間）
6回目	睡眠・休息の援助と環境 子どもの睡眠や休息時の保育者の援助や保育環境などについて説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p60～67 に目を通し、SIDS について復習しておく（2時間） 復習：睡眠時の保育者の援助についてレポートを作成する（2時間）
7回目	着脱に関する援助と環境 子どもの衣服や衣服以外（靴下や靴、帽子など）の着脱への保育者の援助について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p68～79 に目を通し、着脱衣の意義について復習しておく（2時間） 復習：基本的な生活習慣に関する一覧表を作成する（2時間）
8回目	清潔に関する援助と環境 沐浴や清拭、手や顔を拭く洗う、鼻をかむうがい、歯磨きなどの援助について具体的な場面を想定して説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p80～89 を読み保育室で使用する「手の洗いかた」の絵カードのデザインを考える（2時間） 復習：「手の洗いかた」の絵カードの強化・補修を行う（2時間）
9回目	乳児保育における健康と安全 乳児保育での安全対策や事故防止、アレルギーへの対応、園外での遊びの対応、虐待、防災対策の実際について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p95 を読み、保育所における虐待の疑いのサインについて確認しておくこと（2時間） 復習：p91 乳児が起こしやすい事故や症状について確認しておくこと（2時間）
10回目	乳児（0歳児）の保育内容と遊び 乳児（0歳児）の保育内容などについて指針をもとに確認、乳児の遊びについて説明できる。	オンライン等の対応可	予習：テキスト p98～105 を読み、乳児保育の「内容の取扱い」をまとめておく（2時間） 復習：0歳児の遊びの特徴に

			ついて一覧表にまとめる (2時間)
11 回目	1 歳以上 3 歳未満児の保育内容 1 歳児以上 3 歳未満児の保育内容、環境の変化や移行などについて指針をもとに理解する。	オンライン等の対応可	予習: テキスト p106~113 を読み年齢ごとにおける保育者の配慮事項などについて整理しておく (2時間) 復習: p113 演習課題のレポートを作成する (2時間)
12 回目	1 歳以上 3 歳未満児の遊び 1 歳児および 2 歳児の遊びとおもちゃ・遊具などについて説明できる。	オンライン等の対応可	予習: 年齢・発達段階に応じた遊び・おもちゃなどを発達の一覧表へ加筆しておく (2時間) 復習: 発達の一覧表への加筆修正を行う (2時間)
13 回目	乳児保育における計画と評価 I 乳児保育における全体的な計画、長期指導計画、短期指導計画について	オンライン等の対応可	予習: テキスト p120~129 を読み、計画時のポイントと評価の視点を確認する (2時間) 復習: 実習園の全体的な計画から園の保育の特徴についてまとめておく (2時間)
14 回目	乳児保育における計画と評価 II 乳児保育における全体的な計画、長期指導計画、短期指導計画について	オンライン等の対応可	予習: テキスト p120~129 を読み、計画時のポイントと評価の視点を確認する (2時間) 復習: 実習園の全体的な計画から園の保育の特徴についてまとめておく (2時間)
15 回目	乳児保育を支える連携 乳児保育における職員間・家庭・地域との連携について理解する。	オンライン等の対応可	テキスト p130~136 を読み、担任保育者同士の連携や他職種との連携のポイントをまとめておく (2時間) 復習: p136 演習課題のレポートを作成する (2時間)
16 回目	定期試験 なし		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: 「演習で学ぶ乳児保育」 わかば社 参考書: 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	乳児保育 I を履修していること
履修上の注意	・専門用語等の意味等を調べておく
オフィスアワー	(前期) 火曜日の 1 限目 (研究室) (後期) 月曜日の 1 限目 (研究室) 授業時間・会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	・次回の授業内容を予習し、内容に応じた準備 (服装・身なり・資料等) し受講する ・学習内容の定着化を図るため、必ず予習・復習する ・専門用語等の意味等を調べておく

講義科目名称：特別支援教育概論	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2 学年	2	選択	演習
担当教員				
藤野 正和				

授業概要	<p>この授業では、障害のある子どもおよび保育における気になる子どもについて専門的な知識と理解、援助の方法について身につけていきます。また、障害のある子どもの保護者に対する理解と支援や、障害のある子どもを取り巻く医療・保健・福祉・教育のつながりについても取り扱っていきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。</p> <p>①障害児の教育や保育についての基本的な理念を説明できる。</p> <p>②障害のある子どもについての専門的な知識および援助方法を説明できる。</p> <p>③障害のある子どもの活動および環境構成について計画・記録・評価できる。</p> <p>④障害のある子どもとその保護者に対して積極的な関心を向けることができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児の教育や保育についての基本的な理念を説明できる</li> <li>障害のある子どもについての専門的な知識および援助方法を説明できる</li> </ul>	定期試験	60
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のある子どもの活動および環境構成について計画・記録・評価できる</li> </ul>	課題・レポート	30
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のある子どもに対して積極的な関心を向けることができる</li> </ul>	態度・積極性	10
合計			100%
補足事項			

--

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	障害児保育・特別支援教育とは	障害児の教育・保育における基本的な理念について説明する	予習：教科書 P12-22 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
2回目	障害児保育・特別支援教育の基本	発達の見方と発達のアセスメントについて説明する	予習：教科書 P23-39 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
3回目	障害の理解と保育 1	知的障害の理解と保育について説明する	予習：教科書 P40-50 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
4回目	障害の理解と保育 2	肢体不自由/重症心身障害の理解と保育について説明する	予習：教科書 P51-59 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する予習：
5回目	障害の理解と保育 3	聴覚障害/視覚障害の理解と保育について説明する	予習：教科書 P60-70 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
6回目	障害の理解と保育 4	言語障害の理解と保育について説明する	予習：教科書 P71-76 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
7回目	障害の理解と保育 5	気になる子ども/自閉症スペクトラム障害の理解と保育について説明する	予習：教科書 P77-95 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
8回目	障害の理解と保育 6	学習障害/注意欠如・多動性障害の理解と保育について説明する	教科書 P96-105 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する

9回目	多様な支援を必要とする子どもの理解と保育1	心理的な困難さを抱える子どもの理解と保育について説明する	予習：参考資料を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
10回目	多様な支援を必要とする子どもの理解と保育2	外国につながる子ども/子どもの貧困/子どもの虐待の理解と保育について説明する	予習：教科書 P106-115 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
11回目	障害児保育・特別支援教育の実際	子ども理解にもとづく計画・記録・評価について説明する 子どもの発達をうながす生活やあそびの環境について説明する	予習：教科書 P116-167 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
12回目	障害児保育・特別支援教育の実際	子ども理解にもとづく計画・記録・評価について説明する 子どもの発達をうながす生活やあそびの環境について説明する	予習：教科書 P116-167 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
13回目	家庭および関係機関との連携	保護者支援（障害のある子どもの保護者及び心理的な問題を抱える保護者）と家庭・関係機関との連携について説明する	予習：教科書 P168-207 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
14回目	障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題	医療・保健・福祉・教育における現状と課題について説明する	予習：教科書 P208-221 を通読しておく 復習：授業で配られた課題・レポートを作成する
15回目	授業全体の総括	授業全体を総括するとともに、定期試験の内容等についても説明する	予習：授業で配られた資料を整理しておく 復習：授業で配られた資料をふりかえる
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解
教科書・参考書	教科書：実践に生かす 障害児保育・特別支援教育 前田 泰弘（編著） 萌文書林
履修条件	

履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合はそれ相応の対応を行います。

講義科目名称：社会的養護Ⅱ	授業コード：13154、14155
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択（資格必修）	講義
担当教員				
西 司				

授業概要	社会的養護方法など基本的な内容について理解し、社会的養護のもとで生活する子どもの保育者として必要な知識、考え方を養う。①子どもの権利擁護の基本を理解し、支援方法の具体的方法・考え方を理解する。②施設養護と家庭養護の生活特性を理解し、支援のあり方について考える力を養う。③保育士として社会的養護施設で働く意義、地域とのかかわりの重要性を理解し、「新しい社会的養育ビジョン」に基づいて、今後の社会的養護の課題と方向性について考える力を養う。この3つを基本柱とした授業を進める。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	施設養護における心のケアとは何かについて理解できる。	小テスト	5%
確かな専門的知識 や技能	社会的養護におけるソーシャルワークの視点・実践力をつける学びの方法を理解できる。	小テスト 定期試験	5% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	与えられた課題に対して、学習したことが活かされ、適切に対応することができる。	課題レポート	20%
主体的に学ぶ力	聴く意識・意見発表・質問等積極的な学習ができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

#### 補足事項

本授業では、定期試験 60%、レポート 20 パーセント、小テスト 10 パーセント、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	講義のポイントと進め方について	対面授業	
2 回目	社会的養護の基本原則、現状と課題の大筋を	対面授業	予習：配布資料を読む

	理解させ、学習目的を共有する。		以下予習は毎回同様
3回目	子どもの権利擁護の基本を理解する	対面授業	復習：子どもの権利養
4回目	子どもの権利擁護を図る取組みと支援の理解	対面授業	護について振返る
5回目	社会的養護の下で生活する子どもの特徴を理解し、支援する際の留意点を考える。	対面授業	復習：子どもの理解の仕方について振返る
6回目	日常生活支援の必要性について理解する。	対面授業	復習：日常生活支援はなぜ必要か振返る
7回目	社会的養護の子どもの自立について考える。	対面授業	復習：日常生活支援はなぜ必要か振返る
8回目	前半のまとめ講義と小テスト	対面授業	前半講義の振返り
9回目	家庭養護と施設養護のメリット・デメリットを理解する。養育里親について理解する。	対面授業	復習：施設・家庭養護の違いを振返る
10回目	施設内での子どもの行動上の問題等について保育士はどう対応したらよいかを考える	対面授業	復習：専門性とは何かについて振返る
11回目	ソーシャルワーク（S・W）の視点を学ぶ。	対面授業	復習：S・Wにおける支援について振返る
12回目	これからの社会的養護としての家庭支援のあり方について理解を深める。	対面授業	復習：家庭支援とはどういうことか振返る
13回目	「新しい社会的養護のビジョン」に基づいて、今後の社会的養護の課題と方向性を考えることができる。	対面授業	復習：新ビジョンに基づく取り組みについて考える。
14回目	後半のまとめ講義と小テスト	対面授業	後半講義の振返り
15回目	全体まとめ講義と課題レポート	対面授業	
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	社会的養護Ⅱ 中央法規出版、別途資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	指定された座席で受講すること。
オフィスアワー	授業の前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	授業は毎回 PowerPoint を使って、配布資料により進めます。 社会的養護に関する社会の情勢等に関心をもって、学校で学んだこととの関連性をしっかり考えてほしい。



講義科目名称：子育て支援	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
前田 聖悟				

授業概要	<p>授業では、以下の事項を踏まえ、保育相談支援を担う保育者に求められる専門的な知識や技能を様々な演習を通して習得することを目標とする。</p> <p>①保護者に対する相談・助言、情報提供等の支援について、その専門的な特性と展開について具体的に理解する。</p> <p>②保育士の行う子育て支援について、様々な場面や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。</p> <p>③子育て支援における保育者の役割を認識し、子育てに関する諸問題の社会的背景について理解し考察できる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子育て支援に必要な保護者への基本的な態度・姿勢を身につけている。	レポート	10%
確かな専門的知識や技能	子育て支援に必要な知識・技術について理解を深め、説明することができる。	定期試験	60%
コミュニケーション能力	保育における連携と協働の意義について理解し、自ら実践することができる。	事例検討	5%
課題解決能力	事例分析等を用いて子育て支援の具体的な展開について理解を深めることができる。	事例検討 レポート	10% 10%
主体的に学ぶ力	保育者として社会生活上の諸問題に関心を高め、積極的な学習ができる。	態度・積極性	5%
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では定期試験 60%、レポート 20%、事例検討 15%、態度・積極性 5%の割合で評価する。
- ・本授業のレポートは授業終了後、もしくは授業終了後 17:00 までに提出することとする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 授業の概要、ねらいと進め方について、支援・援助について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：シラバスを熟読し授業概要を理解しておく (0.5 時間) 復習：授業を振り返り重要事項をまとめる (0.5 時間)
2 回目	「保育における子育て支援とは」 なぜ保育所に子育て支援が必要になったのか、その背景について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：昔の子育て環境について調べておく (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
3 回目	「多様な保育ニーズと保護者支援」 社会情勢の変化に伴う保育ニーズの多様化について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：現代の保育に関連する社会情勢について調べておく (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
4 回目	「保護者を理解するとは」 保護者の思いに気づき、養育者としての成長を支える保育者の役割について、リフレーミングについて説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：リフレーミングについて予備学習をしておく (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
5 回目	「保護者を理解するとは」 保護者面談のロールプレイを通して様々な視点から考察を行う	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：ロールプレイの設定を事前学習しておく (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
6 回目	「子育て支援における多職種連携」 社会資源・地域資源の活用と関係機関との連携・協力について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：保育における関係機関とは何か事前学習を行う (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
7 回目	「園内でのトラブルについて①」 園内で起こったトラブルについて原因と対応を考察する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：自身の幼少期を振り返り、園でのトラブルを想定する (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料

			をふりかえる (0.5 時間)
8 回目	「園内でのトラブルについて②」 園内で起こったトラブルについて原因と対応を考察する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：自身の幼少期を振り返り、園でのトラブルを想定する (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
9 回目	「障がいを抱えた子どもと家庭への支援について①」 インクルージョンや合理的配慮について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：障がいの種別や特性についての事前学習(0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
10 回目	「障がいを抱えた子どもと家庭への支援について②」 事例検討を通して障がいをもった子どもと家庭への支援について考察する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：障がいの種別や特性についての事前学習(0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
11 回目	「障がいを抱えた子どもと家庭への支援について③」 事例検討を通して障がいをもった子どもと家庭への支援について考察する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：障がいの種別や特性についての事前学習(0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
12 回目	「障がいを抱えた子どもと家庭への支援について④」 事例検討を通して障がいをもった子どもと家庭への支援について考察する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：障がいの種別や特性についての事前学習(0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
13 回目	「外国籍家庭への支援」 日本の国際化と在日外国人の推移について。保育現場の多文化化について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：身近な在日外国人に目を向け、その実態について調べる (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
14 回目	「虐待対応の基本的視点」 児童虐待の定義や虐待の種別、虐待発見に向けた具体的対応について説明する	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：虐待に関するニュースなどを調べる (0.5 時間) 復習：授業で配布した資料をふりかえる (0.5 時間)
15 回目	「授業の振り返りとまとめ」 これまでの授業内容についての総括とレポート作成を行う。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：これまでの学習内容をまとめておく (0.5 時間) 復習：重要な箇所について

		ある	学習を行う（0.5時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	配布資料：必要に応じ配布します 参考書：「学ぶ・わかる・みえる 演習・保育と保護者への支援」 小原敏郎他 みらい 「子育て支援」 小橋明子他 中山書店
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること（座の移動を希望する場合はご相談下さい）
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します
備考・メッセージ	子育てを取り巻く多様な事象に目を向け、興味・関心をもって授業に臨むこと。

講義科目名称：保育相談	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位		講義
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>現代の日本では、都市化による地域の変化、女性の社会進出に伴う家族の在り方の変化、核家族や少子化など保育をとりまく社会環境は大きく変わり、「子育て支援」への関心が高まっている。保育者はそのような社会背景を理解し、子ども理解と子育てに関わる親への支援、地域との連携、保育者のメンタルヘルスなどについて学んでいく必要がある。本講義では保育者の資質として必要な教育相談（カウンセリングマインド）の必要性について理解し、保育実践の今日的課題に向き合うための基本的知識、子育てに関する教育相談（カウンセリング）理論・技法・応用について学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育、教育相談の意義を理解し、幼児理解と支援、カウンセリングマインドの重要性について説明できる</li> <li>・カウンセリングマインドを用いた子どもの理解と支援を言語化できる</li> </ul>	ケースシートの提出	50%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場で必要とする協働する態度をもち、課題に取り組む意欲を維持できる</li> </ul>	授業後の課題提出	20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングマインドを用いた子どもの課題理解と保育者の役割について考え、適切な解決方法を述べることができる</li> </ul>	ケースシートの提出	20%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見を参考に自分の考えを再構築（修正・追加）することができる</li> </ul>	授業への参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・ 奇数回（1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15）に当たる授業は対面授業、偶数回（2, 4, 6, 8, 10, 12, 14）にあたる授業はオンデマンド配信授業とする。（変更する場合がある）
- ・ 授業に関する質問は直接または Melly で受け付け、以降の授業回または Melly で回答する。
- ・ Melly にて配信されたオンデマンド音声授業は履修者が必要な際に復習できる。
- ・ 評価は、課題シート 5 枚の提出 70%、コメントに対するフィードバック 10%、授業内課題の提出 30%とする。
- ・ 課題シートは 授業内回収とし、当日の 17 時まで受け付ける。（Melly にて提出の場合は写真で提出）
- ・ オンデマンド配信された内容は、履修者が復習できるよう閲覧可能な形態とする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の目的、進め方、評価について説明 保育・教育相談、カウンセリングマインドとは何か（第1章）	対面授業	予習：教科書 pp. 10～17 （2時間） 復習：カウンセリングマインドの定義をまとめる（1時間）
2 回目	発達理解と相談・支援 保育・教育相談を行うための発達理解（第2章）	オンデマンド配信	予習：発達段階の整理（1時間） 復習：教科書 pp. 18-31 の内容をまとめる（2時間）
3 回目	親子の関係づくり 保護者への対応ー子育て支援の視点から（第3章）	対面授業	予習：教科書 pp. 32-46 の用語を調べる（2時間） 復習：教科書 pp162-177（2時間）
4 回目	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ（第5章）	オンデマンド配信	予習：誰かに話を聞いてもらいたいと思う時のエピソードを振り返ってノートに記入する（1時間） 復習：教科書 pp. 61-71 の内容をまとめる（2時間）
5 回目	仲間同士のいざこざの理解と対応 カウンセリングマインド 事例A ケースシートの書き方・シート①提出	対面授業	予習：誰かに話を聞いてもらえた時の感情を振り返る（1時間） 復習：ケースシートの仕上

			げ、教科書 pp. 72-85 の内容をまとめる（3時間）
6回目	仲間同士のいざこざ FB	オンデマンド 配信	予習：子どもの頃のケンカについて振り返りノートにまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・教科書 pp. 110-124 の内容をまとめる（3時間）
7回目	仲間に入れない子の理解とタイプ カウンセリングマインド 事例B ケースシート②の提出	対面授業	予習：教科書 130-133 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ・教科書 pp. 99-109 の内容をまとめる（3時間）
8回目	仲間に入れない子 FB カウンセリングマインドとは 「万引きと過食」	オンデマンド 配信	予習：教科書 130-133 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・教科書 pp. 126-129 の内容をまとめる（3時間）
9回目	すぐに暴力を振るう子どもの理解 カウンセリングマインド 事例C ケースシート③の提出	対面授業	予習：教科書 134-137 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げる（3時間）
10回目	すぐに暴力を振るう子ども FB 「保護者との信頼関係、立場の違い」	オンデマンド 配信	予習：教科書 134-137 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
11回目	不登園の子ども理解 システムアプローチ 事例理解D ケースシート④提出	対面授業	予習：教科書 138-141 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げる（3時間）
12回目	不登園の子ども FB 「子どもを褒める時と叱る時の配慮」	オンデマンド 配信	予習：教科書 138-141 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
13回目	文化の違いをもつ子の理解	対面授業	予習：教科書 158-161 を

	「保育環境への働きかけ」事例理解E ケースシート⑤提出		まとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ （3時間）
14回目	「文化の違いをもつ子」FB 保育学生の異文化体験インタビュー	オンデマンド 配信	予習：教科書 158-161 を まとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・ 内容をまとめる（3時間）
15回目	授業のまとめ 保育者の専門性	対面授業	予習：これまでのケースシ ート内容と対応を整理する （2時間） 復習：点数の低かったケー スシートについてオンデマ ンド配信で振り返る（5時 間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	小田豊・秋田喜代美 編『子どもの理解と保育・教育相談』（株）みらい 2014 第
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で Melly、教室、研究室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	メリーにて課題提出を求めます。授業についてのあなたの意見、疑問、授業内容についての新たな理解、授業への要望などを書いてください。 次回の授業で扱います。



講義科目名称：総合保育技術 I	授業コード：212113
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	1	選択	演習
担当教員				
友廣憲子 戸田恵理子 前田聖悟				

授業概要	<p>①幼稚園教育要領に示されたねらいや内容を踏まえ、表現方法を学ぶ。</p> <p>②幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえ、様々な表現方法を理解する。</p> <p>③表現技術を学び理解することにより、幼児との主体的・対話的な関り方を学ぶ。</p> <p>④表現あそびの指導法と援助方法を理解する。</p> <p>⑤グループでの活動を通し、協働的な学びから多様な考えを身に付ける。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・豊かな感性を持ち、子どもと関わりを持つことができる。	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	・対象の子どもの年齢に応じた活動を考案し実践に向けた知識と技術を身に付けることができる。 ・附属幼稚園内での発表、音楽と動きのひろばで発表を行うことができる。	活動計画案提出  発表	20%  20% 20%
コミュニケーション能力	他の人の意見を傾聴し協力して制作することができる。	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	様々な問題を解決できる能力や方法を身に付けることができる。	授業への参加・態度	10%
主体的に学ぶ力	積極的に活動に取り組むことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の概要を説明する 前回の「音楽と動きのひろば」の映像を見せながら説明する。	面接授業	予習:配布資料を読んでおくこと(0.5時間) 復習:授業で学んだ事をまとめておく(0.5時間)
2回目	「テーマ決め」 各グループを発表し、活動計画をたてさせる	面接授業	予習:必要な用具を準備する。(0.5時間) 復習:授業で学んだ事をまとめておく(0.5時間)
3回目	「活動の係り分担を決め」 活動の係り分担を決め、芝居の流れや方法について理解する。	面接授業	予習:必要な用具を準備する。(0.5時間) 復習:授業で学んだ事をまとめておく(0.5時間)
4回目	「キャスト決め」 芝居の流れや方法を確認し、キャストを決めていく。	面接授業	予習:子どもの発達について調べておく。 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
5回目	「グループ活動」 流れに沿って台本を読み合わせする。	面接授業	予習:子どもの発達について調べておく。 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
6回目	「グループ活動」 大道具制作を行う。	面接授業	予習:子どもの発達について調べておく。 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
7回目	「グループ活動」 役割について確認しながら、発表に向けて練習していく。	面接授業	予習:観察実習振り返りシートを見直す(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
8回目	「グループ活動」 小道具を制作していく。	面接授業	予習:観察実習振り返りシートを見直す(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
9回目	「グループ活動」 発表に向け通し練習を行っていく。	面接授業	予習:観察実習振り返りシートを見直す(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
10回目	「グループ活動」	面接授業	予習:観察実習振り返りシ

	発表に向け通し練習を行っていく。		ートを見直す(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
11回目	「グループ活動」 発表に向け通し練習を行っていく。	面接授業	予習:実践に向けて準備を行う0.5時間 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
12回目	「発表」 保育現場での発表を通し表現力をつける。	面接授業	予習:実践に向けて準備を行う0.5時間 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
13回目	「グループ活動」 発表の振り返りを行い、活動を再開していく。	面接授業	予習:実践に向けて準備を行う0.5時間 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
14回目	「グループ活動」 発表に向け通し練習を行っていく。	面接授業	予習:実践に向けて準備を行う0.5時間 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
15回目	「発表」 音楽と動きのひろばでの発表を体験する。	面接授業	予習:実践に向けて準備を行う0.5時間 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:必要に応じて資料を配布 参考書:幼稚園教育要領 保育所保育指針 認定こども園教育保育要領
履修条件	
履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講する
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合保育技術Ⅲ a	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
通年	2年	1	選択	演習
担当教員				
石多加代子				

授業概要	オペレッタ制作を通して①歌唱技術を習得する。②振り付けを考える。③グループで話し合い創作や制作をする。④集いに向けて計画的に取り組む⑤発表を通して表現活動を体感する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	様々な人間関係の中で1つの作品を作り上げ、乗り切ることにより、協調性、忍耐力、達成感を感じる	集いへの参加	80%
確かな専門的知識や技能	基礎練習で、技術を磨く。	授業への参加態度	10%
コミュニケーション能力	グループ練習で、動きや振り付けなど話し合いながら作ってゆくことができる。	グループ練習	10%
課題解決能力	お互いが知恵や経験、自分の特技を出し合う事により、様々な問題を解決することができる。		
主体的に学ぶ力	自分の役割分担を責任と創造力を駆使いてついでいける。		
合計			100%
補足事項			
コロナの状態次第ですが、あらかじめ用意した音源を使って自主練習をし、ラインを使って歌をチェックすることはできるかもしれません。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	前年度作品鑑賞、説明会	面接授業	作品探し
2回目	発声練習、演目選定、パート分け 伴奏者決定。	面接授業	台本作成案を練る
3回目	発声練習、台本作成、音取り練習	面接授業	自分のパートの復習
4回目	発声練習、音取り練習	面接授業	自分のパートの復習
5回目	発声練習、音取り練習	面接授業	自分のパートの復習 オーディションへの準備
6回目	発声練習、音取り練習、オーディショ ン	面接授業	自分の役の確認と復習
7回目	発声練習、台本に沿って読み、歌い、 流れをつかむ	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
8回目	発声練習、それぞれのグループで自主 練習(振り付け、動き含む)	面接授業	自主練習 各自振り付けを考える
9回目	発声練習、それぞれのグループで自主 練習	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
10回目	発声練習、それぞれのグループで自主 練習	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
11回目	発声練習、部分通しけいこ①	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
12回目	発声練習、部分通しけいこ①	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
13回目	発声練習、部分通しけいこ①	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
14回目	通しけいこ 役割分担と話し合い	面接授業	制作物を考える
15回目	通しけいこ 役割分担と話し合い	面接授業	制作物を具体的に考える

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	プリントで対応
履修条件	
履修上の注意	マスク着用
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合保育技術IV a	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1	選択	演習
担当教員				
石多加代子				

授業概要	オペレッタ制作を通して①歌唱技術を習得する。②振り付けを考える。③グループで話し合い創作や制作をする。④集いに向けて計画的に取り組む⑤発表を通して表現活動や達成感を体感する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	様々な人間関係の中で1つの作品を作り上げ、乗り切ることにより、協調性、忍耐力、達成感を感じる	集いへの参加	80%
確かな専門的知識や技能	基礎練習で、技術を磨く。	授業への参加態度	10%
コミュニケーション能力	グループ練習で、動きや振り付けなど話し合いながら作ってゆくことができる。	グループ練習	10%
課題解決能力	お互いが知恵や経験、自分の特技を出し合う事により、様々な問題を解決することができる。		
主体的に学ぶ力	自分の役割分担を責任と創造力を駆使いてつこうできる。		
合計			100%
補足事項			
コロナの状況次第ですが、あらかじめ用意した音源を使って自主練習をし、ラインを使って歌をチェックすることはできるかもしれません。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	前期の復習（音楽稽古、立ち稽古）	面接授業	全体の復習
2回目	部分稽古、制作①	面接授業	自主練、

3回目	制作②	面接授業	自主練、制作
4回目	部分稽古、制作③	面接授業	自主練、制作
5回目	制作④	面接授業	自主練、制作
6回目	部分稽古、制作⑤	面接授業	自主練、制作
7回目	制作⑥	面接授業	自主練、制作
8回目	部分稽古、制作⑥	面接授業	自主練、制作
9回目	部分稽古、制作⑦	面接授業	自主練、制作
10回目	通し稽古	面接授業	自主練習、制作
11回目	通し稽古	面接授業	自主練習、不具合の調整
12回目	衣装、道具を使っての練習	面接授業	自主練習、不具合の調整
13回目	衣装、道具を使っての練習	面接授業	自主練習、不具合の調整
14回目	リハーサル、集い発表	面接授業	制作物を具体的に考える
15回目	振り返り	面接授業	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	プリントで対応
履修条件	
履修上の注意	マスク着用
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合保育技術Ⅲ b	授業コード：54154
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	1	選択	演習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本演習では、身体表現に必要なダンスの基礎を学び、自分にふさわしい表現方法で、「音楽と動きのつどい」に参加できることをねらいとしている。</p> <p>本演習では、①基本的なダンステクニックを学ぶ、②多様なダンスの表現方法を学ぶ、③ダンス創作方法を学ぶ、④ダンスの創作活動を通してコミュニケーションについて学ぶ、ことを目標にする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスを通して身体をコントロールする楽しさが分かる</li> <li>・ダンスを通して身体で表現することの楽しさが分かる</li> <li>・ダンスを通して人と交流する楽しさが分かる</li> </ul>	作品発表会	10%
確かな専門的知識や技能	・子どもにダンスを教えるために必要な知識と技術が分かる	レポート	10%
コミュニケーション能力	ダンスが人に伝える手段であることが分かる	グループディスカッション	20%
課題解決能力	ダンス技術習得過程や創作活動中の問題などに対してどのように対処したら良いか考えて取り組むことができる	課題作品 創作作品	15% 15%
主体的に学ぶ力	ダンス技術やダンス作品をよりよくしようと積極的に取り組むことができる	授業への参加・態度	30%
合計			100%
補足事項			
<p>課題作品、創作作品、グループディスカッション、作品発表会、レポート、授業への参加・態度を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Melly で個別に対応もおこなう。</p>			



授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	過年度作品の鑑賞 授業 (a、b、cの選択)	面接授業	予習：シラバス及び参考図書などを読む (0.5h) 復習：自分の選択したコースの活動を調べる (0.5h)
2回目	子どもと一緒に踊ることができるダンスを踊り、その特徴を考える。	面接授業	予習：子どもと踊れるダンスを調べる (0.5h) 復習：子どもと一緒に踊れるダンスの特徴をまとめる (0.5h)
3回目	課題の動きを覚える (0秒～40秒) 動きの力性について学ぶ	面接授業	予習：子どもと踊れるダンスを練習する (0.5h) 復習：動きの力性についてまとめる (0.5h)
4回目	課題の動きを覚える (40秒～1分20秒) 動きの時間性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5h) 復習：動きの時間性についてまとめる (0.5h)
5回目	課題の動きを覚える (1分20秒～2分00秒) 動きの空間性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5h) 復習：動きの空間性についてまとめる (0.5h)
6回目	課題の動きを覚える (2分00秒～2分40秒) 動きの関係性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5h) 復習：動きの関係性についてまとめる (0.5h)
7回目	課題の動きを覚える (2分40秒～3分20秒) ダイナミックな動きについて	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5h) 復習：ダイナミックな動きについてまとめる (0.5h)
8回目	課題の動きを覚える (3分20秒～4分00分) メリハリのある動きについて	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5h) 復習：メリハリのある動きについてまとめる (0.5h)
9回目	グループ決めと作品の選択	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5h) 復習：いろいろなダンス作品を鑑賞する (0.5h)
10回目	テーマ決めと作品の構想	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、作品の構想を調べる (0.5h) 復習：作品の構想をまとめる (0.5h)
11回目	主題となる動きやイメージの抽出	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、動きやイメージについて調べる

			(0.5h) 復習：動きやイメージについてまとめる (0.5h)
12 回目	効果的な音の選択・編集	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、効果的な音について調べる (0.5h) 復習：効果的な音についてまとめる (0.5h)
13 回目	ひとながれの動きづくり	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、モチーフとなる動きについて調べる (0.5h) 復習：モチーフとなった動きをまとめる (0.5h)
14 回目	ひとまとまりの動きづくり	面接授業	予習：いろいろなダンスを鑑賞し、連続した動きについて調べる (0.5h) 復習：連続した動きをまとめる (0.5h)
15 回目	作品の見せあい 意見交流会	面接授業	予習：創作作品、課題作品の練習 (0.5h) 復習：自分の意見をレポートにまとめる (0.5h)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じてプリントを配布する 参考書：水村真由美（著）『ダンスのかがく』、昭和システム、2013
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	円滑なグループ活動を進められるよう、協力的な態度で臨むこと

講義科目名称：総合保育技術IV b	授業コード：44253
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2	1	選択	演習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本演習では、身体表現に必要なダンスの基礎を学び、自分にふさわしい表現方法で、「音楽と動きのつどい」に参加できることをねらいとしている。</p> <p>本演習では、①基本的なダンステクニックを習得する、②多様なダンスの表現方法を習得する、③ダンス創作方法を習得する、④ダンスの創作活動を通してコミュニケーション能力を習得することを目標にする</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスを通して身体をコントロールすることができる</li> <li>・ダンスを通して身体で表現することができる</li> <li>・ダンスを通して人と交流することができる</li> </ul>	作品発表会	10%
確かな専門的知識や技能	・子どもにダンスを教えるために必要な知識と技術が習得できる	成果レポート	10%
コミュニケーション能力	自分の思いや考えを身体で表現することができる	グループディスカッション	20%
課題解決能力	ダンス技術習得過程や創作活動中の問題などに対してどのように対処すべきか考えて取り組むことができる。	課題作品 創作作品	15% 15%
主体的に学ぶ力	ダンス技術やダンス作品をよりよくしようと積極的に取り組むことができる	授業への参加・態度	30%
合計			100%
補足事項			
<p>課題作品、創作作品、グループディスカッション、作品発表会、レポート、授業への参加・態度を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Melly で個別に対応もおこなう。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	創作作品前半の動き決め	面接授業	予習：前期の内容を復習する (0.5h) 復習：前半の動きをまとめる (0.5h)
2回目	創作作品後半の動き決め	面接授業	予習：前半の動きを練習する (0.5h) 復習：後半の動きをまとめる (0.5h)
3回目	創作作品前半の動き通し練習	面接授業	予習：前半の動きを練習する (0.5h) 復習：前半の動きを踊り込む (0.5h)
4回目	創作作品後半の動き通し練習	面接授業	予習：後半の動きを練習する (0.5h) 復習：後半の動きを踊り込む (0.5h)
5回目	課題作品前半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5h) 復習：課題作品前半の構成をまとめる (0.5h)
6回目	創作作品前半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5h) 復習：創作作品前半の構成をまとめる (0.5h)
7回目	課題作品後半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5h) 復習：課題作品の後半の構成をまとめる (0.5h)
8回目	創作作品後半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5h) 復習：創作品の後半の構成をまとめる (0.5h)
9回目	課題作品の通し練習	面接授業	予習：課題作品を練習する (0.5h) 復習：課題作品を復習する (0.5h)
10回目	創作作品の通し練習	面接授業	予習：創作作品を練習する (0.5h) 復習：創作作品を復習する (0.5h)
11回目	衣装製作	面接授業	予習：衣装のデザインを考える (0.5h) 復習：衣装を完成させる (0.5h)
12回目	小道具制作	面接授業	予習：小道具のデザインを考える (0.5h) 復習：小道具を完成させる (0.5h)
13回目	作品の演出 (音響・照明など)	面接授業	予習：いろいろな作品を鑑賞し、音響や照明について調べる (0.5h) 復習：音響案、照明案をまとめる (0.5h)
14回目	完成発表	面接授業	予習：舞台発表に必要なものを準備す

			る (0.5h) 復習：準備物の見直し、踊りの復習を行う (0.5h)
15 回目	つどいの反省と総括	面接授業	予習：つどいの映像等を見て自分の意見をまとめる (0.5h) 復習：成果レポートを作成する (2h)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じてプリントを配布する 参考書：水村真由美（著）『ダンスのかがく』、昭和システム、2013
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	円滑なグループ活動を進められるよう、積極的な態度で臨むこと

講義科目名称：総合保育技術Ⅲ c	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	選択	実技
担当教員				
藤澤 明日菜				

授業概要	音楽の基礎的理論を学び、確かな読譜力と表現力を習得する。また楽器の実技指導により幼児教育において必要となるコミュニケーション方法や表現力を身に付ける。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・楽器の演奏力を身に付けることで、言葉では表現できない心を表現できる。	・実技演奏(合奏)	25%
確かな専門的知識や技能	・各楽器の仕組みを理解し、演奏技術を向上させる。 ・読譜に於いて必要な専門用語を理解できる。	・実技演奏(個人練習)	25%
コミュニケーション能力	・必要に応じ各楽器ごとのセクション練習や合奏箇所を話し合い、遂行できる。	・グループディスカッション	25%
課題解決能力	・合奏や個人練習等の際に生じた不足点を分析し、改善できる。	・実技演奏(セクション練習)	20%
主体的に学ぶ力	・器楽に於ける専門的知識を理解し、積極的に学ぶことができる。	・授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項	
・本授業では、実技演奏 70%、グループディスカッション 25%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の流れや使用する楽器の説明。	各楽器の名称を覚える。
2回目	楽器体験	実際に様々な楽器に触れ、各担当楽器を決定する。	各楽器の名称を覚え、演奏方法を調べる。
3回目	楽器の仕組み	各担当楽器の仕組みやメンテナンスの方法について学ぶ。	各楽器に必要なメンテナンス用品の確認・楽器の構造について調べる。
4回目	個人練習 (音だし)	各担当楽器を個人で練習し、音を鳴らせるようにする。	音の出る仕組みについて調べ、個人で練習する。
5回目	個人練習 (運指等の確認)	各担当楽器の基礎練習に必要な運指や演奏方法について学ぶ。	各楽器の演奏可能音域や運指表を調べ、運指等を確認する。
6回目	基礎練習 (音階 B♭-Major)	基礎合奏の基本となる B♭-Major の音階を覚える。	音階における運指の確認・復習する。
7回目	基礎練習 (アーティキュレーション)	器楽演奏に於いて必要な演奏技術であるアーティキュレーション(スラー・タンギング等)の演奏方法を覚える。	アーティキュレーションの種類を調べ、種類毎の奏法を復習する。
8回目	基礎合奏 (スラー・タンギングを用いての音階練習)	前回で学んだ音階・アーティキュレーションの確認を全体合奏で行う。また、合奏時の各楽器の配置場所について学ぶ。	音階とアーティキュレーションの奏法を再確認し、復習する。
9回目	基礎練習 (譜読み)	話し合いにより決定した楽曲の譜読みをし、演奏する。	楽曲の参考音源を聴いておく。
10回目	基礎練習 (音楽表現記号)	楽譜に記載されている音楽表現・強弱記号について学び、それを演奏で実践する。	演奏楽曲に記載されている音楽表現・強弱記号について調べておく。
11回目	基礎合奏 (ハーモニー)	前回学んだ音楽表現・強弱記号を用い、ハーモニーのバランスについて学ぶ。	長調・短調のハーモニーの取り方を復習する。
12回目	合奏練習 (基礎と楽曲)	基礎合奏で各個人の演奏技術を向上させ、楽曲の合奏で応用する。	基礎合奏の内容確認・合奏曲を復習する。
13回目	パート・セクション練習	楽曲のスコアを読み、同じセクションやパート毎に分かれて練習に取り組む。	各パート毎に配布するスコアをパート内で読んでおく。
14回目	合奏練習 (楽曲の分析)	楽曲を演奏するにあたり、自分がどの役割(旋律・伴奏等)を担当しているのかを把握し、フレージングを理解する。	各役割毎に打ち合わせ・練習をする。
15回目	合奏練習	基礎・楽曲の合奏や後期の課題の確認。	

--	--	--	--

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	楽器使用前後のメンテナンスや取扱に十分配慮すること
オフィスアワー	授業前後に対応可能
備考・メッセージ	



講義科目名称：総合保育技術IV c	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	選択	実技
担当教員				
藤澤 明日菜				

授業概要	総合保育技術III cで学んだ基礎知識と演奏技術をもとに、更に楽器を用いての表現方法のレパートリーを増やし、保育現場での指導力や表現力を身に付けることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・総合保育技術III cで習得した楽器の演奏力をより向上させ、演奏により自己表現ができる。	・実技演奏(合奏) ・成果発表(つどい)	15% 50%
確かな専門的知識や技能	・読譜に於いて必要な専門用語を理解し、応用できる。	・実技演奏(個人練習)	10%
コミュニケーション能力	・必要に応じ各楽器ごとのセッション練習や合奏箇所を話し合い、練習の効率化ができる。	・グループディスカッション	10%
課題解決能力	・合奏や個人練習等の際に生じた不足点を分析し、対策と改善ができる。	・実技演奏(セッション練習)	10%
主体的に学ぶ力	・器楽に於ける専門的知識を理解し、積極的に学ぶことができる。	・授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項	
・本授業では、成果発表 50%、実技演奏 45%、グループディスカッション 10%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	基礎練習 (音階・半音階)	運指や呼吸法の確認を行い、演奏技術をさらに向上させる。	各楽器毎に運指の確認をしておく。
2回目	基礎合奏 (音階・半音階)	合奏時に指定の速さで音階・半音階を演奏し、楽曲の演奏に応用する。	指定した速さで音階・半音階の練習をしておく。
3回目	パート練習	各楽器毎に分かれて、楽曲の練習(リズム・ハーモニー等の確認)。	各楽器毎に練習箇所を話し合っておく。
4回目	セクション練習	各セクション毎に分かれて、楽曲の練習(リズム・ハーモニー等の確認)。	各楽器毎のリーダー同士で打ち合わせをしておく。
5回目	合奏練習	演奏楽曲のテーマや構成を再確認し、演奏する。	練習箇所の確認をし、復習する。
6回目	合奏練習 (演出)	成果発表時の演出を話し合い、演奏楽曲の構成と組み合わせていく。	各係の担当毎に打ち合わせをする。
7回目	合奏練習 (楽曲)	合奏時に周囲の楽器の演奏を聴くことで各個人の役割を再確認し、演奏の表現力を高める。	楽曲の譜読みをしておき、合奏時の不足点を復習する。
8回目	セクション練習 (楽曲)	前回の合奏時の気付きをまとめ、セクション毎に練習をする。	各楽器毎のリーダー同士で打ち合わせをしておく。
9回目	合奏練習 (楽曲・演出)	演出を合奏と並行しながら確認していき、進行の方法について学ぶ。	各係の担当毎に打ち合わせをしておく。
10回目	合奏練習 (楽曲・演出)	演出の進行に応じて楽曲の合奏練習を行い、演出に合わせた演奏技術について学ぶ。	練習箇所の確認をし、復習する。
11回目	合奏練習 (進行確認)	成果発表の進行を確認し、決められた時間内に進行が収まるようにする為の確実な進行表を作成する。	各係で集まり、話し合いをする。
12回目	合奏練習 (進行確認)	前回作成した進行表をもとに、合奏と演出を進行する。	進行表の流れを各自確認しておく。
13回目	成果発表の通し練習	実際の本番通りに演出を進行し、スムーズな動きが出来るようにする。	進行表の流れを各自確認しておく。
14回目	成果発表の通し練習	前回での復習を踏まえ、演出だけでなく演奏面でも内容を充実させる。	演奏時のテンポ・バランス等を再確認しておく。
15回目	成果発表の反省と楽器のメンテナンス	成果発表の反省後、各楽器毎に必要なメンテナンス用品を用い、正しくメンテナンスを行う。	

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	
履修条件	総合保育技Ⅲ c を履修のこと
履修上の注意	楽器使用前後のメンテナンスや取扱に十分配慮すること
オフィスアワー	授業前後に対応可能
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 a）	授業コード：
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
前田 聖悟				

授業概要	<p>授業では、以下の事項を踏まえ、子どもの年齢や発達段階に応じた様々なあそびを理解し演習を通して保育技術習得することを目標とする。</p> <p>①あそびの重要性を学び、主体的なあそび活動によって子どもに身につく力を理解することができる。</p> <p>②子どもの興味・関心を引き出す保育教材を知り、子どもの興味・関心に基づいた保育教材を考えることができる。</p> <p>③身近な素材や用具を活用した保育教材を考えることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもの世界に共感し、子どもの活動を援助する保育者の役割を理解することができる。	レポート 絵本ノート	20% 10%
確かな専門的知識や技能	子どもにとっての遊びの重要性を理解し、子どもの興味・関心に基づいた教材を考えることができる。	レポート 課題作品	20% 10%
コミュニケーション能力	仲間のアイデアを受容し、多様な意見、考え方を取り入れていく事ができる。	課題作品	10%
課題解決能力	他者からのアドバイスを分析し、自身のアイデアをより良いものにしていく事ができる。	課題作品	10%
主体的に学ぶ力	意欲的に学び、より深い学びにつなげていこうと積極的に取り組むことができる。	レポート 課題作品	10% 10%
合計			100%
補足事項			

- レポート課題 50%
- 課題作品 40%
- 絵本ノート 10%

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「授業オリエンテーション」 授業の概要について、各授業での準備物、授業の進め方、絵本ノートについて説明する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：シラバスを熟読し授業概要を理解しておく（0.5時間）
2回目	「子どもにとっての遊びとは」 幼児期における遊びの意味や重要性について説明する。学習内容に関してレポートにまとめ提出する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：幼少期に夢中になった遊びを調べる（0.5時間） 復習：授業内容について復習しレポートを作成する（1時間）
3回目	「遊びを支える保育者の役割とは」 子どもの遊びにおける保育者の役割について説明する。学習内容に関してレポートにまとめ提出する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間） 復習：授業内容について復習しレポートを作成する（1時間）
4回目	「保育における流れと教材の持つ意味について」 保育における流れの重要性と保育教材の持つ役割について説明する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間） 復習：授業内容について復習しレポートを作成する（1時間）
5回目	「導入に役立つ教材について①」 それぞれ自分で立てたテーマに沿った紙皿シアターの計画、製作を行う。 準備物：紙皿、マーカー、折り紙、のり等	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（0.5時間） 復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
6回目	「導入に役立つ教材について②-1」 絵本の世界観を利用した「くるくるペーパースート」の計画・製作を行う。 準備物：割りばし	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（0.5時間）
7回目	「導入に役立つ教材について②-2」 絵本の世界観を利用した「くるくるペーパースート」の製作を行う。	面接授業	復習：作品、レポートを完成させること（1時間）

	準備物：割りばし		
8回目	「クリアファイルを使った教材」 場面設定を行ったうえで「くらやみシアター」の計画・製作を行う 準備物：クリアファイル、マーカー、はさみ	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間） 復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
9回目	「廃材を使った教材①」 廃材を持ち寄り、グループワークの中で一つの教材を計画し作成する。（話し合い） 準備物：廃材等	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間）
10回目	「廃材を使った教材②」 廃材を持ち寄り、グループワークの中で一つの教材を計画し作成する。（製作） 準備物：廃材等	面接授業	
11回目	「廃材を使った教材③」 廃材を持ち寄り、グループワークの中で一つの教材を計画し作成する。（仕上げ、発表） 準備物：廃材等	面接授業	復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
12回目	「教材研究①」 これまでの学習をもとに計画を立て、自分で教材研究を行う。（立案、計画案作成）	面接授業	予習：自分の作成する教材のアイデアを調べておくこと（0.5時間）
13回目	「教材研究②」 これまでの学習をもとに計画を立て、自分で教材研究を行う。（計画案作成、製作）	面接授業	
14回目	「教材研究③」 これまでの学習をもとに計画を立て、自分で教材研究を行う。（製作）	面接授業	復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
15回目	「振り返りと学習まとめ」 いままでの授業内容を振り返りまとめとレポートの作成を行う。ファイル、レポート、絵本ノートの提出。	面接授業 オンライン等で行う場合がある	予習：これまでの授業についてまとめておくこと（0.5時間）
16回目	試験なし		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	参考書：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	授業に必要な道具・用具の準備を行い受講すること
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します
備考・メッセージ	自ら好奇心、探求心をもって積極的に受講すること

講義科目名称：保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	授業コード：11154 12153
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	1	卒業：選択 幼免：選択	演習
担当教員				
戸田 恵理子				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの主体的活動の重要性を理解する</li> <li>2. 子どもが様々な環境に関わりながらあそぶことが出来るように、5領域の観点からこどものあそびが展開出来るような指導案作成及び実践を行う</li> <li>3. 子どもの年齢や発達に応じた遊びを考え実践する</li> <li>4. 子どもの興味・関心を引き出すための様々な工夫を生み出す力を身につける</li> <li>5. 子どもの遊び活動が発展できるような、保育者の援助の方法を理解し実践する</li> </ol> <p>以上のことを実際の保育現場で実践し、振り返りを通して子どもを主体とした保育活動に保育教材を活用することの意義や重要性を理解することを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・子どもの主体的な活動に関わる保育者の役割を理解することができる。	・レポート	10%
確かな専門的知識や技能	・子どもの年齢や発達に応じた遊びの考案や実践につなげることができる。 ・子どもが様々な環境に関わりながら遊ぶことの重要性を理解できる。	・保育教材等の考案・制作・実践	40%
コミュニケーション能力	・自分や仲間の考えなどを受容しながら、新たな意見・アイデアを取り入れることができる ・保育現場等での保育実践の振り返りを仲間と共有することができる。	・グループワーク	20%
課題解決能力	保育現場で活用した保育実践について振り返りを通じたレポートの作成ができる。	・レポート	20%
主体的に学ぶ力	子どもが安全で楽しめるための保育教材の必要性を理解し、積極的に取り組むことができる	・保育教材等の考案・制作・実践	10%
合計			100%



補足事項

保育教材等の考案・制作・実践（50％） グループワーク（20％） レポート（30％）を総合して評価する。  
 ※レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	子どものあそびについて ・「あそび」の意義について説明できる ・子どもが主体的に関わるあそびについて説明できる	オンライン 等の対応可	予習：子どもにとっての「あそび」の意義を調べておく（2 時間） 復習：子どもの主体性を尊重した保育に関するレポートの作成（2 時間）
2 回目	保育現場における絵本や紙芝居について ・子どもと絵本・紙芝居のかかわりについて理解する ・絵本や紙芝居を読む時の配慮事項について説明できる	オンライン 等の対応可	予習：実習に向けた絵本・紙芝居の選書及び選書理由について考えをまとめておく（2 時間） 復習：読み語りワークに向けた練習を行う（2 時間）
3 回目	保育現場における絵本や紙芝居について ・子どもと絵本・紙芝居の読み語りワークを行う ・選んだ絵本・紙芝居の特徴や楽しめるポイントを説明できる	オンライン 等の対応可	予習：読み語りワークのグループで打ち合わせを行う（2 時間） 復習：読み語りワークを終え振り返りを行う（2 時間）
4 回目	子どもの年齢・発達に応じた保育について I ・子どもの興味・関心を引き出すあそびについて理解できる ・身近にある素材の活用法について説明できる	オンライン 等の対応可	予習：「子どもの発達の特徴とみちすじ」の一覧表を確認しておくこと（2 時間） 復習：「子どもの発達の特徴とみちすじ」の一覧表の加筆修正を行う（2 時間）
5 回目	子どもの年齢・発達に応じた保育について II ・子どもの興味・関心を引き出すあそびについて理解できる ・身近にある素材の活用法について説明できる	オンライン 等の対応可	予習：「子どもの発達の特徴とみちすじ」の一覧表を確認しておくこと（2 時間） 復習：「子どもの発達の特徴とみちすじ」の一覧表の加筆修正を行う（2 時間）
6 回目	子どもの興味・関心を引き出す保育教材制作 I ・子どもの年齢や発達段階に応じた保育教材に必要な素材や材料等の準備ができる ・子どもの興味・関心を引き出す保育教材の制作工程を理解し取り組むことができる	オンライン 等の対応可	予習：制作したい保育教材の素材や用途について調べておく（2 時間） 復習：保育教材製作計画書の作成を行う（2 時間）
7 回目	子どもの興味・関心を引き出す保育教材制作 II ・子どもの年齢や発達段階に応じた保育教材に必要な素材や材料等の準備ができる ・子どもの興味・関心を引き出す保育教材の制作工程を理解し取り組むことができる	オンライン 等の対応可	予習：保育教材製作計画書を基に必要な材料等の準備を行う（2 時間） 復習：手作りの保育教材を活用することの意義についてレポートを作成する（2 時間）
8 回目	園行事の実際 I ・保育現場における園行事のあり方について説明できる ・子どもの育ちに必要な園行事の考案（企画・実践・振り返り）ができる	オンライン 等の対応可	予習：オリエンテーション報告書をもとに行事を通して子どもの育ちについて考えをまとめる（2 時間） 復習：行事を通して子どもに身につく力について調べる（2 時間）

9回目	園行事の実際Ⅱ ・子どもの育ちに必要の園行事の考案（企画・実践・振り返り）ができる	オンライン等の対応可	予習：3歳未満児の運動会プログラムを考案する（2時間） 復習：実践活動の振り返りを行い、プログラム内容を再考する（2時間）
10回目	子ども主体の保育の計画Ⅰ ・子どもの発達個人差に応じた活動内容を考案することができる	オンライン等の対応可	予習：子どもの発達個人差に応じた保育者の対応が記録されている事例を日誌から抽出する（2時間） 復習：子どもの興味関心を引き出す活動について再考する（2時間）
11回目	子ども主体の保育の計画Ⅱ ・子どもの発達や一人ひとりの姿を理解した保育の計画を立案することができる ・遊びの連続性を視野に入れた保育を計画することができる	オンライン等の対応可	予習：子どもの様子に応じた指導案立案を複数考案しておく（2時間） 復習：計画に基づいた保育実践を通してPDCAサイクルの理解を深める（2時間）
12回目	環境を通じた保育の重要性（3歳未満児） ・「環境」を通して行う保育について説明できる	オンライン等の対応可	予習：様々な「環境」に関わることで育つ子どもの姿に関する記述を日誌から抽出する（2時間） 復習：人的環境である保育者（実習生）としての役割についてレポートを作成する（2時間）
13回目	環境を通じた保育の重要性（3歳未満児） ・子どもの主体的活動の意義について説明できる	オンライン等の対応可	予習：子どもの主体的活動に関する記述を日誌から抽出する（2時間） 復習：子どもの様々な姿とそれを受容・尊重できる保育者の配慮についてレポートを作成する（2時間）
14回目	環境を通じた保育の重要性（3歳以上児） ・「環境」を通して行う保育について説明できる	オンライン等の対応可	予習：様々な「環境」に関わることで育つ子どもの姿に関する記述を日誌から抽出する（2時間） 復習：人的環境である保育者（実習生）としての役割についてレポートを作成する（2時間）
15回目	環境を通じた保育の重要性（3歳以上児） ・子どもの主体的活動の意義について説明できる	オンライン等の対応可	予習：子どもの主体的活動に関する記述を日誌から抽出する（2時間） 復習：子どもの様々な姿とそれを受容・尊重できる保育者の配慮についてレポートを作成する（2時間）
16回目	定期試験 なし		

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	内容ごとに、必要なプリントを配布

	参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	授業に必要な資料・教材・用具等の準備を行った上で受講すること 授業に必要な用具等の管理、後片付けまで配慮し受講すること
オフィスアワー	(前期) 火曜日の1限目(研究室) (後期) 月曜日の1限目(研究室) 授業時間・会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	個人で製作した保育教材や身につけた様々な保育技術を子どもと一緒に楽しめることができるよう、積極的な姿勢で受講すること

講義科目名称：子どもと表現(ピアノ・楽典 I a)	授業コード：212108
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択必修	演習
担当教員				
友廣 憲子 濱崎 典子 西沢素登子 黒田 照子				

授業概要	<p>①ピアノは個人レッスンで学習し、課題の童謡曲をすべて弾き歌いできるようになる。</p> <p>②教則本は課題曲を試験までに暗譜で演奏できるようになる。</p> <p>③保育に使用する童謡を歌うことができるようになる。</p> <p>③楽典は楽譜を読むための基礎的な知識をテキストとドリルを用い学習し理解していく。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コード進行の課題曲を演奏することができる。</li> <li>・課題のすべての童謡曲の弾き歌いができる。</li> <li>・教則本の課題を1曲暗譜で演奏することができる。</li> <li>・童謡曲の弾き歌いができる。(試験当日)</li> <li>・楽典で学んだ内容を理解することができる。</li> </ul>	授業内 授業内 実技試験 実技試験 授業内	10% 20% 40% 10% 15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	積極的に課題に向き合い、授業に参加することができる。		5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。</li> <li>・ 対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合がある。</li> </ul>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	<p>オリエンテーション</p> <p>授業の進め方、心構え、レッスンの注意点</p> <p>楽典の授業の進め方について説明する。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5 時間)</p> <p>ピアノ課題を練習(0.5 時間)</p>
2 回目	<p>「ピアノレッスン」</p> <p>実践的なコード伴奏法を学習する</p> <p>教則本のレッスン</p> <p>「楽典」</p> <p>大人のための音楽ワークテキスト・ドリルを学習する。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5 時間)</p> <p>ピアノ課題練習(1 時間)</p>
3 回目	<p>「ピアノレッスン」</p> <p>実践的なコード伴奏法を学習する</p> <p>教則本のレッスン</p> <p>こどものうた 200 で童謡曲を学習する</p> <p>「楽典」</p> <p>大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5 時間)</p> <p>ピアノ課題練習(1 時間)</p>
4 回目	<p>「ピアノレッスン」</p> <p>実践的なコード伴奏法を学習する</p> <p>教則本のレッスン</p> <p>こどものうた 200 で童謡曲を学習する</p> <p>「楽典」</p> <p>大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5 時間)</p> <p>ピアノ課題練習(1 時間)</p>
5 回目	<p>「ピアノレッスン」</p> <p>実践的なコード伴奏法を学習する</p> <p>教則本のレッスン</p> <p>こどものうた 200 で童謡曲を学習する</p> <p>「楽典」</p> <p>大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5 時間)</p> <p>ピアノ課題練習(1 時間)</p>
6 回目	<p>「ピアノレッスン」</p> <p>実践的なコード伴奏法を学習する</p> <p>教則本のレッスン</p> <p>こどものうた 200 で童謡曲を学習する</p> <p>「楽典」</p> <p>大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5 時間)</p> <p>ピアノ課題練習(1 時間)</p>

	ルを学習していく。		
7回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
8回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
9回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
10回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
11回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
12回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間)

	<p>教則本のレッスン          こどものうた 200 で童謡曲を学習する          「楽典」          大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>		ピアノ課題練習(1時間)
13 回目	<p>「ピアノレッスン」          実践的なコード伴奏法を学習する          教則本のレッスン          こどものうた 200 で童謡曲を学習する          「楽典」          大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5時間)          ピアノ課題練習(1時間)</p>
14 回目	<p>「ピアノレッスン」          実践的なコード伴奏法を学習する          教則本のレッスン          こどものうた 200 で童謡曲を学習する          「楽典」          大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5時間)          ピアノ課題練習(1時間)</p>
15 回目	<p>「ピアノレッスン」          課題曲すべてのレッスンと試験時の確認を行う          「楽典」          筆記試験</p>	面接授業	ピアノ課題練習(2時間)
16 回目	ピアノ実技試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>教科書:大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」          大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」          指づかいつきバイエルピアノ教本(担当教員の指示がある場合購入)          ブルグミュラー-25番練習曲 ソナチネアルバム ソナタアルバム          保育者のためのピアノの基礎(朝日出版社)          こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」</p>
履修条件	

履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講する
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	普段から楽譜をよく読む習慣を身に付ける



講義科目名称：子どもと表現(ピアノ・楽典 I b)	授業コード：212210
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択必修	演習
担当教員				
友廣 憲子 濱崎 典子 西沢素登子 黒田 照子				

授業概要	<p>①子どもと表現(ピアノ・楽典 I a)を土台として学習を進めていく。 ピアノは個人レッスンで学習し、課題の童謡曲をすべて弾き歌いできるようになる。</p> <p>②教則本は課題曲を試験までに暗譜で演奏できるようになる。</p> <p>③楽典は楽譜を読むための基礎的な知識をテキストとドリルを用い学習し理解していく。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題のすべての童謡曲の弾き歌いができる。</li> <li>・教則本の課題を1曲暗譜で演奏することができる。</li> <li>・童謡曲の弾き歌いができる。(試験当日)</li> <li>・コード伴奏本の曲を演奏することができる。</li> <li>・楽典で学んだ内容を理解することができる。</li> </ul>	授業内 実技試験 実技試験 授業内 筆記試験	20% 40% 10% 5% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	積極的に課題に向き合い、授業に参加することができる。		5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。</li> <li>・ 対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合がある。</li> </ul>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション(教員紹介) 授業の進め方、心構え、レッスンの注意点 楽典の授業の進め方について説明する。	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題を練習(0.5 時 間)
2 回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン 「楽典」 大人のための音楽ワークテキスト・ドリルを学習 する。	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
3 回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリ ルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
4 回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリ ルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
5 回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリ ルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
6 回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリ	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)

	ルを学習していく。		
7回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
8回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
9回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
10回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
11回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する 教則本のレッスン こどものうた 200 で童謡曲を学習する 「楽典」 大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
12回目	「ピアノレッスン」 実践的なコード伴奏法を学習する	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間)

	<p>教則本のレッスン          こどものうた 200 で童謡曲を学習する          「楽典」          大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>		ピアノ課題練習(1時間)
13 回目	<p>「ピアノレッスン」          実践的なコード伴奏法を学習する          教則本のレッスン          こどものうた 200 で童謡曲を学習する          「楽典」          大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5時間)          ピアノ課題練習(1時間)</p>
14 回目	<p>「ピアノレッスン」          実践的なコード伴奏法を学習する          教則本のレッスン          こどものうた 200 で童謡曲を学習する          「楽典」          大人のための音楽ワークテキストで理解し、ドリルを学習していく。</p>	面接授業	<p>ワークテキストの復習をする(0.5時間)          ピアノ課題練習(1時間)</p>
15 回目	<p>「ピアノレッスン」          課題曲すべてのレッスンと試験時の確認を行う          「楽典」          筆記試験</p>	面接授業	ピアノ課題練習(2時間)
16 回目	ピアノ実技試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>教科書:大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」          大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」          指づかいつきバイエルピアノ教本(担当教員の指示がある場合購入)          ブルグミュラー-25番練習曲 ソナチネアルバム ソナタアルバム          保育者のためのピアノの基礎(朝日出版社)          こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」</p>
履修条件	

履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講する
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	普段から楽譜をよく読む習慣を身に付ける

講義科目名称：こどもと表現（歌唱）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年生	2	選択	演習
担当教員				
石多 加代子				

授業概要	保育現場で、子供たちと楽しく音楽活動ができるよう ① 音楽の基礎練習に取り組む。 ② 多くの歌を歌い、覚える。 ③ わらべうたで遊ぶことができる。 ④ みにオペレッタの創作をグループで取り組む。 ⑤ 以上の活動を通して、人前で堂々と歌う力を養う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	様々な音楽を、表情豊かに歌うことができる。	授業への参加態度。	10%
確かな専門的知識や技能	音程、リズム練習を通して、自分で楽譜を読めるようになる。	小テスト	10%
コミュニケーション能力	グループで話し合いながら、オペレッタ制作にかかわることができる。	発表と振り返りのレポート。授業への参加態度	15%
課題解決能力	グループ学習時、話し合いにて回けるを模索することができる。	授業への参加態度	5%
主体的に学ぶ力	人前で堂々と歌うことができる。	発表会	60%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の説明。アンケート調査。読譜練習	面接授業	階名唱小暗譜、クリアファイル準備
2回目	季節の歌（7，8月）他階名唱小テスト① あんたがたどこさ、なべなべそこぬけ	面接授業	階名唱小暗譜

3回目	季節の歌(9、10月)他階名唱小テスト② お寺のおしょうさん他	面接授業	階名唱小暗譜
4回目	季節の歌(11、12月)他 階名唱小テスト③ アヒル、トンボのめがね	面接授業	階名唱小暗譜
5回目	季節の歌(1、2月)他 階名唱小テスト④ スキップ	面接授業	階名唱小暗譜
6回目	季節の歌(3、4月)他階名唱小テスト⑤ オペレッタ制作①グループ決め	面接授業	
7回目	季節の歌(5、6月)他オペレッタ② ギャロップ	面接授業	
8回目	オペレッタ③リズム奏①	面接授業	リズム奏復習
9回目	オペレッタ④リズム奏②	面接授業	リズム奏復習
10回目	オペレッタ⑤リハーサル	面接授業	
11回目	オペレッタ⑥発表と鑑賞	面接授業	
12回目	既習曲の復習リズム奏③	面接授業	発表会に向け、曲目選択
13回目	既習曲の復習リズム奏④	面接授業	発表会に向け練習。リズム奏復習
14回目	発表会①プログラムに沿って発表し、お互い鑑賞する	面接授業	リズム奏復習
15回目	発表会②予備日リズム奏⑤	面接授業	
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	幼児のために音楽教育(教育芸術社)→ピアノで使っていますので、特別に購入しなくてよい。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：子どもと表現（造形 a）	授業コード：41131 42132 43133
英文科目名称：	ナンバリング CM105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択	演習 複数
担当教員				
陣内敦 陣内智子				

授業概要	<p>①自分を表現したい心を理解する 相手に伝えたい心を理解する 感じる心を理解する</p> <p>②自然の中にある形を発見する感覚を理解する 偶然による形から発想する感覚を理解する 素材を構成する技術を修練する</p> <p>③幼児の描画概念の発達段階を理解する 幼児の描画道具の扱い方について理解する 幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する</p> <p>④壁画装飾がもたらす幼児への効用を理解する 季節を表す素材について理解する 室内環境が与える保育活動の効用を考察する</p> <p>⑤個人の個性の享受と意見の構築の方法を理解する 自分の役割を見つけ達成することの大切さを理解する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画の原理について理解する</li> <li>・ 絵画技術と幼児の絵画活動について理解する</li> <li>・ 幼児の絵画活動に対する保育者の支援方法を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の成果</li> <li>作品の成果</li> <li>作品の成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20%</li> <li>20%</li> <li>20%</li> </ul>
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の成果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20%</li> </ul>
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（共同制作について）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20%</li> </ul>
合計			100%



補足事項

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 子どもと造形についてのイントロダクション 「子どもたちへの自己紹介」制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：造形の意味について、 自分なりの考えを持つ (0.5 時間) 復習：造形の意義について 確認する (0.5 時間)
2 回目	モダンテクニック (1) フロッターージュによる絵画制作 (こすり絵)	面接授業または Melly 課題 配信	予習：フロッターージュにつ いて予備知識を得る (0.5 時 間) 復習：フロッターージュ技法 の可能性について考える (0.5 時間)
3 回目	モダンテクニック (2) コラージュによる絵画制作「私の夢」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：コラージュについて 予備知識を得る (0.5 時間) 復習：コラージュ技法の可 能性について考える (0.5 時 間)
4 回目	折り紙 「カエル」「小箱」他の制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：折り紙の予備知識を 得る (0.5 時間) 復習：他の折り紙について も体験してみる (0.5 時間)
5 回目	切り紙 「切り紙あそび」伝統的なもん切り遊びを 体験する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：切り紙について予備 知識を得る (0.5 時間) 復習：切り紙技法の可能性 について考える (0.5 時間)
6 回目	ちぎり絵 (1) 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作 テーマ設定 下絵 配色計画	面接授業または Melly 課題 配信	予習：ちぎり絵について予 備知識を得る (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考え る (0.5 時間)
7 回目	ちぎり絵 (2) 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作	面接授業または Melly 課題 配信	予習：制作途中の自作品を 見直す (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考え る (0.5 時間)
8 回目	ちぎり絵 (3)	面接授業または	予習：制作途中の自作品を

	童謡をテーマにしたちぎり絵の制作	は Melly 課題 配信	見直す (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考 える (0.5 時間)
9 回目	ちぎり絵 (4) 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：制作途中の自作品を 見直す (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考 える (0.5 時間)
10 回目	インスタレーション 「おかおつくっちゃお」 身近な日用品に目鼻等を色紙等で作り遊ぶ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：子どもの視点で周囲 を観察する (0.5 時間) 復習：想像遊びについての 省察をおこなう (0.5 時間)
11 回目	染紙 短冊づくり 七夕の笹にに願い事を書く うちわの和紙づくり	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：染め紙の活用法につ いて想像する (0.5 時間) 復習：染め紙の他の活用につ いて考える (0.5 時間)
12 回目	うちわ作り 染紙をうちわに貼ってオリジナルうちわの 制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：日本の伝統工芸を知 る (0.5 時間) 復習：作業工程の事後反省 をおこなう (0.5 時間)
13 回目	ぶんぶんごま ダンボールとタコ糸を用いてぶんぶんごま を制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：色彩の調和を想像す る (0.5 時間) 復習：作業工程の事後反省 をおこなう (0.5 時間)
14 回目	指人形 (1) 保育で使える指人形の制作 トイレットペーパー、紙粘土、色和紙で工作 する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：作品の全体図を構想 する (0.5 時間) 復習：作業工程の事後反省 をおこなう (0.5 時間)
15 回目	指人形 (2) 保育で使える指人形の制作 顔などを絵具で着彩する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：指人形を用いる保育 の場面を構想する 復習：保育活動を想定し練 習する (0.5 時間)

科目 (教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項 表現
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。

履修条件	特になし
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：子どもと造形b	授業コード：41231 42232 43233
英文科目名称：	ナンバリング CM209

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択	演習 複数
担当教員				
陣内敦 陣内智子				

授業概要	<p>①熟達する喜びを理解する 工夫することの喜びを理解する 造り上げる喜びを理解する</p> <p>②素材の材質感や特徴を理解する 素材の加工方法を理解する 発想を構築していく方法を修練する</p> <p>③幼児の工作概念の発達段階を理解する 幼児の工作道具の扱い方について理解する 幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する</p> <p>④手作りの造形がもたらす幼児への効用を理解する 手作りの造形の種類と構造について理解する</p> <p>⑤絵本や人形劇の児童文化財の価値を理解する 人形劇における話の展開方法を理解する 人形劇によって幼児に伝達される内容について考察する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作の原理について理解する</li> <li>・工作技術と幼児の工作活動について理解する</li> <li>・幼児の工作活動に対する保育者の支援方法を理解する</li> </ul>	作品の成果 作品の成果 作品の成果	20% 20% 20%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する</li> </ul>	作品の成果	20%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（児童文化財について）</li> </ul>	学修の取り組み	20%
合計			100%

補足事項

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 子どもと造形についての講話 「折り紙」制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ (0.5 時間) 復習：造形の意義について確認する 折り紙の楽しさを感じる (0.5 時間)
2 回目	粘土の工作 (1) 技法の詳解を見る (ビデオ鑑賞)	面接授業	予習：粘土の工作について予備知識を得る (0.5 時間) 復習：粘土の技法について確認する (0.5 時間)
3 回目	粘土の工作 (2) 粘土作品を素手やへらを用いながら成形する	面接授業	予習：制作する作品のイメージを作る (0.5 時間) 復習：素材について感じたものを味わう (0.5 時間)
4 回目	粘土の工作 (3) 粘土作品の装飾をひっかきや釉薬によってほどこす ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：装飾についてイメージを作る (0.5 時間) 復習：粘土の工作の可能性について考える (0.5 時間)
5 回目	紙の工作 (1) 技法の詳解を聞く 自作品の構想を作る	面接授業または Melly 課題 配信	予習：制作するもののイメージを作る (0.5 時間) 復習：アイデアスケッチから制作工程について計画する (0.5 時間)
6 回目	紙の工作 (2) 新聞紙と和紙で成形	面接授業または Melly 課題 配信	予習：紙の成形方法について計画する (0.5 時間) 復習：成形手順について再構想と修正をおこなう (0.5 時間)
7 回目	紙の工作 (3) 新聞紙と和紙で成形	面接授業または Melly 課題 配信	予習：自作品の成形手順について計画する (0.5 時間) 復習：成形手順について修

			正をおこなう (0.5 時間)
8 回目	紙の工作 (4) 新聞紙と和紙で成形	面接授業または Melly 課題 配信	予習: 成形手順を再構成する (0.5 時間) 復習: 自作品の立体的な構造等について鑑賞する (0.5 時間)
9 回目	紙の工作 (5) 部分的に色和紙を貼り装飾する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習: 色彩案を作る (0.5 時間) 復習: 色和紙の調和を鑑賞し、紙の工作の肌合いを楽しむ (0.5 時間)
10 回目	人形劇制作 (共同制作) (1) 童話を選び劇の展開を考える	面接授業	予習: 人形劇の体験を思い出す (0.5 時間) 復習: 話の展開について修正する (0.5 時間)
11 回目	人形劇制作 (共同制作) (2) 下絵を描く	面接授業	予習: 展開をまとめる (0.5 時間) 復習: 話の内容と感情表現などを登場人物の表情や情景に活かす方法を考える (0.5 時間)
12 回目	人形劇制作 (共同制作) (3) 人形に描画し着彩をほどこす	面接授業	予習: 色彩の計画をおこなう (0.5 時間) 復習: 着彩の修正をおこなう (0.5 時間)
13 回目	人形劇制作 (共同制作) (4) 画面側に描画し着彩をほどこす 背景の下絵を描く	面接授業	予習: 色彩の調和を想像する (0.5 時間) 復習: 色彩による画面の空間表現について再検討をおこなう (0.5 時間)
14 回目	人形劇制作 (共同制作) (5) 背景の着彩をほどこす	面接授業	予習: 話の展開やせりふを推敲する (0.5 時間) 復習: 人形の動きとせりふが整合していることを確認する (0.5 時間)
15 回目	人形劇制作 (共同制作) (6) 教室内でグループごとに劇の実演をおこなう	面接授業	予習: 人形劇実演の練習をおこなう (0.5 時間) 復習: 人形劇の楽しさを味

	※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する		わう (0.5 時間)
--	-----------------------	--	-------------

科目 (教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項 表現
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：子どもと表現（リズム）	授業コード：41153、42151、43152
英文科目名称：	旧科目名称：子どものリズム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	1	選択	演習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本演習は、子どもと表現・リズム遊びを中心に、幼児期にふさわしい運動内容を学び、さらにその適切な指導法と援助方法を理解することをねらいとしている。</p> <p>本演習では、①リズム・表現遊びの実践ができる、②リズム・表現遊びの計画ができる、③リズム・表現遊びの指導や援助方法が分かる、ことをねらいにしている。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、子どもにとって表現・リズム遊びが必要なのか説明できる。</li> <li>・子どもにふさわしい表現・リズム遊びの計画ができる。</li> <li>・表現・リズム遊びの指導法と援助方法を説明できる。</li> </ul>	授業への参加・態度 成果レポート	40%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現・リズム遊びの実践を通して、いろいろな人と交流し、意見を交わすことができる。</li> </ul>	創作などのグループ活動	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からなかったことなどを調べて解決することができる。</li> </ul>	課題レポート	20%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ成果をまとめ発表する</li> </ul>	作品発表	10%
合計			100%

#### 補足事項

定期テスト、確認テスト、レポート、発表、授業への参加・態度を評価する。  
 課題については都度指導し、評価についてはフィードバックを行う。  
 その際は Melly で個別に対応もおこなう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業のねらいと内容について	面接授業	予習：リズム・表現遊びとは何



			か調べる (0.5 時間) 復習:リズム・表現遊びについてまとめる (0.5 時間)
2 回目	「内的リズム」について リズムを使った遊びの実践	面接授業	予習:リズムとは何か調べる (0.5 時間) 復習:リズムを使った遊びをまとめる (0.5 時間)
3 回目	「時間性」「力性」「空間性」「関係性」について 4つのキーワードで動く遊びの実践	面接授業	予習:動きとは何か調べる (0.5 時間) 復習:4つのキーワードで動く遊びをまとめる (0.5 時間)
4 回目	ボールを使って動きを広げよう ボールを使って動く遊びの実践	面接授業	予習:ボールの使った遊びを調べる (0.5 時間) 復習:ボールを使った遊びをまとめる (0.5 時間)
5 回目	フープを使って動きを広げよう フープを使って動く遊びの実践	面接授業	予習:フープを使った遊びを調べる (0.5 時間) 復習:フープを使った遊びをまとめる (0.5 時間)
6 回目	紙を使って動きを広げよう 紙を使って動く遊びの実践	面接授業	予習:紙を使った遊びを調べる (0.5 時間) 復習:紙を使った遊びをまとめる (0.5 時間)
7 回目	イメージを使って動きを広げよう イメージを使って動く遊びの実践	面接授業	予習:イメージを使った遊びを調べる (0.5 時間) 復習:イメージを使った遊びをまとめる (0.5 時間)
8 回目	子どもの手本になる良い動きとは何か考える	面接授業	予習:良い動きについて調べる (0.5 時間) 復習:授業で学習した動きを復習する (0.5 時間)
9 回目	自分の表したいイメージを動きで表現する	面接授業	予習:自分の動きをまとめる (0.5 時間) 復習:授業で学習した動きを復習する (0.5 時間)
10 回目	イメージで表現した動きをつなげて、 連続した動きにする	面接授業	予習:自分の動きをひとまとまりの動きにする (0.5 時間) 復習:授業で学習した動きの練

			習をする (0.5 時間)
11 回目	表現あそび中の子どもへの声かけなど、適切な指導にふさわしい言葉がけについて考える。	面接授業	予習: 声かけ、言葉がけについて調べる (0.5 時間) 復習: 指導言語についてまとめる (0.5 時間)
12 回目	連続した動きにメリハリをつけて、ダイナミックな動きに変化させる。	面接授業	予習: 自分の動きをデフォルメする (0.5 時間) 復習: 授業で学習した動きを練習する (0.5 時間)
13 回目	発表できるように動きをまとめる	面接授業	予習: 作品の動きを覚える (0.5 時間) 復習: 完成した動きを練習する (0.5 時間)
14 回目	作品発表	面接授業	予習: 作品の動きを練習する (0.5 時間) 復習: 発表会を振り返る (0.5 時間)
15 回目	子どもの表現をどのように評価すれば良いのか考える。	面接授業	予習: 評価について調べる (0.5 時間) 復習: 成果レポートを作成する (3 時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: 必要に応じてプリントを配布する 参考書: 岩崎洋子 (編著) 『保育と幼児期の運動あそび』、萌文書林、2018 高野牧子 (編著) 『うきうきわくわく 身体表現遊び -豊かに広げよう! 子どもの表現世界-』、同文書院、2015 小谷隆真 『あたらしい表現遊び』、すずき出版、1994
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	自分の体感から学びが広げられるよう、積極的に取り組むこと 運動できる服装、体育館シューズで受講すること

講義科目名称：子どもと健康	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1	選択 幼稚園教 論：必修	演習
担当教員				
中尾健一郎				

授業概要	<p>「領域『健康』に関する専門的事項」として専門的事項や理論を踏まえた根拠に基づく指導ができるよう以下を目標にして知識や技術を学ぶ。</p> <p>①健康の定義について理解する 健康で安全な生活や乳幼児期にふさわしい生活について理解する</p> <p>②子どもの身体の発育・発達について理解する 乳幼児期の生活習慣の形成について理解する 乳幼児の生活と食について理解する</p> <p>③乳幼児期の運動について理解する 体を動かす遊びの環境について理解する 乳幼児期の遊びと運動について理解する</p> <p>④乳幼児期の安全教育とけがの予防について理解する 健康を育む園外環境について理解する</p> <p>⑤体を良く動かす子どもを育てるために必要なことを理解する 健康をめぐる現代的問題について理解する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の健康の意義を説明できる</li> <li>・乳幼児期の基本的な生活習慣の形成の意義について説明できる</li> <li>・安全教育・安全管理の基本的な考え方を説明できる</li> <li>・乳幼児期の運動発達の特徴を説明できる</li> </ul>	期末試験 小テスト	60% 30%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者を目指す者として、健康を意識し積極的な学習ができる</li> </ul>	リフレクションカード	5%

	授業への参加・態度	5%
合計		100%
補足事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業については、課題提出で出席とみなす</li> <li>・毎回、Melly を使って、授業のポイント、意見質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出</li> <li>・期末試験 60%、小テスト 30%、リフレクションカード 5%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する</li> <li>・小テストについては、14 回目の授業内で実施し、結果をその時間内で解説してフィードバックする 採点は学生同士で交換して行う</li> </ul>		

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 子どもと健康の授業の進め方を理解し、子どもたちの姿をイメージして健康を考える	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバスに目を通しておくこと(0.25 時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5 時間)
2 回目	「健康とは何か」 健康の定義について学び、健康で安全な生活や乳幼児期にふさわしい生活、体を良く動かす子どもを育てるために必要なことを学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「健康の定義」について調べておくこと(0.25 時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5 時間)
3 回目	「子どもの身体の発育・発達について」乳幼児の形態的発達と生理的機能の発達について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「子どもの身体の発育・発達」について調べておくこと(0.25 時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5 時間)
4 回目	「乳幼児期の運動について I」 発達段階に応じた運動発達と環境について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「発達段階に応じた運動発達と環境の運動発達と環境」について調べておくこと(0.25 時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できな

			ったところを調べておくこと(0.5時間)
5回目	「乳幼児期の運動についてII」 運動遊びへのかかわりについて学ぶ	面接授業 (オンライン 等の対応可能)	予習:「運動遊びへのかかわり」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
6回目	「乳幼児期の安全教育とけがの予防について」 けが・事故の実態と予防・安全管理について学ぶ	面接授業 (オンライン 等の対応可能)	予習:「けが・事故の実態と予防・安全管理」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
7回目	「乳幼児期の生活習慣の形成について」 発達段階に応じた生活習慣形成と環境について学ぶ	面接授業 (オンライン 等の対応可能)	予習:「発達段階に応じた生活習慣形成と環境」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
8回目	「乳幼児期の遊びと運動についてI」 豊かな遊びと動きの体験について学ぶ	面接授業 (オンライン 等の対応可能)	予習:「豊かな遊びと動きの体験」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
9回目	「乳幼児期の遊びと運動についてII」 運動遊びの意義と日常生活の動きの経験について学ぶ	面接授業 (オンライン 等の対応可能)	予習:「運動遊びの意義と日常生活の動きの経験」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこ

			と(0.5時間)
10回目	「健康を育む園外環境について」 里山保育を題材にして園外環境について健康の視点から学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習:「園外環境について」について調べておくこと(0.25時間) 復習:配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと
11回目	「乳幼児の生活と食について」 生活リズムと食および乳幼児期の食の大切さについて学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習:「生活リズムと食および乳幼児期の食の大切さ」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
12回目	「領域「健康」について」 幼児教育の基本と領域の考え方および幼稚園教育要領, 保育所保育指針, 教育・保育要領における領域「健康」について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習:「幼児教育の基本と領域の考え方、幼稚園教育要領, 保育所保育指針, 教育・保育要領における領域「健康」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
13回目	「領域「健康」をめぐる現代的問題について」 領域「健康」をめぐる現代的問題について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習:「領域「健康」をめぐる現代的問題」について調べておくこと(0.25時間) 復習:教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
14回目	「小テスト」 小テストを実施し、これまでの学びを確認する	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習:これまでの内容を振り返り、復習しておくこと(0.25時間) 復習:小テストのできなかったところを調べておくこ

			と(0.5時間)
15回目	「子どもと健康について(まとめ)」 小テストの解説をもとに、これまでの内容を振り返る	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: 全体的に教科書や配布資料に目を通し、学びを振り返っておくこと (0.25時間) 復習: 小テストを振り返り本試験に備えること(0.5時間)

科目(教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項
教科書・参考書	教科書: 演習保育内容健康-基礎的事項の理解と指導法- 建帛社 参考書: 乳幼児教育・保育シリーズ 保育内容健康 吉田伊津見他編著 光生館 : 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 幼児期運動指針
履修条件	
履修上の注意	オンライン等の授業についてはPC、タブレット(パソコン)等を準備し、対応できるようにすること
オフィスアワー	授業の前後に教室にて質問を受け付ける
備考・メッセージ	保育者を目指す者として自分の健康にも関心も持ち、健康維持に努めること

講義科目名称：子どもと言語	授業コード：31132 32131
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択	演習（単独）
担当教員				

授業概要	<p>幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、かつ幼稚園教育要領に示された領域のねらい・内容を理解し、幼児の発達に則した保育を構想する方法を身に付ける。具体的には、子どもの言葉を育む児童文化財として、絵本・紙芝居を中心に学ぶ。どのような絵本や紙芝居があるのか、集団への読み語りの方 法、発達段階や目的にあった選び方など班活動を中心にグループで討議しながら身につける。各自が 集団への読み語りに適切な絵本を1冊ずつ選び読み語りを実演し、最終的には班単位でおはなし会を企 画、実演する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<p>①絵本と紙芝居の児童文化財としての特徴と教育的意義の理解ができる。</p> <p>②子どもの発達や目的に合った絵本・紙芝居を選ぶことができる。</p> <p>③子どもの発達や目的を考慮し、適切に読み語りすることができる。</p>	<p>レポート</p> <p>絵本の読み語り発表</p>	<p>50%</p> <p>20%</p>
コミュニケーション能力	④グループ内で協力し、おはなし会を企画・運営できる。	グループディスカッション	20%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	⑤自分の意見を持ち、積極的に意見を言うことができる。	グループディスカッション	10%
合計			100%
補足事項			



・本授業では、レポート（授業内、授業後）50%、グループ活動・ディスカッション 30%、発表 20%の割合で評価する。

授業計画	授業内容	実施形態	予習・復習
1回目	<b>オリエンテーション</b> ・授業のねらい ・進め方 ・評価・アンケートについての説明	面接授業 (オンライン対応可)	復習：授業のねらいや進め方などについて振り返る(0.5時間) 予習 言葉を育む児童文化の概要・絵本について考える(0.5時間)
2回目	<b>児童文化の概要</b> ・言葉を育む児童文化の概要・絵本について特徴と留意点	面接授業	復習 言葉を育む児童文化の概要・絵本に関する学習内容の確認(1時間) 予習 集団への読み語りについて考える(1時間)
3回目	<b>絵本研究</b> ・集団への読み語りについて	面接授業	復習 集団への読み語りについて振り返る(1時間) 予習 絵本の種類について調べる(1時間)
4回目	<b>絵本研究</b> ・絵本の種類	面接授業	復習 絵本の種類に関する学習内容の確認(1時間) 予習 子どもの発達と絵本について考える(1時間)
5回目	<b>絵本研究</b> ・子どもの発達と絵本	面接授業	復習 子どもの発達と絵本に関する学習内容を振り返る(1時間) 予習 読み語りにふさわしい絵本の準備(1時間)
6回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習（小グループでの読み語りの練習）	面接授業	復習 読み語りの練習(1時間) 予習 読み語りの発表準備(1.5時間)
7回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習と発表（1）・紙芝居の活用	面接授業	復習 紙芝居の活用について振り返る(1時間)

			予習 読み語りの発表準備 (1.5 時間)
8 回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習と発表(2)・課題別 研究	面接授業	復習 課題別絵本について 振り返る(1 時間) 予習 読み語りの発表準備 (1 時間)
9 回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習と発表(3)	面接授業	復習 課題別絵本について 振り返る(1 時間) 予習 読み語りの発表準備 (1 時間)
10 回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習と発表(4)・素話の 活用	面接授業	復習 素話の活用について 振り返る(1 時間) 予習 読み語りの発表準備 (1 時間)
11 回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習と発表(5)・保育絵 本の活用	面接授業	復習 保育絵本の活用につ いて振り返る(1 時間) 予習 読み語りの発表準備 (1 時間)
12 回目	<b>絵本の読み語り</b> ・読み語りの練習と発表(6)・手遊びの 活用	面接授業	復習 読み語り発表と手遊 びの活用について振り返 (1 時間) 予習 おはなし会について 調べる(1 時間)
13 回目	<b>おはなし会の研究(1)</b> ・おはなし会の準備・指導案作り	面接授業	復習 おはなし会の指導案 について振り返る(1 時間) 予習 おはなし会の準備 (1.5 時間)
14 回目	<b>おはなし会の研究(2)</b> ・おはなし会の実施	面接授業	復習 おはなし会を振り返 る(1 時間) 予習 おはなし会の準備 (1.5 時間)
15 回目	<b>おはなし会の研究(3)</b> ・おはなし会の実施	面接授業	復習 おはなし会を振り返 る (1 時間)
16 回目			

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	テキスト：購入「保育内容・言葉」 太田光洋編著 岸井勇雄・武藤隆・柴崎正行監修 同文書院 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	・ 2回目の講義後、読み語り発表用の絵本を準備すること。読み語りの練習、おはなし会の練習が重要になる。

講義科目名称：子どもの心	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1 学年	1 単位	選択	演習
担当教員				
藤野 正和 滝川 由香里				

授業概要	<p>この授業では、子どものそだちにかかわる保育者として、子どものこころの発達に関する基本的な知識とその内容を多角的から視点で捉える専門性の基礎を養うことを目指します。また、授業のなかで、子どもの遊びを通して、その活動の楽しさとその中で育まれる育ちについて体験を学んでいきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。</p> <p>①子どものこころの発達の基礎的な知識について説明できる。</p> <p>②子どもにかかわる保育者としての基本的な視点を説明することができる。</p> <p>③子どもの遊びをとおしてそのなかで育まれる育ちについて考察することができる。</p> <p>④子どもの発達に関する問題について資料等を用いて解決策を見出すことができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものこころの発達の基礎的な知識について説明できる。</li> <li>子どもにかかわる保育者としての基本的な視点を説明することができる。</li> </ul>	定期試験	70
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの実践を通して他者とのコミュニケーションを積極的に行い、活動を楽しむことができる。</li> </ul>	授業への取り組み	15
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達に関する問題について資料等を用いて解決策を見出すことができる。</li> </ul>	課題レポート	15
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

- ・ 授業に関する質問は直接のほか Melly でも受けつけ、 Web 上または授業回で答える
- ・ 本授業は定期試験 70%、課題レポート 15%、授業への参加・取り組み 15%の割合で評価する。
- ・ 課題の作成には、Microsoft の Word・Excel を積極的に使ってください。
- ・ 各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	子どものこころの発達と保育者の役割	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：指定の教科書を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
2 回目	乳幼児期の親と子のかかわり	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P15~30 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
3 回目	乳幼児の世界を知るメカニズム	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P31~46 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
4 回目	他者のこころを知るメカニズム	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P47~58 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
5 回目	言葉とコミュニケーションの発達	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P59~74 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
6 回目	自己と情動の発達、道徳性の芽生え	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P91~120 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
7 回目	子どもの発達とあそび	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P1~14,75~90 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)

8回目	子どもの発達とあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
9回目	子どもの発達とあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
10回目	子どもの発達とあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
11回目	子どもの発達とあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
12回目	子どもの発達とあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
13回目	子どもの発達に関わる障害①	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：教科書 P149~161 を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
14回目	子どもの発達に関わる障害②	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された資料を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
15回目	授業全体の総括	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された資料を通読する。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域の専門的事項（これらの内容を合わせた科目）
教科書・参考書	教科書：新保育ライブラリー 子どもを知る 乳幼児心理学，無藤隆・岩立京子編著，北大路書房
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合はそれ相応の対応を行います。

講義科目名称：保育実習 I（施設）	授業コード：90133
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	保育士：必修	実習
担当教員				
若杉千春、滝川由香里				

授業概要	<p>施設実習を通して、保育士資格の取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 社会福祉施設の役割、機能などを実践現場で体験を通して理解する。</p> <p>② 既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を身につける。</p> <p>③ 子どもに直接に関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深めることができる。</p> <p>④ 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解し、実践できる。</p> <p>⑤ 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身につけることができる。	・実習施設からの評価 ・巡回指導訪問	15% 5%
確かな専門的知識や技能	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について習得することができる。	・実習施設からの評価 ・実習日誌	15% 5%
コミュニケーション能力	関係者との協働を通して、児童や利用者の状況を理解しながら支援していく姿勢を身につけることができる。	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	児童および利用者の人権と最善の利益の考察、プライバシーの保護と守秘義務等について理解し、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・実習施設からの評価	15%
主体的に学ぶ力	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を明確にしながらか主体的に実習に臨むことができる。	・実習施設からの評価 ・巡回訪問指導 ・実習日誌	15% 5% 5%



出席	受験要件
合計	100%
補足事項	
<p>○実習日誌（10%）</p> <p>○実習施設からの評価（80%）</p> <p>○巡回訪問指導（10%）を総合評価しておこなう。</p> <p>※「保育実習Ⅰ」の全体評価は、「保育所実習（50%）」と「施設実習（50%）」で総合評価する。</p>	

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜福祉施設での実習＞（1日8時間以上×10日間）	
（内容）	
1	実習施設の役割と機能について学ぶ。
2	観察や記録を通し子どもを理解し、個々の状態に応じた援助やかかわりを学ぶ。
3	養護内容や生活環境について学ぶ。
4	生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。
5	職員間の役割とチームワークについて理解する。
6	記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して家庭・地域社会を理解する。
7	安全及び疾病予防への配慮について理解する。
8	専門職として保育士の役割と職業倫理について学ぶ。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	施設のオリエンテーションを受け、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する。必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	実習中は遅刻・欠席がないように心がけましょう。

講義科目名称：保育実習 I（保育所）	授業コード：90135
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	2	保育士：必修	実習
担当教員				
戸田 恵理子 松田 清美				

授業概要	<p>保育所実習を通して、</p> <p>① 保育所・認定こども園の生活を知り、乳幼児への理解を深め、保育所の機能・保育士の職務について学ぶ</p> <p>② 既習の教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用力を身につける</p> <p>③ 子どもに直接関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深める</p> <p>④ 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する</p> <p>⑤ 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解することを学習の目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、子どもたちとの関わりを楽しみながら実習に臨むことができる。	・実習中のサービス内容 ・巡回訪問指導	10% 10%
確かな専門的知識や技能	保育士に必要な、保育に関する専門的知識・技能を積極的に習得することができる。	・実習施設からの評価 ・実習日誌	10% 10%
コミュニケーション能力	子どもとの関わりを通して、子どもの年齢や発達に応じた声かけや援助の方法を身につけることができる。	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	子どもの最善の利益を保障する日々の保育を理解し、場面に応じた課題解決法を見出すことができる。	・実習施設からの評価 ・実習日誌	10% 10%
主体的に学ぶ力	日々の実習において、自己課題を明確にし、主体的に実習に臨むことができる。	・実習中のサービス内容 ・振り返りレポート	10% 10%
合計			100%
補足事項			
実習中のサービス内容（20%） 実習日誌（20%） 実習施設からの評価（40%） 巡回訪問指導（10%） 振り返りレポート（10%）を総合して評価をおこなう。			

※保育実習Ⅰの全体評価は「施設実習：50%」と「保育所実習：50%」で総合評価する。

実践実習（実習計画と学習内容）	
<保育所での実習>（1日 8時間以上×10日間）	
実習内容	
1	施設及び保育所・認定こども園の役割と機能について学ぶ
2	観察や記録を通し子どもを理解し、適切な援助や関わりを学ぶ
3	発達過程に応じた保育内容・保育環境について理解する
4	生活や余暇活動及び遊びの一部を担当し、保育技術の習得をする
5	保育計画立案、実践、反省、改善ができる
6	施設及び保育所、認定こども園と家庭・地域社会との連携を理解する
7	安全及び疾病予防への配慮について理解する
8	専門職としての保育士の役割と職業倫理について学ぶ

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド 小櫃智子・守 巧・佐藤 恵・小山朝子 わかば社 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内容ごとに、必要なプリントを配布
履修条件	
履修上の注意	・実習前後及び実習期間中の健康管理には十分留意すること ・実習に関わる準備を丁寧に行うこと
オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	・保育実習Ⅰ（保育所実習）の学びの振り返りを次の実習に活かしましょう

講義科目名称：令和3年度 保育実習Ⅱ（保育所）	授業コード：90503
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	2	保育士：選必 卒業：選択	実習
担当教員				
戸田 恵理子 前田 聖悟 紺谷 遼太郎				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。</li> <li>2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。</li> <li>3. 「保育実習Ⅰ」で習得した知識や内容を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援に携わる保育士に必要な専門知識や保育技術などを身につける。</li> <li>4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。</li> <li>5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。</li> <li>6. 実習における自己の課題を明確化する。</li> </ol>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	対人援助職である保育士の仕事に携わる者として、明るく柔軟な態度と責任感を持ちながら行動できる。	・実習園の評価	20%
確かな専門的知識や技能	保育に関する専門的知識・技能を実習現場で生かしながら、保育者からの指導助言を柔軟に受け止め、自身の知識・技術向上につなげることができる。	・実園からの評価 ・実習日誌	20% 5%
コミュニケーション能力	保育者の子どもや保護者との関係性に着目しながら、状況に応じたコミュニケーションの方法を習得することができる。	・実習園からの評価	20%
課題解決能力	1日1日の実習を丁寧に振り返ることや、子ども・保育者との継続的な関係性のもとに成り立つ保育中の様々な場면을多面的に分析・考察することができる。	・実習園からの評価 ・巡回指導訪問	10% 5%
主体的に学ぶ力	保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解しながら積極的に実習に臨むことができる。	・実習園の評価 ・実習日誌 ・巡回指導訪問	10% 5% 5%

合計	100%
補足事項	
○実習園からの評価 80%    ○実習日誌 10%    ○巡回指導訪問 10%    で総合評価を行う。	

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜保育所での実習＞（1日 8時間以上×10日間）	
実習内容	
1	保育全般に参加し、保育技術を習得する
2	子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について具体的に学ぶ
3	子どもの年齢・発達段階に応じた指導計画を立案し実践する
4	子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する
5	地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ
6	子どもの最善の利益への配慮を学ぶ
7	保育士としての職業倫理を理解する
8	保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて自己の課題を明確化する

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習Ⅰを履修すること</li> <li>・実習生カードⅡの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を担当者に提出すること</li> <li>・持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習に臨むこと</li> </ul>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前後及び実習期間中の健康管理には十分留意する</li> <li>・実習に関わる準備を丁寧に行う</li> <li>・実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする</li> </ul>
オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	様々な保育実践を通し、自身の保育を振り返ることで、保育者としての自己課題を明確にすること



講義科目名称：保育実習Ⅲ（施設）	授業コード：90137
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	保育士：必修	実習
担当教員				
若杉千春、滝川由香里				

授業概要	<p>1年時の保育実習Ⅰ（施設）で学んだ実習内容を踏まえ、専門的知識・技術の習得、保育士の資質等を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知恵や指導技術を身につけることができる。</p> <p>② 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することができる。</p> <p>③ 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。</p> <p>④ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。</p> <p>⑤ 保育士としての自己の課題を明確化することができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の取り組み</li> <li>・巡回指導訪問</li> </ul>	<p>10%</p> <p>5%</p>
確かな専門的知識や技能	児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質を習得することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設からの評価</li> <li>・実習日誌</li> </ul>	<p>10%</p> <p>10%</p>
コミュニケーション能力	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設からの評価</li> </ul>	20%
課題解決能力	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設からの評価</li> <li>・実習日誌</li> </ul>	<p>10%</p> <p>10%</p>

主体的に学ぶ力	実習の目標および自己課題を明確にし ながら主体的に実習に臨む姿勢を身に 着けることができる。	・実習中の取り組み ・振り返りレポート	10% 15%
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
○実習中の取り組み（20%） ○実習日誌（20%） ○実習施設からの評価（40%） ○振り返りレポート（15%） ○巡回訪問指導（5%）を総合評価しておこなう。			

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜保育所以外での施設実習＞（1日8時間以上×10日間）	
（内容）	
	実習施設事前オリエンテーション（上記実習期間前に実施する）
1	実習施設の理解① 目的、沿革、運営方針、環境（地理的、物的、人的）、1日の生活の流れ、児童の姿、子ども・利用者の姿
	実習施設の理解② 実習中の行事、実習計画（担当予定など）、実習中の心得（持ち物、服装等）、準備するものなど
2	（1）養護全般に参加し、養護技術を習得する。
	（2）個人差や生活環境に伴う子ども・利用者のニーズの把握とその理解。
	（3）子ども・利用者の観察や関わりを通して、児童の発達・利用者の援助を理解する。
	（4）子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。
	（5）子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。
	（6）保育士としての倫理を具体的に学ぶ。
	（7）児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。
	（8）多様な専門職との連携や、地域社会との連携について学ぶ。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	



教科書・参考書	
履修条件	施設のオリエンテーションを受け、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	実習中は遅刻・欠席がないように心がけましょう。

講義科目名称：教育実習	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	4単位	必修	実習
担当教員				
戸田 恵理子・前田 聖悟・紺谷遼太郎				

授業概要	<p>すでに学んだ理論をもとに、幼稚園・認定こども園において実際に園児と接し、幼児の実態を知り、幼稚園教諭・保育教諭としての職務内容や役割について理解が深まるよう、以下の事項を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習を通し幼児への理解を深め、幼児の発達に応じた保育内容と環境構成を学ぶ。</li> <li>2. 自身の具体的な子どもとの関りや幼稚園教諭・保育教諭の保育を通して、保育における個々の援助の重要性及び総合的に保育を捉える視点を学ぶ。</li> <li>3. 既習の学習全体の知識・技能を基礎とし、指導計画の作成と実践を通し、PDCAサイクルの重要性を理解する。</li> <li>4. 専門職としての幼稚園教諭・保育教諭の職業倫理を学び、自己の課題を明確にする。</li> <li>5. 多様な保育のニーズ・保護者支援・地域連携など幼稚園の社会的役割及び幼稚園教諭・保育教諭の職務内容や役割について理解を深める。</li> </ol>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質及び職業倫理を身に付けることができる	・実習園の評価	20%
確かな専門的知識や技能	幼稚園教諭・保育教諭の役割と仕事内容を理解し、専門的な知識や技能を習得することができる。	・実習園の評価 ・実習日誌	20% 5%
コミュニケーション能力	保育者との協同を通して、幼児の状況を理解しながら支援していく姿勢を身に付けることができる。	・実習園の評価	20%
課題解決能力	実習を通して、自らの課題をより明確にし、幼稚園教諭・保育教諭になるにあたっての課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・実習園の評価 ・巡回指導訪問	10% 5%

主体的に学ぶ力	実習の中で目標設定・計画・実践・振り返り・考察を繰り返し、自己課題を明確にしながら主体的に実習に臨むことができる。	・実習園の評価 ・実習日誌 ・巡回指導訪問	10% 5% 5%
合計			100%
補足事項			
○実習園の評価 80% ○実習日誌 10% ○巡回指導訪問 10% を総合評価しておこなう。			

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜幼稚園での実習＞ 1日8時間以上×20日間	
（内容）	
1	保育全般に参加し、保育技術を習得する
2	子どもとの関りを通して年齢発達・個人差について理解し、それに応じた保育方法を学ぶ
3	安全・健康に配慮した物的環境や人的配慮について理解する
4	子どもの姿に応じた保育計画を立案し、実践と振り返りを行う中で保育における PDCA サイクルを学ぶ
5	様々な家庭環境や発達の遅れに伴う個々の子どもに対する配慮について理解し、その具体的方法について学ぶ
6	幼稚園・こども園に求められる保育ニーズや子育て支援・地域連携等について具体的に学ぶ
7	幼稚園教諭・保育教諭としての職業倫理を理解する
8	幼稚園教諭・保育教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ自己の課題を明確化する

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむこと
履修上の注意	実習実施前の「実習指導 I」への授業出席が 2/3 以上ある者に教育実習 I への参加を認める
オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する

備考・メッセージ

積極的な姿勢で実習に臨み、実践を通し自らの気づきや学びを深めること

講義科目名称：保育実習指導 I（施設）	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	保育士：必修	演習
担当教員				
花城暢一、滝川由香里				

授業概要	<p>授業では、保育士資格の取得のために必要な施設実習について専門的な知識・技術、実習生としての姿勢を学習していく。本授業では以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 施設実習の意義・目的を理解する。</p> <p>② 実習内容を理解し、実習生としての心構えを学び、自らの実習の課題を明確化する。</p> <p>③ プライバシーの保護と守秘義務について理解する。</p> <p>④ 子どもの人権と最善の利益の尊重の具現化について理解する。</p> <p>⑤ 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。</p> <p>実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を述べることができる。	・学習に取り組む姿勢	5%
確かな専門的知識や技能	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について述べるができる。	・確認テスト ・小テスト	50% 10%
コミュニケーション能力	関係者との協働を通して、児童や利用者の状況を理解しながら支援していくために必要なことを述べるができる。	・確認テスト	10%
課題解決能力	児童および利用者の人権と最善の利益の考察、プライバシーの保護と守秘義務等について理解し、課題解決に必要な知識について述べるができる。	・確認テスト	10%
主体的に学ぶ力	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解	・確認テスト ・事前準備	10% 5%

	し、実習の目標および自己課題を明確にし、ながら主体的に実習に臨むことができる。	・事後指導	5%
		合計	100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	実習オリエンテーション 実習とは 施設・幼稚園・保育実習について 施設実習までのスケジュール 施設実習の基本理解	面接授業	予習；教科書 p 8-11 を読み、まとめる (2 時間) 復習；幼稚園・保育所・施設実習の内容 (意義・目的) について理解する (2 時間)
2 回目	実習までに確認する事・身に付けておくべき事 障がい者施設及び事業所について①	面接授業	予習；教科書 p 16-37、62-89 を読み、まとめる (2 時間) 復習；各実習施設について授業内容を振り返り、要点をまとめる (2 時間)
3 回目	障がい者施設及び事業所について②	面接授業	予習；教科書 p 16-37、62-89 を読み、まとめる (2 時間) 復習；p 20 を完成させ、また実習期間の日程、施設での生活支援などについて要点をまとめる。(2 時間)
4 回目	施設および障害についての学習 実習施設希望調査	面接授業	予習；自らが実習で何を学びたいかを考える (2 時間) 復習；希望した施設のうち、実習可能な施設を整理し、希望調査を完成させる。(2 時間)
5 回目	実習日誌について①	面接授業	予習；教科書 p 90-95 を読み、まとめる (2 時間)

	実習日誌とは		復習；実習中の記録（日誌の構成と内容）について理解を深める。教科書 p97 を完成させる
6 回目	保健衛生について インフルエンザ予防接種について	面接授業	予習；子どもの保健の教科書やプリントを見て、復習をしておく（2 時間） 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
7 回目	実習日誌について② 日誌の書き方	面接授業	予習；教科書 p 98-100 を読み、まとめる（2 時間） 復習；p100 を完成させる（2 時間）
8 回目	守秘義務・実習におけるトラブルシューティング・ 遵守事項・緊急連絡先について	面接授業	予習；教科書 p42~43、 116-122 をよみ、まとめる（2 時間） 復習；実習に関する個人情報の保護、守秘義務、人権尊重等について、要点をまとめる（2 時間）
9 回目	リーダー決め、実習先（施設）の事前学習、 課題設定について	面接授業	予習；教科書 p 44~47、112 を読み、まとめる（2 時間） 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
10 回目	実習課題設定・振り返りについて * 実習生カード下書き提出	面接授業	予習；教科書 p 112-115 を読み、まとめる（2 時間） 復習；立案した実習課題が実現可能なものであるか、課題解決方法について具体的に考察する。（2 時間）
11 回目	日誌の書き方③ 日誌の確認（名前記入など） 責任実習について	面接授業	予習； p 102-111 を読み、まとめる。（2 時間） 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
12 回目	実習生カード清書・書類配布 お礼状について、 腸内検査について①	面接授業	予習；教科書 p 124-125 を読み、まとめる（2 時間） 復習；授業を振り返り、要点をまとめる（2 時間）

13 回目	オリエンテーションについて・ 電話のかけ方・訪問の仕方・応答の仕方 腸内検査②	面接授業	予習； p 48-57 を読み、ま とめる（2 時間） 復習；電話のかけ方、オリ エンテーションでの質問項 目等について要点をまとめ る（2 時間）
14 回目	実習最終準備 事前指導・事後指導について 書類作成（遵守事項・誓約書・車両通勤許 可書）	面接授業	予習； p 126-131 を読み、 まとめる（2 時間） 復習；施設実習の留意点・ 遵守事項等について要点を まとめる（2 時間）
15 回目	実習時の学び・実習後の Qand A 実習確認テスト	面接授業	予習； p 132-138 をよみ、 まとめる 復習；授業内容を振り返り、 要点をまとめる。確認テス トの内容を振り返る。(2 時 間)
16 回目	書類作成（出勤簿・評価表） 遵守事項等返却	面接授業	
17 回目	事後指導	面接授業	予習；実習時の記録を振り 返り、自己の課題を明確に しておく。(2 時間) 復習；振り返りを基に保育 士としての自己課題をまと める。(2 時間)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	テキスト：『施設実習 パーフェクトガイド』守 巧 他 著 わかば社 参 考 書：関連資料 実習日誌
履修条件	
履修上の注意	実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に 十分注意する事。 ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。</li> <li>・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。</li> <li>・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。</li> <li>・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。</li> </ul>
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限は厳守

講義科目名称：実習指導 (保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)	授業コード：
英文科目名称：	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	2	保育士 必修 幼免 必修	演習
担当教員				
前田 聖悟 戸田 恵理子 紺谷 遼太郎				

授業概要	<p>資格取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を習得していく。本授業では以下の事項を学習の目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育者としての職業倫理を理解する実習園の概要を理解する実習園の保育の目標を理解する。</li> <li>2 実習記録の意義と方法を習得する指導計画立案をする模擬保育等を行い多様な保育技術の習得をする。</li> <li>3 実習の自己課題を明確にする子どもの発達を理解する実習に必要な書類の確認・提出や遵守事項に沿った実習内容に取り組む。</li> <li>4 実習後の自己点検・自己評価をするグループディスカッションやロールプレイによって実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。</li> <li>5 保育者の仕事の現状を丹念に把握しながら保育者としての資質向上への意欲を持つ。</li> </ol>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身に付けることができる	実習生カード	10%
確かな専門的知識や技能	実習を円滑に進めていく知識や技術を習得することができる。	レポート 確認テスト	10% 20%
コミュニケーション能力	グループディスカッションやロールプレイによって 実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。	レポート	10%
課題解決能力	幼稚園・保育所・認定こども園における実習の目的・内容・方法を理解することができる。 「事前指導」では、各自の学習内容や課題を明確にする 「事後指導」では、実習で得た学習内	事後報告書 指導案立案	20% 20%

	容を振り返り、多面的に検討して反省・評価を行い改善への課題を探求することができる。		
主体的に学ぶ力	授業への意欲、提出書類の正確さ、事前準備（指導案立案）実習の振り返りを総合して評価を行うことができる。	レポート	10%
合計			100%
補足事項			
実習生カード 10%      確認テスト 20%      レポート 30%      事後報告書 10% 指導案立案 20%      総合して評価する。 ※レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	幼稚園教育実習の意義・目的について ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる ・守秘義務について理解する	オンライン等の対応可	予習：シラバス確認（2時間） 復習：確認シートの完成（2時間）
2 回目	幼稚園教育実習に向けて ・幼稚園・認定こども園（幼児部）の1日の流れについて理解する ・保育及び実習のねらいなど日誌の記入項目について説明できる（確認）	オンライン等の対応可	予習：幼稚園の1日の生活の流れと内容を確認する（2時間） 復習：日々のねらいの立て方について参考資料をもとに確認する（2時間）
3 回目	幼稚園実習先オリエンテーションについて ・オリエンテーション報告書の項目について説明できる ・実習生カードの作成の目的や記入内容について説明できる ・園への電話のかけ方や訪問について説明できる	オンライン等の対応可	予習：実習先のホームページを確認し、教育方針や保育内容について整理する（2時間） 復習：幼稚園教育実習Ⅰ実習生カード（下書き）作成（2時間）
4 回目	保育実践に向けた指導案立案について ・3歳児・4歳児・5歳児の年齢・発達段階・興味関心に応じた活動について理解する。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性を理解する。	オンライン等の対応可	予習：1年次の指導案のチェックと反省・改善（2時間） 復習：担当クラスの指導案立案（2時間）
5 回目	実習書類に関する書類の作成について ・評価表・出勤簿の作成や持参書類（証明書等の申請）を確認する。 ・実習通勤方法や実習期間中の連絡・相談方法について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：実習期間や実習内容について確認する（2時間） 復習：車輛通勤許可証や申請書類等について実習初日の提出物などのリストを作成する（2時間）
6 回目	模擬保育実践について ・グループ毎、担当年齢の保育実践に必要な保育環境を設定することができる。 ・実践を通した振り返りを行い、子どもの姿に応じた保育者の配慮・援助事項に気づき説明すること	オンライン等の対応可	予習：グループメンバーと模擬保育に必要な準備物等の確認を行う（2時間） 復習：感想レポートの作成・提出（2時間）

	ができる。		
7回目	実習前の指導について 確認チェックシートの項目を確認し、健康観察カード及び腸内検査結果の同封することをリーダーと共に確認することができる。	オンライン等の対応可	予習：実習初日及び実習期間に必要な準備物等について実習生同士で確認する(2時間) 復習：実習後のお礼状について参考資料に目を通しておく(2時間)
8回目	幼稚園教育実習Ⅰ期間(5月31日～6月11日) ・巡回担当者と実習状況等の確認を通して改善点を具体的に理解・把握した上で、今後の実習に取り組むことができる	オンライン等の対応可	予習：翌日の保育活動の確認を行う(2時間) 復習：日誌記入を通して、ねらいに対する振り返りを行う(2時間)
9回目	実習直後の振り返り・自己評価 ・「実習報告会」の中で自身の実習体験の報告と、幼稚園教育実習Ⅱに向けた具体的な自己課題の設定ができる。	オンライン等の対応可	予習：日誌の受取及び実習担当者への提出日確認(1時間) 復習：幼稚園教育実習Ⅱ実習生カード(下書き)作成(2時間)
10回目	保育所実習の意義・目的について ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる。 ・オリエンテーション実施に必要な連絡や準備内容について説明できる。 ・実習生カードの作成の目的や記入内容について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：シラバス参照しながら保育所実習の内容にて確認する(2時間) 復習：確認シートの完成(2時間)
11回目	保育実習(保育所実習)に向けて ・保育所・認定こども園(乳児部)のデイリープログラムについて理解する ・保育及び実習のねらいなど日誌の記入項目について説明できる(確認)	オンライン等の対応可	予習：保育所のデイリープログラムを確認する(2時間) 復習：日々のねらいの立て方について参考資料をもとに確認する(2時間)
12回目	子どもの発達(0～2歳児)の見直しについて(保育所実習に向けた模擬保育計画) ・3歳未満児へのかかわりについて理解する。 ・0歳児・1歳児・2歳児の年齢・発達の個人差・興味関心に応じた活動について説明できる。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：確認テストに向けて1年次の関連既習科目を確認する(2時間) 復習：確認テスト内容を再度見直し、実習までにマスターする(2時間)
13回目	子どものあそび・発達段階を理解・確認(保育所実習に向けた模擬保育計画) ・3歳未満児へのかかわりについて理解する。 ・0歳児・1歳児・2歳児の年齢・発達の個人差・興味関心に応じた活動について説明できる。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性について説明できる。	オンライン等の対応可	予習：3歳未満児の保育内容について指針をもとに整理する(2時間) 復習：複数担任制であること、個別的なかかわりに配慮した指導案立案(2時間)
14回目	子どものあそび・発達段階を理解・確認(保育所実習に向けた模擬保育計画) ・3歳未満児へのかかわりについて理解する。	オンライン等の対応可	予習：3歳未満児の保育内容について指針をもとに整理する(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0 歳児・ 1 歳児・ 2 歳児の年齢・ 発達の個人差・ 興味関心に応じた活動について説明できる。</li> <li>・ 保育実践に必要な用具・ 準備内容をイメージした立案・ 見本作成・ シュミレーションを行う必要性について説明できる。</li> </ul>		復習:複数担任制であること、個別的なかかわりに配慮した指導案立案 (2 時間)
15 回目	実習書類に関する書類の作成について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価表・ 出勤簿の作成や持参書類 (証明書等の申請) を確認する。</li> <li>・ 実習通勤方法や実習期間中の連絡・ 相談方法について説明できる。</li> </ul>	オンライン等の対応可	予習: 実習初日及び実習期間に必要な準備物等について実習生同士で確認する (2 時間) 復習: 実習後のお礼状について参考資料に目を通しておく (2 時間)
16 回目	定期試験      なし		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト: 幼稚園・ 保育所・ 認定こども園実習パーフェクトガイド 小櫃智子・ 守 巧・ 佐藤 恵・ 小山朝子      わかば社 参考書: 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・ 保育要領 内容ごとに、必要なプリントを配布
履修条件	実習前の実習指導の授業出席 3 分の 2 以上の場合、実習参加を可とする
履修上の注意	毎回の予習・ 復習実施の上、受講すること
オフィスアワー	(前期) 火曜日の 1 限目 (研究室) (後期) 月曜日の 1 限目 (研究室) 授業時間・ 会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	オリエンテーション報告書をはじめとした提出物をそろえること 日頃より物事へ丁寧に取り組むことを意識すること

講義科目名称：保育実習指導Ⅱ	授業コード：90506
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（集中講義）	2年次	1	保育士：選択必修	演習
担当教員				
戸田 恵理子 前田 聖悟 紺谷 遼太郎				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。</li> <li>2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。</li> <li>3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。</li> <li>4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。</li> <li>5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。</li> </ol>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもに関わる「保育」という職業において、あたたかなまなざしや優しさを持ち、子ども・保育者・保護者に対する重要性を理解できる。	・課題レポート	10%
確かな専門的知識や技能	既習の学習内容と関連させ専門的知識を活用し、保育の実践につなげる応用力を身に着けることができる。	・確認テスト	20%
コミュニケーション能力	模擬保育等の実践活動においてメンバーと協力しながら積極的に取り組むことができる。	・模擬保育指導案立案 ・模擬保育感想レポート	20% 30%
課題解決能力	実習を通して明らかになった自己課題を、様々な観点から分析し保育の実践力を高めていくことができる。	・保育実習 PDCA シート	10%
主体的に学ぶ力	実習を通して明らかになった反省・課題点の改善を積極的に行うことができる。	・自己課題確認シート	10%

合計	100%
補足事項	
模擬保育指導案立案 (20%) 模擬保育感想レポート (30%) 確認テスト (20%) 課題レポート (10%) 保育実習 PDCA シート (10%) 自己課題確認シート (10%) を総合して評価する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	保育実習による総合的な学び ・子どもの最善の利益を考慮した 保育について説明できる	オンライン 等の対応可	予習：保育所保育指針 1 章・4 章を読んでおく (2 時間) 復習：実習園で取り組んでいる 保護者支援内容についてレポ ートを作成する (2 時間)
2 回目	計画と観察、記録、自己評価 I ・保育の全体計画に基づく 具体的な計画について理解する	オンライン 等の対応可	予習：日誌を通して、子ども・ 保育者・実習生に関する記述を 抽出する (2 時間) 復習：保育場面の捉え方、記録 の方法などについて振り返り、 実習シートにまとめる。
3 回目	計画と観察、記録、自己評価 II ・保育の観察、記録、自己評価に基づく 保育の改善について説明できる ・乳幼児の保育の流れを踏まえた保育を 計画することができる (指導案立案)	オンライン 等の対応可	予習：保育者の具体的な援助の 内容及び方法について考えをま とめておく (2 時間) 復習：担当年齢の指導案を立案 する (2 時間)
4 回目	保育の実践力の育成 I ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助に ついて説明できる ・模擬保育に必要な準備・実践内容を理解し メンバーと協力して取り組むことができる	オンライン 等の対応可	予習：立案の際、保育者の具体 的な援助の内容及び方法につい て熟考する (2 時間) 復習：担当年齢の指導案立案に おいて内容の共有をメンバーと 共に十分に行う (2 時間)
5 回目	保育の実践力の育成 II ・保育の知識・技術を活かした保育実践 (0 歳児) に メンバーと協力して取り組むことができる	オンライン 等の対応可	予習：模擬保育において主担 当・補助の保育士の連携をはか る (2 時間) 復習：0 歳児の模擬保育を通し て振り返りを行う (2 時間)
6 回目	保育の実践力の育成 III ・保育の知識・技術を活かした保育実践 (1 歳児) に メンバーと協力して取り組むことができる	オンライン 等の対応可	予習：模擬保育において主担 当・補助の保育士の連携をはか る (2 時間) 復習：1 歳児の模擬保育を通し て振り返りを行う (2 時間)
7 回目	保育の実践力の育成 IV ・保育の知識・技術を活かした保育実践 (2 歳児) に メンバーと協力して取り組むことができる	オンライン 等の対応可	予習：模擬保育において主担 当・補助の保育士の連携をはか る (2 時間) 復習：2 歳児の模擬保育を通し て振り返りを行う (2 時間)
8 回目	保育所実習に向けて I (保育の合同面談会) ・実習園 (保育所・認定こども園) の保育に ついて理解することができる	オンライン 等の対応可	予習：実習園の参加があるか事 前に参加教育・保育施設につい て調べておく (2 時間) 復習：見学・自主実習・採用試 験に関する情報収集ができるよ う参加施設一覧をもとに訪問す る (2 時間)
9 回目	保育所実習に向けて II (保育の合同面談会) ・実習園 (保育所・認定こども園) の保育に	オンライン 等の対応可	予習：訪問等の希望園がある場 合、質問事項をまとめておく (2 時間)

	ついて理解することができる		復習：オリエンテーション・自主実習・採用試験に関する情報収集ができるよう積極的に参加を目指す（2時間）
10回目	保育士の専門性と職業倫理Ⅰ（卒業生講話） ・保育士の業務内容や職業倫理について理解する	オンライン等の対応可	予習：保育士倫理綱領に目を通しておく（2時間） 復習：現場保育者の講話から実習に向けての準備事項を整理する（2時間）
11回目	保育士の専門性と職業倫理Ⅱ（卒業生講話） ・保育の仕事の責任とやりがいについて理解することができる	オンライン等の対応可	予習：自身がイメージする保育の仕事について考えをまとめておく（2時間） 復習：現場保育者の講話から自身が目指す保育者像についてレポートを作成する。
12回目	保育実習巡回指導Ⅰ ・実習意欲・態度・保育の能力等について把握することができる	オンライン等の対応可	予習：保育実習Ⅰの評価項目を再度確認する（2時間） 復習：「実習の態度」及び「保育の能力」内容に基づいて受けた指導内容を整理する（2時間）
13回目	保育実習巡回指導Ⅱ ・実習意欲・態度・保育の能力等について把握できたことをもとに、実習内容の改善に努めることができる	オンライン等の対応可	予習：保育実習Ⅱの評価項目を再度確認する（2時間） 復習：「実習の態度」及び「保育の能力」内容に基づいて受けた指導内容を整理し、改善につなげる（2時間）
14回目	事後指導における実習の総括と評価Ⅰ <帰校日> ・保育実習Ⅰ（保育所）の自己評価を通して実習内容を振り返ることができる	オンライン等の対応可	予習：保育実習Ⅰの日誌から子どもを捉える視点の変化を整理する（2時間） 復習：保育実習Ⅰ（10日間）を通して子どもへのかかわりの変容を加筆修正する（2時間）
15回目	事後指導における実習の総括と評価Ⅱ <帰校日> ・グループディスカッションを通して、実習経験を共有することができる ・保育実習Ⅱ（保育所）に向けた自己課題を設定することができる	オンライン等の対応可	予習：保育実習Ⅰの日誌から保育者の具体的な援助についての記述を整理する（2時間）。 復習：保育実習Ⅱ（10日間）に向けて設定した自己課題の具体的な解決策を掲げる（2時間）
16回目	定期試験 なし		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド 小櫃智子・守 巧・佐藤 恵・小山朝子 わかば社 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 内容ごとに、必要なプリントを配布
履修条件	実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする
履修上の注意	毎回の予習・復習実施の上、受講すること



オフィスアワー	(前期) 火曜日の1限目 (研究室) (後期) 月曜日の1限目 (研究室) 授業時間・会議等以外の時間は対応可能
備考・メッセージ	オリエンテーション報告書をはじめとした提出物をそろえること 日頃より物事へ丁寧に取り組むことを意識すること

講義科目名称：保育実習指導Ⅲ（施設）	授業コード：90132
英文科目名称：	実務教員

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	保育士：必修	演習（集中講義）
担当教員				
若杉千春、滝川由香里				

授業概要	<p>授業では、保育士資格の取得のために必要な施設実習について専門的な知識・技術、実習生としての姿勢を学習していく。本授業では保育実習Ⅰ（施設）で習得した知識や技術をさらに向上していくために以下の事項を学習の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 保育実習Ⅲ（施設）の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。</li> <li>② 実習内容および実習課題を明確化する。</li> <li>③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。</li> <li>④ 子どもおよび利用者の最善の利益と職業倫理について理解する。</li> <li>⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。</li> <li>⑥ 社会資源と関係機関との連携を理解する。</li> <li>⑦ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。</li> </ol>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。	・学習に取り組む姿勢	40%
確かな専門的知識や技能	児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質を習得することができる。	・レポート課題	10%
コミュニケーション能力	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。	・レポート課題	10%

課題解決能力	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・レポート課題	20%
主体的に学ぶ力	実習の目標および自己課題を明確にしながら主体的に実習に臨む姿勢を身に着けることができる。	・レポート課題	20%
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
○授業内レポート（40%） ○授業の取り組み（40%） ○振り返り（レポート・振り返り）（20%）を総合評価しておこなう。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション・保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の明確化	保育実習Ⅲ（施設）の意義と目的について、保育実習Ⅰにおける反省と自己課題の設定	予習：保育実習Ⅰを振り返り、保育実習Ⅲの課題を考える。 復習：配布資料を読む
2回目	保育実習Ⅲ実習先についての内容と理解	各実習施設を理解する	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：保育実習Ⅲの実習施設および実習内容について理解を深める。
3回目	施設種別毎の理解と実習内容	保育実習Ⅲの実習施設について理解する	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：施設の種別を理解し、実習内容を振り返る。
4回目	施設種別毎の理解と実習内容 ・実習先の決定	保育実習Ⅲの実習施設について理解するし、実習施設を決める	予習：テキストおよび配布資料を読む。実習希望施設までの移動手段を調べる。 復習：施設の種別を理解し、実習先の位置づけ、活動内容などについて理解を深める。
5回目	養護技術を習得する	施設実習での生活援助について学ぶ	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習施設での生活場

			面の援助方法について理解を深める。
6回目	子ども・利用者の個人差・ニーズについて理解する	子ども・利用者のニーズについて学ぶ	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：子どもや・利用者のニーズについて理解を深める。
7回目	実習計画を立案する	保育実習Ⅰの内容を基に実習Ⅲの計画の立案を行う	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習計画に内容を振り返る。
8回目	保育技術の発表と反省・評価①	指導案立案・実践・振り返り①	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：指導案の立案などについて理解を深める。
9回目	保育技術の発表と反省・評価②	指導案立案・実践・振り返り②	予習：テキストおよび配布資料を参考にして、日誌の記入を練習する。 復習：指導案の立案などについて理解を深める。
10回目	関係機関との連携方法を具体的事例で学ぶ	事例検討（グループワーク）	予習：配布資料を読む。 復習：事例検討を通して、連携のあり方などについて理解を深める。
11回目	地域社会との連携について学ぶ	事例検討（グループワーク）	予習：配布資料を読む。 復習：事例検討を通して、地域との連携について理解を深める。
12回目	実習先事前訪問の理解	オリエンテーションの準備	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習準備（オリエンテーション等）の準備について振り返る。
13回目	お礼状の書き方・反省会について	実習の振り返りについて	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：お礼状の書き方などを理解する。
14回目	施設実習直前の全体	実習内容、心得注意等	予習：テキストおよび配布

	的事前指導		資料を読む。 復習：実習の留意点等を振り返る。
15 回目	施設実習事後指導	施設実習の振り返りを行う。	予習：実習時の記録を振り返り、自己の課題を明確にしておく。 復習：振り返りを基に保育士としての自己課題をまとめる。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：『施設実習 パーフェクトガイド』守 巧 他 著 わかば社 参 考 書：関連資料 実習日誌
履修条件	
履修上の注意	1 回目～4 回目の授業は、前期の5月～7月に実施する。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

講義科目名称：保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	授業コード：13233
英文科目名称：Seminar in teacher's training (nursery and kindergarten)	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2	必修・選択	演習
担当教員				
川原ゆかり 陣内 敦 中尾健一郎 花城暢一 友廣憲子 戸田恵理子 滝川由香里 座間味愛理 藤野正和 前田聖悟 紺谷遼太郎 （吉元千加里）				

授業概要	<p>①教育・保育に対する使命感や情熱を持つ 子どもから学び共に成長する姿勢を身につける</p> <p>②子どもの成長や安全・健康を第一に考え、適切に行動する</p> <p>③保育者としての自覚に基づき、適切な行動をとる 組織の一員として協力して組織を遂行する 保護者や地域と良好な人間関係を築く</p> <p>④子どもに対して受容的に接し、豊かな交流をおこなう 子どもの発達や心身の状況を理解し、適切な援助をおこなう 子どもと信頼関係を築き、活力ある学級経営をおこなう</p> <p>⑤情報収集力を高めるために、タブレット等を活用し、保育・教育の基本的な知識と保育技能を身につける 保育の援助技術を身につける 子どもの育ちを確かめながら保育計画を立てる</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	・社会や組織の一員としての自覚を持ち、良好な人間関係を築くことができる		
課題解決能力	・子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。 ・教科・保育内容等の内容を理解し、指導法を工夫することができる ・子どもや学級経営などを理解し、適切に行動することができる	各回の課題シート	60%

主体的に学ぶ力	・保育者としての使命感や責任感を持ち、子どもから学び共に成長しようと努力できる	ポートフォリオファイルの作成状況	20%
		口頭発表	20%
合計			100%
補足事項			
毎回の課題シート 60%、ポートフォリオファイルの作成状況 20%、口頭発表 20%の割合で評価する			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	<b>使命感や責任感に関する事項 養護的・教育的愛情等に関する事項①</b> ・オリエンテーション（陣内） ・実習の振り返り(自己評価)と保育のPDCAサイクル（実習担当）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
2 回目	<b>使命感や責任感に関する事項 養護的・教育的愛情等に関する事項②</b> ・保育に対する使命感と自己の職責を果たす意思について（実習担当）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
3 回目	<b>使命感や責任感に関する事項 養護的・教育的愛情等に関する事項③</b> ・実習の振り返りと保育者としての課題(グループ協議)（実習担当）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
4 回目	<b>使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項④</b> ・体験の共有(まとめ・発表)（実習担当）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
5 回目	<b>使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項⑤</b> ・保育者の持つべき養護的・教育的愛情と	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間）

	は（実習担当）		復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
6回目	<b>使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項⑥</b> ・保育者として成長するための課題の認識と解決に向けて（実習担当）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
7回目	<b>社会性や対人関係に関する事項①</b> ・組織の一員としての自覚と職務遂行（川原）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
8回目	<b>社会性や対人関係に関する事項②</b> ・少子高齢化と世代間交流（花城）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
9回目	<b>幼児理解や学級経営に関する事項①</b> ・子どもの理解と学級経営（前田・紺谷）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
10回目	<b>幼児理解や学級経営に関する事項②</b> ・発達障害のある子どもの理解と援助（藤野）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
11回目	<b>幼児理解や学級経営に関する事項③</b> ・長時間保育と子どもの心身の発達の（戸田）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）



			する（2時間）
12回目	<b>教科・保育内容等の指導力に関する事項①</b> ・保育の中の表現造形の意義と捉え方（陣内）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
13回目	<b>教科・保育内容等の指導力に関する事項②</b> ・保育の中の健康の意義と捉え方（中尾）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
14回目	<b>教科・保育内容等の指導力に関する事項③</b> ・保育の中の音楽表現の意義ととらえかた（友廣）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
15回目	<b>ポートフォリオファイルの作成</b> 資料をまとめポートフォリオファイルを作成する	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）
16回目	<b>口頭発表と学習の振り返り</b> 口頭発表シートを作成し、発表を行い、レポートをまとめる	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2時間） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する
履修条件	特になし

履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること。
オフィスアワー	各授業担当教員が授業の前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	毎回の資料および課題シートについてはファイルに綴じておくこと。

講義科目名称：卒業研究 I	授業コード：52132 52133 52134 52135 52136 52137 52138 52139 52140 52141 他1件
英文科目名称：Seminar for graduation research I	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1	必修・選択	演習
担当教員				
陣内 敦 中尾健一郎 花城暢一 友廣憲子 戸田恵理子 滝川由香里 座間味愛理 藤野正和 前田聖悟 紺谷遼太郎 (吉元千加里)				

授業概要	<p>①自ら課題にするゼミナールを選択する 地域活動や講演会等に参加し問題意識を持つ文献などから現代の保育・教育に関する課題を理解する</p> <p>②子育て支援機関の現状を知る 子育て支援機関の役割について考察する 保育・教育関連機関の連携の現状について理解を深める</p> <p>③ゼミ活動における議論を通し自らの興味関心を探る 自己の保育観・保育者観を見つめる ゼミで取り組むテーマを見つける</p> <p>④地域の保育・教育機関を訪問し調査する 実地研修に参加する 調査の方法を習得する</p> <p>⑤調査した結果や研修で学んだことをまとめる 調査結果や研修にて修得したことをもとに議論し、理解を深める 新たな課題を見つけ解決策を模索する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関する現代の社会的課題について問題意識を持つことができる</li> <li>・保育の現場で実際に起こっている課題を捉え、それについて考えることができる</li> <li>・情報収集力を高めるため、タブレット等を活用し、自らの追求すべき研究課題を発見することができる</li> </ul>	授業への参加・態度 取り組みへの積極性・協調性	40% 60%

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育実践現場を見学し、課題の現状分析を行うことができる</li> <li>・保育の現場で得た学習内容とこれまでの学習内容を有機的に関連付けることができる</li> </ul>		
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
授業への参加・態度 40%、取り組みへの積極性・協調性 60%の割合で、ゼミごとに評価する			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
分野1 陣内	<b>造形を通した子育て支援</b> <b>造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解</li> <li>・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発</li> </ul> <small>※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する</small>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野2 中尾 (吉元)	<b>子どもの健康と運動遊びについて考える</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と運動の関係について体験を通して理解する</li> <li>・地域の運動遊び環境について体験を通して理解する</li> <li>・様々な環境に応じた運動遊びを実践する</li> </ul> <small>※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する</small>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野3 花城	<b>地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て環境や様々な取り組みについて考える</li> <li>・地域の自然や公園等を調査し、子育てと自然環境の関わりについて考察する</li> <li>・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける</li> </ul>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

	※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する		
分野4 友廣	<b>保育における音楽教育を考える</b> ・保育における音楽活動について理解する ・保護者や子どもたちとの交流を通じた音楽活動を実践する ・様々な身体表現を理解する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野5 戸田	<b>子どもとあそびについて</b> ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し、様々な保育資源を知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野6 滝川	<b>生命（いのち）の教育について</b> ・生命の誕生について理解する。 ・生命を育むために必要な要素について理解する。 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野7 座間味	<b>ピア・グループ活動の体験</b> ・保育者としてピア関係を構築する意義を理解する ・自己表現と集団の凝集性を高めるワークを体験する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野8 藤野	<b>子どもの発達と障害</b> ・子どもの発達に関する学習や調査を行う ・子どもの発達を体験を通して学ぶ 障害児に対する支援や関わりについて学ぶ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野9 前田	<b>子どもの育ちにおける自然体験の意義について</b> ・「センスオブワンダー」を読み解きながら自身の体験について語りを通して気づきを深める。 ・語りを通して得られた気づきをもとに自	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

	然体験のフィールドワークを行う。 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する		
分野10 紺谷	授業内容未定	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること。
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	各ゼミの活動においては主体的な学ぶ姿勢をもち、地域に必要とされる保育人材になるため資質向上に努めること

講義科目名称：卒業研究Ⅱ	授業コード：52231 52232 52233 52234 52235 52236 52237 52238 52239 52240 他1件
英文科目名称：Seminar for graduation researchⅡ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1	必修・選択	演習
担当教員				
陣内 敦 中尾健一郎 花城暢一 友廣憲子 戸田恵理子 滝川由香里 座間味愛理 藤野正和 前田聖悟 紺谷遼太郎 (吉元千加里)				

授業概要	<p>①設定したテーマについて調査学習する 関連事項について文献資料などを収集し熟読する 各教科が横断的に関連していることを理解する</p> <p>②議論の際に他者の意見を聞く姿勢を学ぶ 結論を導き出していく過程を学ぶ 情報リテラシーについて理解する</p> <p>③問題を解決するために様々な視点の情報を収集する 様々な立場からの意見を聞く 自己の意見を再構成する方法を学ぶ</p> <p>④取り組んで行く課題を自己の問題として考察する 調べた内容をまとめ発表する お互いに発表要項をまとめる</p> <p>⑤卒業研究活動報告会で他ゼミの発表を聞く 発表内容について理解を深める ゼミ仲間と協力して取り組んだことを振り返る</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を身につけている</li> <li>・課題解決のための対応・判断方法などについて検討する力を身につけている</li> <li>・情報収集能力を高めるために、タブレット等を活用し、多視的な観点によって課題を考察することができる</li> </ul>	授業への参加・態度 活動報告集の資料 活動報告会の発表	40% 30% 30%

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育現場で活用するための知識・技能を習得し、自らその習得内容を確認することができる</li> <li>・表現力や人間関係力を向上させ、他者理解を広げることができる</li> </ul>		
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
授業への参加・態度 40%、活動報告資料 30%、活動報告会の発表 30%の割合で、ゼミごとに評価する			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
分野1 陣内	<b>造形を通した子育て支援</b> <b>造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者とのコミュニケーション能力の涵養</li> <li>・研究成果レポート作成とプレゼンテーション</li> </ul>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野2 中尾	<b>運動遊びによる実践活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期活動の体験を生かし、運動遊びを考案し、実践する</li> <li>・実践した成果をまとめ、発表する</li> </ul>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野3 花城	<b>地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける</li> <li>・地域の子ども達との交流活動を企画運営し、フィールドワークを実施する</li> <li>・活動内容をまとめ、学んだことや感じたことを発表する</li> </ul>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野4 友廣	<b>保育における音楽教育を考える</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場で子どもたちに音楽活動を実践</li> </ul>	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べて



	<p>する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践した内容をまとめ発表する</li> </ul>		<p>おく (0.5 時間)</p> <p>復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと (0.5 時間)</p>
<p>分野 5 戸田</p>	<p><b>子どもとあそびについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの主体的なあそびに大切な保育の環境を考える</li> <li>・制作した保育教材を保育場面において活用し、改良点等の再考（再製作）を行う</li> <li>・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し習得した保育者に必要な要素をまとめ発表する</li> </ul>	<p>面接授業を基本とする</p>	<p>予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく (0.5 時間)</p> <p>復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと (0.5 時間)</p>
<p>分野 6 滝川</p>	<p><b>生命（いのち）の教育について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命にまつわる教育についての考察を深める</li> <li>・生命にまつわる教育の実践をする</li> </ul>	<p>面接授業を基本とする</p>	<p>予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく (0.5 時間)</p> <p>復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと (0.5 時間)</p>
<p>分野 7 座間味</p>	<p><b>ピア・グループ活動の企画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して自己表現ができる工夫や集団の凝集性を高める要素を理解する</li> <li>・ピア・グループ活動を企画、実施する</li> </ul>	<p>面接授業を基本とする</p>	<p>予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく (0.5 時間)</p> <p>復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと (0.5 時間)</p>
<p>分野 8 藤野</p>	<p><b>子どもの発達と障害</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達に関する学習や調査を行う</li> <li>・子どもの発達を体験を通して学ぶ</li> <li>・障害児に対する支援や関わりについて学ぶ</li> </ul>	<p>面接授業を基本とする</p>	<p>予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく (0.5 時間)</p> <p>復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと (0.5 時間)</p>
<p>分野 9 前田</p>	<p><b>子どもの育ちにおける自然体験の意義について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークを通して改めて自身が感じたこと、気づきを幼児教育の視点から考察する。</li> <li>・子どもにとっての自然体験の意義を考察し、実践の成果も含めまとめを行う。</li> </ul>	<p>面接授業を基本とする</p>	<p>予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく (0.5 時間)</p> <p>復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと (0.5 時間)</p>
<p>分野 10</p>		<p>面接授業を基</p>	<p>予習：毎回の活動内容に関</p>

紺谷		本とする	する資料を収集し、調べておく（0.5 時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5 時間）
----	--	------	--

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること。
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	各ゼミの活動においては主体的な学ぶ姿勢をもち、地域に必要とされる保育人材になるため資質向上に努めること